

eお菓子ねっと データ・ガイドライン

1.	「 共通事項 」	－ 1 －
2.	「 発注データ 」	－ 8 －
3.	「 返品通知データ 」	－ 14 －
4.	「 出荷報告データ 」	－ 19 －
5.	「 請求明細・支払明細データ 」	－ 27 －
6.	「 販売報告データ 」	－ 37 －
7.	「 販促金案内・支払データ 」	－ 42 －
8.	「 販促金請求データ 」	－ 49 －
別紙	「 決済単位が企業でない場合（実装方法） 」	－ 56 －

第Ⅰ版(ver1.5)作成	2014. 02. 25
第Ⅱ版(ver2.1)作成	2015. 01. 15
第Ⅲ版(ver3.1)作成	2016. 11. 11
第Ⅳ版(ver4.1)作成	2023. 05. 24

I. はじめに

このガイドラインは、卸売業・メーカー間において、企業間EDIシステムを実施するにあたり、両者間での運用をスムーズに行い、システムを標準化することにより、流通の合理化を進めるためのものである
このガイドラインの各項目の内容および使用方法、運用時の基準と標準化のためのチェックポイントとして活用し、業界標準に基づいた企業間EDIシステムの実現に役立つ事を期待する

1. 受発注システム とは

発注者・受注者間の注文内容を、従来の電話・FAX・伝票によるものから、コンピュータによる通信手段に変え、双方の業務の効率化、注文にかかわる時間の短縮、および人間によるミスの防止をねらいとするシステムである

- | | |
|-----------|----------------------------|
| ① 発注データ | 発注者から受注者への商品の発注情報の伝達データ |
| ② 入庫予定データ | 受注者から発注者への商品の入庫・欠品情報の伝達データ |
| ③ 受領データ | 発注者から受注者への商品の受領情報の伝達データ |
| ④ 返品通知データ | 発注者から受注者への商品の返品情報の伝達データ |

2. 出荷請求システム とは

受注者から発注者への納品内容を、従来の伝票によるものから、コンピュータによる伝達方法に変え、双方の業務の効率化（受注者は伝票作成、伝票送付；発注者は納品伝票の確認等）人間によるミスの防止をねらいとするシステムである

- | | |
|-----------|-----------------------|
| ① 出荷報告データ | メーカーから卸売業への出荷報告の伝達データ |
| ② 請求明細データ | メーカーから卸売業への請求案内の伝達データ |
| ③ 支払明細データ | 卸売業からメーカーへの支払結果の伝達データ |

3. 販売実績（販売報告）システム とは

卸売業よりメーカーへの小売店からの販売実績報告書を、従来の帳票（実績報告書）からコンピュータによる通信手段に変え、双方の業務の効率化、処理方式の標準化をねらいとするシステムである

- | | |
|-----------|---------------------------|
| ① 販売報告データ | 卸売業からメーカーへの小売店の販売実績の伝達データ |
|-----------|---------------------------|

4. 販売促進金システム とは

メーカー・卸売業・小売間にて、販売促進企画（プロモーション）を取り決めた際、販売促進金精算を伴う販売促進条件設定がある場合、販売条件の提示、販売条件の精算（請求・支払）を正確かつ迅速に行い、メーカー・卸売業双方の事務処理を軽減するためのシステムである

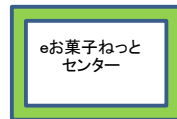
- | | |
|---------------|------------------------------------|
| ① 販促金案内・支払データ | メーカーから卸売業への販促金条件の提示（案内）、支払結果の伝達データ |
| ② 販促金請求データ | 卸売業からメーカーへの販促金請求の伝達データ |

II. データの受け渡し方法

1. オンライン（EDI）



<卸売業／メーカー>



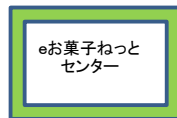
<通信手段>

- ・ J X 手順（インターネット利用）
- ・ e b XML MS 手順（インターネット利用）
- ・ 全銀 T C P I P 手順（電話回線（公衆/I S D N））

2. オンライン（Web2008）



<卸売業／メーカー>

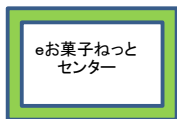


- ・ Web-EDI（インターネット利用）

3. FAX受信システム



<メーカーのみ>



- ・ FAX 受信システム（データ化は不可能）

4. eお菓子ねっとセンターの機能

- | | |
|-----------------|---------------------|
| ① 受け渡し手段の調整が出来る | （異なる媒体のデータの受け渡しが可能） |
| ② データの変換が出来る | （V1⇔V2フォーマット変換等が可能） |
| ③ データの保全機能がある | （通信トラブル対応等が可能） |

III. 運用方法

1. トラブルと対策

(1) ハード

- ① オフライン（電話・FAX等の手作業他）による出荷対応も出来るよう体制を整える
- ② 入力作業の為の時間を要する為、締め時間等変更すること等を考慮する
- ③ 事情により双方の営業間で、運用を検討する必要がある

(2) データ

- ① 他社のデータを受信した場合
・ e お菓子ねっとセンターに連絡すると同時に、相手方(送信元)に連絡する
- ② データが読めない場合(システム変更時等の場合)
・ 受信側のシステム担当者が、e お菓子ねっとセンターに連絡し、対応を決める
- ③ データの必須項目が埋まっていない場合
・ データ準備時にフォーマットの必須項目を確認し、テストを十分に行う
・ データのセット内容に不備がある場合は、V2フォーマットではエラーとなる場合があるので
新規導入時や拡大時には、注意が必要である (導入支援機能を有効に活用する)
- ④ コードにアンマッチがある場合
・ データ作成時にコードの管理マスタを参照し、アンマッチが出ないよう確認する
- ⑤ データの送信側は、データを再作成出来るよう考慮しておく (コントロール→トレーラー単位が望ましい)
- ⑥ 実際の受信件数とオンライン情報として得た送信件数を確認し、
データ漏れのチェックを怠らない

2. 運用

(1) 訂正方法

- ① 伝達方法、訂正方法について、前もって企業毎に確認しておく
- ② e お菓子ねっとセンターのトラブル連絡
・ e お菓子ねっとホームページ掲示による連絡
・ 障害FAXの発信と受信
- ③ 日付・漏れ・ダブリ等のミスに気付いた場合には、直ちにデータ交換の相手方に連絡し、
その対処方法を明確にする
- ④ 受発注システムの確認項目は、次のものが挙げられる
発注日、納品日、卸伝票No、届先、商品名、入数、発注数量 等
- ⑤ 出荷請求システムで、次の項目にミスがあった場合には、データ提供者が赤・黒(伝票単位での
取消データと訂正データ)訂正を行い、当該データの受け渡し日を明確にする (二重訂正の防止)
(帳合先、取引先、商品、数量、単価、金額、出荷区分 等)

(2) 機密保護

- ① ユーザーとe お菓子ねっとセンター間で、パスワードを設定し、パスワード相違が発生した場合は、
通信が出来ないようにして、データの安全性を確保する
- ② パスワードに関しては、双方が責任をもって厳重な管理を行う必要がある
また、パスワードの設定についても、接続開始時に慎重に決定する必要がある
- ③ e お菓子ねっとセンターは、機密を遵守する

(3) データのセットについて

- ① 指定がある場合を除き、Xタイプの項目は左詰め、残りはスペースをセットする
「X項目は漢字コード区分および日本語区分に応じたスペース(半角/全角)をセットする」
※ 1つの項目の中で、「半角」と「全角」の混在セットは認めない
ex. 漢字コード区分 日本語区分(二次店) 二次店名
1:S-JIS 0(英数カナ) X' 20' 埋め
1:S-JIS 1(漢字) X' 8140' 埋め
3:JEF 0(英数カナ) X' 40' 埋め
3:JEF 1(漢字) X' 4040' 埋め
- ② 9タイプの項目は右詰め、残りは“0”で左詰めでセットする (例) " 00000900"
- ③ データのセットを行わない場合には、Xタイプの項目には、半角スペースまたは全角スペースを、
9タイプの項目には、必要桁数に、“0”を埋める (例) " 00000000"
- ④ 年号
年号は、手形期日等を除き、西暦年号を原則とする (例 2015 年)
- ⑤ 漢字の使い方
JISコード第一水準、第二水準以外 は使用しない
※ 範囲外の文字コードがセットされた場合、受信側では文字化けが発生するなど、
非常に大きな業務影響が出る
指定されたコード範囲以外の文字コードの利用は一切禁止とする
(もし、コード範囲以外の文字コードが利用された場合は、“?”文字に変換される)
※ V2フォーマットのEDIデータのセット時は、漢字のシフト・コードは省略する
※ 漢字データは、拠点別データ種毎にセンターに利用漢字コードを登録することにより、
自社の利用漢字コードに変換して受信することが可能となる(未登録時は、S-JISとなる)
- ⑥ 明細データのセットを行わない場合(販売報告データの横持ちの設定要領)
⇒無効な明細は明細全体をスペースにセットする
ex. 2明細まで有効 → 3明細目~5明細目は全体を半角スペースをセットする

※ 各システムで利用するコードは、業界で制定された標準コードを原則とする

＜利用項目＞

取引先識別 (0 : 通常、「使用不可」 8 : テスト、9 : 移行)

上8桁に取引先コードをセット
下5桁はスペースをセット

- ・取引先コード照会データによる申請に基づき、eお菓子ねっとセンターにて1日単位で、登録作業にて登録する

(eお菓子ねっとセンターでは、商品マスター管理はしない)

- ・メーカーの企業内で管理する商品識別コード(4年間は再利用しない)
(メーカーのプライベート・コード)

- ・メーカーの企業内で管理する商品識別コード(4年間は再利用しない)

(流通業界共通)

< 標準 J A N >

＜品番で利用＞

P - M M M M M M M - I I I I I - C

GS1事業者コード7桁 アイテムコード (00001~99999) C/D

集合包装用商品コード(GTIN-14)とは、企業間の取引単位である集合包装(ケース、ボール、パレットなど)に対し設定された商品識別コードで、バーコードシンボル化され主に、受発注や納品、入出荷、仕分け、棚卸管理等において商品識別コードとして使われる

P - M M M M M M M M M - I I I - C
 | | |
 GS1事業者コード9桁 747ム C/D
 コード
 (001~999)

- ・上14桁に、I T F 14桁をセット
下2桁にスペースをセット

< 短縮 J A N >

P : パッケージ・インジケータ
 同一JAN商品で、主に、物流管理として、別管理する時
 1～7 : 外箱(ケース)用
 8 : 内箱(ボール)用
 0 : JANコード用
 9 : 計量商品用

P - 0 0 0 0 0 - G G G G G G - I - C

└ 短縮事業者
コード6桁

7桁目
(0~1)

C/D

5. **GTINコード**(14桁) (Global Trade Item Number)

(流通業界共通)

G S1が定めた国際的な標準商品識別コードです

＜品番で利用＞

JAN と 集合包装用商品コード(I T F)を 包含している

・ G T I N - 8	000000+G T I N - 8	<短縮 J A N>
・ G T I N - 13	0+G T I N - 13	<標準 J A N>
・ G T I N - 14	G T I N - 14	< I T F (14桁)>

- ・上14桁にGTINをセット
下2桁にスペースをセット

6. **GLNコード**(13桁) (Global Location Number)

(流通業界共通)

＜三次店等で利用＞

GLNは、EDI(企業間電子データ交換)等に利用できる国際標準の企業・事業所コードです

GLNはGS1が制定し、国内および国際間の企業間取引で、相互に企業や事業所等を唯一に識別できるコードです。

<u>M</u> <u>M</u> <u>M</u> <u>M</u> <u>M</u> <u>M</u> <u>M</u>	-	<u>L</u> <u>L</u> <u>L</u> <u>L</u> <u>L</u>	-	<u>C</u>		<u>G</u> <u>G</u> <u>G</u> <u>G</u> <u>G</u> <u>G</u> <u>G</u> <u>G</u> <u>G</u> <u>G</u>	-	<u>L</u> <u>L</u>	-	<u>C</u>	
GS1事業者コード7桁						GLN専用事業者コード10桁					
ロケーション コード* (00001~99999)					C/D	ロケーション コード* (01~99)					C/

M M M M M M M M	- I I I - C	G G G G G G G G G G G G	- L - C
GS事業者コード9桁	ロケーション コード (001~999)	GLN専用事業者コード11桁	ロケーション コード (0~9)
	C/D		C/

V. 実施の為のステップ

システム導入にあたってデータの提供者利用者双方で下記のような基本作業項目を検討し、稼働の為のソフトウェア、ハードウェアおよび運用の方法について、詳細の詰めを行う

1. 対象データの確定

全取引データを対象か、限定か、提供可能な範囲などを、メーカー・卸売業毎に、事前に確定しておく

- ・ 地域 全国、特定地域
- ・ 事業所 全事業所、特定事業所、特定出荷倉庫、特定企業、特定店舗、 メーカー側、卸売業側
- ・ おのの事業所について検討
- ・ 内容 全取引、倉入、倉出、直送、一斉出荷、特売、定番、ルートセールス、 集計データ、日別データ

2. マスター登録

社内コードとデータ交換に使用されるコードを照合し、正しい情報伝達が行えるよう自社のマスターファイルを整理しておく

- ・商品コード コード設定が1：Nになっている場合は、現在販売している商品とする
データ交換の内容と自社マスターの内容に相違がないか確認しておく（商品名、入数、取引単価etc）
- ・取引先コード データ交換の内容と自社マスターの内容に相違がないか確認しておく（取引先名、担当部門etc）
- ・登録・変更案内 新規コードの発生や登録内容の変更の連絡方法を明確にしておく（連絡手段、時期、担当部門etc）

3. データ受け渡し時間帯の決定

メーカー・卸売業毎に、各システム別に地域、業務内容の相違点を考慮して決定をする

4. スケジュール調整

稼働に至るまでの準備やテストのスケジュールと、稼働後現在のやり方と異なる作業の流れを、周知徹底させる

5. 約束事の文書化(契約書、覚書)

運用基準書の内容により、企業間にて打合せた約束事を確認する意味で、文書化を行っておく

- ・データ交換内容 対象データ、対象企業、データ守秘義務
- ・集計単位 明細、日計、週計、旬計、月計 etc
- ・提供日と取引日の関係 休業日の対応 土曜日曜、祝祭日、年末年始
- ・トラブル対応、実施期間、開始時期、契約期間
- ・その他具体的運用に関する事項、コスト負担他

6. 連絡窓口

- 各企業担当窓口を明確にしてスムーズな運営を目指し、トラブル発生時に協力して解決に当たる
- ・データ項目の内容の問い合わせ、トラブル発生時の原因究明、対策実施

VI. 各データの共通事項

1. フォーマットの定義の説明

項番	項目連番
項目	項目名
開始位置	その項目のレコードの中の相対位置 (1~1200)
属性	項目の属性
	9 : 数値属性
	X : 半角文字属性
	X/N : 半角文字/全角文字属性
整数桁	数値属性の場合：整数値の桁数 それ以外の場合：実行桁数（全角の場合は、シフトコードは除く）
小数桁	数値属性の場合：小数点以下の桁数
必須	◎ : システム的必須 データのセットが必要(ゼロはエラーとなる) ○ : 業務的必須 データのセットが必要(ゼロはエラーとならない) 空白 : 任意 必要な場合のみ、データをセットするが、属性クリアーは必要 (X項目の属性クリアー : 半角スペースまたは全角スペースをセットする) (9項目の属性クリアー : 9項目は指定桁分ゼロをセットする)
コード	その項目が、“コード値”定義の場合のコード値を説明
V2 → V1・V2 センターチェック	必須+属性、属性 必須項目、または、属性チェックを行う 必須+コード、コード 必須項目、または、コード・チェックを行う 必須+日付、日付 必須項目、または、日付チェックを行う 時刻 時刻チェックを行う センター登録：送信先・送信元・直接送信先等、センター登録有りかをチェックする
V2 ← V2 コンバート	○ データ連携する ※センター設定 センターで代替設定する ※センター集計値 センターで集計して値を設定する
V2 ← V1 コンバート	○ データ連携する 属性初期値 属性初期値(数値：ゼロ、文字：スペース)をセットする ※センター設定 センターで代替設定する それ以外 データ条件により、記述の通り、セットする
V1フォーマット	◎ : 新設項目 ○ : 変更項目と変更点
比較・変更点	V1フォーマット上の項番
項番	V1フォーマット上の項目名
項目	V1フォーマット上の開始位置
開始	V1フォーマット上の項目属性
属性	V1フォーマット上の項目の桁数(数値は整数の桁数)
整数	V1フォーマット上の小数点以下の桁数
小数	

2. レコード長

- ・V1フォーマット 256 バイト
- ・V2フォーマット 1200 バイト

3. 取引先の取引形態

＜一次店コード～チェーンコードの利用形態＞

	＜一次店＞	＜二次店＞	（三次店）	＜届け先＞	（チェーン店）
① 店入れ(倉入れ)	A卸売業			A卸売業	
A卸売業本社に直接納品する	メカの請求先				
② 店入れ(倉入れー倉庫)	A卸売業			A卸B倉庫	
A卸B倉庫に直接納品する	メカの請求先				
③ 店入れ(卸支店倉入れ)	A卸売業			A卸B支店	
A卸B支店に直接納品する	メカの請求先				
④ 店入れ(センター納品)	A卸売業		C納品センター	A卸B支店	
C納品センターに一括納品する	メカの請求先		センター納品	A卸B支店扱い	
⑤ 直送(二次店納品)	A卸売業	D二次店		D二次店	
D二次店に直送納品する	メカの請求先	A卸の請求先			
⑥ 直送(二次店デポ納品)	A卸売業	D二次店		E二次店デポ	
E二次店デポに直送納品する	メカの請求先	A卸の請求先			

⑦ 直送（三次店納品）	A卸売業	D二次店	F三次店	F三次店	
F三次店に直送納品する	メーカーの請求先	A卸の請求先	D二次店請求先		
⑧ 直送（三次店デポ納品）	A卸売業	D二次店	F三次店	G三次店デポ	
G三次店デポに直送納品する	メーカーの請求先	A卸の請求先	D二次店請求先		
⑨ 直送（二次スーパー店舗）	A卸売業	D二次店		H二次スーパー	J店舗
H二次/J店舗に直送納品する	メーカーの請求先	A卸の請求先			
⑩ 直送（二次スーパー店舗）	A卸売業	D二次店	K納品センター	H二次スーパー	J店舗
K納品センター一括納品する	メーカーの請求先		センター納品		

4. 主な変更項目の説明

- ① 卸発注伝票No. 6桁運用 上2桁はゼロ埋めとする
(6桁→8桁に変更) 8桁運用 V 1フォーマットは上2桁と下6桁を分離する
- ② メーカー伝票No. 6桁運用 上2桁はゼロ埋めとする
(6桁→8桁に変更) 8桁運用 V 1フォーマットは下6桁のみをセットする
- ③ 元伝票No. 6桁運用 上2桁はゼロ埋めとする
(6桁→8桁に変更) 8桁運用 V 1フォーマットは下6桁のみをセットする
- ④ 漢字コード区分
拠点取引先／データ種毎に、e お菓子ねっとセンターに登録された漢字コード区分がセットされてくる
(未登録の場合のデフォルト値)
1 : S-J I S
2 : J I S
3 : J E F
4 : I B M
- ⑤ 日本語区分
該当の項目の日本語の区分を指定する
△/0 : 英数カナを指定 または 無指定
1 : 漢字を指定 (漢字のコードは、e お菓子ねっとセンター登録による)
- ⑥ 取引先区分
該当の項目の取引先の属性区分を指定する
△ : 統一取引先コードを指定 または 無指定
6 : G L Nコードを指定
7 : 該当卸売業のプライベート・コードを指定
8 : 該当メーカーのプライベート・コードを指定
- ⑦ 店入直送区分
店(倉)入れまたは直送等を判断する
1 : 店入れ 卸売業倉入れ、センター納品等
2 : 直送 二次店納品等
3 : 店引取 卸売業がメーカーに直接引き取りに来た場合
4 : 直送引取 二次店等がメーカーに直接引き取りに来た場合
- ⑧ 伝票合計金額
二次店納入合計金額
(※ 最終明細行のみセットでも良い)
(※ex 01～03明細行：ゼロ、04明細行：合計をセットする)
- | | 明細行数 | 伝票合計金額 | 明細行No. | 卸店入金額 |
|------|------|----------|--------|----------|
| 1明細目 | 00 | 00000000 | 01 | 00005800 |
| 2明細目 | 00 | 00000000 | 02 | 00007800 |
| 3明細目 | 00 | 00000000 | 03 | 00012500 |
| 4明細目 | 04 | 00036600 | 04 | 00010500 |
- ⑨ 消費税区分
消費税の税区分を指定する
1 : 外 税 3 : 非課税
2 : 内 税 △ : 個別判断
※ もし、明細によって、消費税区分が変わる場合は、異なっても良いこととする
(1明細目：1(外税)、2明細目：3(非課税)、3明細目：1(外税))
- ⑩ 商品添付区分
相対の運用で、添付商品扱いを指定する場合
△ : 通常商品 (通常、単価/金額はゼロ以外となる)
1 : 現物添付 (通常、単価/金額はゼロとなる)
2 : 見本 (通常、単価/金額はゼロとなる)
3 : 景品 (通常、単価/金額はゼロとなる)
- ⑪ 卸最新在庫日付
製造日と賞味期限の違いを説明する
入庫許容日付 製造年月日 : 製品を製造した西暦年月日 (ex. 20140118)
実入庫製品日付 賞味期限(日) : 製品を製造した日+賞味期限(日換算)した西暦年月日
(20140118製造+賞味期限(45日)→ 20140304)
賞味期限(月) : 製品を製造した日+賞味期限(月換算)した西暦年月日
(20140118製造+賞味期限(9ヶ月-1末)→ 20140930)

⑫ 卸伝票No. (8桁) の V1 ⇄ V2 データ連携

V2 発注データ (03)

卸発注伝票No. (8桁)
1 2 3 4 5 6 7 8

ヘッダー連携エリア (20桁)
ヘ ッ タ ャ ー レ ン ケ イ A B C

V2 受領データ (14) / 返品通知データ (18)

卸発注伝票No. (8桁)
1 2 3 4 5 6 7 8

ヘッダー連携エリア (20桁)
ヘ ッ タ ャ ー レ ン ケ イ A B C

V2 入庫予定データ (13) / 出荷報告データ (23)

卸発注伝票No. (8桁)
1 2 3 4 5 6 7 8

ヘッダー連携エリア (20桁)
ヘ ッ タ ャ ー レ ン ケ イ A B C

V1 発注データ (02)

卸発注伝票No. (6桁)
3 4 5 6 7 8

⇒

ヘッダー予備エリア (14桁)
ヘ ッ タ ャ ー レ ン ケ イ A 1 2

⇒

V1 受領データ (12) / 返品通知データ (19)

卸発注伝票No. (6桁)
3 4 5 6 7 8

⇒

ヘッダー予備エリア (100桁/29桁)
1 2

⇒

V1 入庫予定データ (11) / 出荷報告データ (22)

卸発注伝票No. (6桁)
3 4 5 6 7 8

←

ヘッダー予備エリア (100桁/2桁)
1 2

←

⑬ 漢字⇄カナ項目の連携方法

	一次店名	日本語区分	一次店カナ名		一次店名	日本語区分	一次店カナ名
V2→V1	V2	一次店 A A	漢字	イジテン AA	→	V1	イジテン AA
V2→V1	V2	イジテン BB	英数カナ		→	V1	イジテン BB
V1→V2	V1			イジテン CC	→	V2	イジテン CC
V1→V1	V1			イジテン AA	→	V1	イジテン AA
V2→V2	V2	一次店 A A	漢字	イジテン AA	→	V2	一次店 A A
V2→V2	V2	イジテン BB	英数カナ		→	V2	イジテン BB

5. データ種一覧表

No.	データ種類	V1	V2	
データ種類	発注データ	02	03	
	入庫予定データ	11	13	
	受領データ	12	14	
	返品通知データ	19	18	
	出荷報告(直送)データ	22	23	
	請求明細データ	-	35	
	支払明細データ	-	36	
	販売報告(店出し)データ	42	43	
	販促金案内支払データ	51	-	
	販促金請求データ)	52	-	

I. システムの目的

1. メーカー

- ① 受注出荷業務の効率化
 - ・受注入力作業の省力化・標準化・正確化
- ② 需給・物流作業の効率化
 - ・大量のデータが一括して入手出来る為、商品需給・物流配送を効率化できる
- ③ 情報の一元管理
 - ・受注⇒出荷⇒配送⇒納品⇒請求⇒決済を一元的に管理出来る

2. 卸売業

- ① 発注業務の省力化
 - ・自動発注システム等の活用で、大幅に発注業務を軽減化できる
- ② 情報の一元管理
 - ・発注⇒入庫⇒仕入⇒受領⇒支払を一元的に管理出来る

II. システム運用方法

1. ネットワーク

- ① eお菓子ねっとセンター経由で、データの授受を行う
- ② 卸売業より、発注データをeお菓子ねっとセンターに送信する
(1回の送信で、複数のメーカー宛に送信が可能である)
- ③ メーカーは、eお菓子ねっとセンターより、自社宛の発注データを受け取る
(1回の受信で、複数の卸売業からの発注データの受信が可能である)
- ④ ネットワークの種類
 - ・J X 手順(インターネット利用)
 - ・e b X M L M S 手順(インターネット利用)
 - ・全銀 T C P I P 手順(電話回線(公衆/I S D N))
 - ・W e b - E D I (インターネット利用)
 - ・F A X 受信システム(データ化は不可能)

2. データの授受

- ・通常、卸売業からeお菓子ねっとセンターに送信完了後、ほぼ15分以内にメーカーが受信可能となる

3. 欠品連絡または訂正連絡

- ・一定のルールを決めて、電話・F A X・メール等で、メーカーから卸売業へ連絡する
- ・データによる再発注か、納品日の訂正か、分割納品か、運用を決める
- ・原則として、欠品連絡表(F A X・メール)等で連絡する

4. 運用確認事項

- ① 受注締め時間
 - ・メーカーの受注締め時間の確認と出荷日の確認
 - <締め時間が11時の場合>
 - ・「当日の出荷日」の発注データは、納品日が翌日迄で、前日迄の受信済分と当日の締め時間(11時)迄に、メーカーが受信したもの
 - ・「翌日の出荷日」の発注データは、納品日が翌々日迄で、当日迄の受信分と翌日の締め時間(11時)迄に、メーカーが受信したもの
- ② 納品場所、納品条件
 - ・届け先名への納品か、センター一括納品か
 - ・土・日・祝祭日の納品条件
 - ・納品時間指定条件
 - ・欠品・訂正連絡方法、分割納品が可能か
 - ・トラブル時の連絡方法、
 - ・商品コード変更・商品案内の伝達方法
 - ・納品日の変更か、再発注かの取り決めを事前に確認しておく
 - ・納品日(メーカー売上計上日)は、一次納品先(センター等)を原則とする

Ⅲ. 発注データ

1. コントロール・レコード

※ 送信元と送信先単位の先頭レコード(1件)を作成する

(1) データ種別 (数字 2桁)	発注データであることを表わす	[02 : 発注データ] [03 : 発注データ]	V1 V2
(2) 送信先コード (数字 8桁)	送信先(メーカー)の拠点取引先コードを指定 (センター登録マスターをチェックする)	[01010001]	V1/V2
(3) 送信元コード (数字 8桁)	送信元(卸売業)拠点取引先コードを指定 (センター登録マスターをチェックする)	[02841001]	V1/V2
(4) レコード区分 (数字 1桁)	コントロール・レコードであることを表わす	[1]	V1/V2
(5) データ作成日付 (数字 8桁)	卸売業が発注データ作成した西暦年月日を指定	[20160925]	V1/V2
(6) データ作成時刻 (数字 6桁)	卸売業が発注データ作成した時間を指定(時分秒)	[221500]	V2
(7) 送信先名 (英数カナ 20桁)	送信先(メーカー)の拠点取引先名を指定(英数カナ)	[イｽﾓｼｮｻﾞﾝ ﾄｳｷｮｳ]	V1/V2
(8) 送信元名 (英数カナ 20桁)	送信元(卸売業)拠点取引先名を指定(英数カナ)	[ﾆﾎﾝ ﾖｳｼﾞ]	V1/V2
(9) 直接送信先コード (数字 8桁)	送信先(メーカー)の拠点取引先コードと異なる 拠点取引先コードに送信する場合に指定する (※センター登録チェック) 変更しない場合はゼロを指定する	[02100011] [00000000]	V1/V2
(10) 直接送信先名 (英数カナ 20桁)	送信先(メーカー)の拠点取引先コードと異なる 拠点取引先コードに送信する場合に指定する 変更しない場合はスペースを指定する	[イｽﾓｼｮｻﾞﾝ ﾏｶ]	V1/V2
(11) 送信ファイルNo. (数字 2桁)	同時送信時の問合せNo.を表記したい場合は指定する 同時送信時の問合せNo.を表記しない場合はゼロ指定	[01~99] [00]	V2
(12) 予備	原則、スペース・クリアーとする		V1/V2
(13) 連携エリア (英数カナ 20桁)	V1フォーマット⇄V2フォーマットに自動変換された場合に 予備エリアの先頭20桁がセットされる(相対で使用) V2フォーマット同士では、相対で、特別な連携エリアとして利用可能である	[xxxxxxxxxxxxxxxxxxxx]	V2

2. ヘッダー/明細レコード

※ 伝票ヘッダー情報と明細情報を一体化したレコードを作成する

※ 1伝票ヘッダーに対して、6明細を限度とする 明細行No.は(01~06)

(1) データ種別 (数字 2桁)	発注データであることを表わす	[02 : 発注データ] [03 : 発注データ]	V1 V2
(2) 送信先コード (数字 8桁)	送信先(メーカー)の拠点取引先コードを指定	[01010001]	V1/V2
(3) 送信元コード (数字 8桁)	送信元(卸売業)拠点取引先コードを指定	[02841001]	V1/V2
(4) レコード区分 (数字 1桁)	ヘッダー明細レコードであることを表わす	[2 : ヘッダーレコード] [4 : 明細レコード] [3 : ヘッダー明細]	V1 V1 V2
(5) 漢字コード区分 (英数カナ 1桁)	● お菓子ねっととセンターに登録された漢字コード区分が セットされてくる (1 : S-JIS、2 : JIS、3 : JEF、4 : IBM)		V2
(6) 卸発注伝票No. (数字 8桁)	卸売業が発注データを区別する為に、伝票ヘッダー単位に ユニークな発注No.をセットする 卸発注伝票No.を6桁管理する場合は、上2桁“00”をセットする	(8桁) (6桁)	V2
卸伝票No (数字 6桁)	V1フォーマットでは、卸伝票No6桁とヘッダー予備欄(13桁目・14桁目)2桁に 卸発注伝票No.8桁の上2桁を連携する		V1
(7) 店入直送区分 (数字 1桁)	店(倉)入れまたは直送等を判断する 1 : 店入れ 卸売業倉入れ、センター納品等 2 : 直送 二次店納品等 3 : 店引取 卸売業がメーカーに直接引き取りに来た場合 (V2→V1変換では、3→1に自動変換する) 4 : 直送引取 二次店等がメーカーに直接引き取りに来た場合 (V2→V1変換では、4→2に自動変換する)		V1/V2 V1/V2 V2 V2 V1
(8) 取引コード (数字 2桁)	卸売業-メーカー間の取引形態をあらわす(菓子業界統一取引コード) 11 : 店入売上 店入れ分の通常出荷 12 : 店入売上訂正 81 : メーカー提供の役務 21 : 店入返品 店入れ分の返品 22 : 店入返品訂正 91 : 卸提供の役務 31 : 直送売上 直送分の通常出荷 32 : 直送売上訂正 41 : 直送返品 直送分の返品 42 : 直送返品訂正 51 : 割戻し金 割戻し金処理する場合 52 : 相殺		V1/V2
(9) 納品日/引取日 (数字 8桁)	卸売業が指定した納品日(着荷日) (西暦) 卸売業がメーカーに引取りに来る引取日	[20161102]	V1/V2
(10) 納入時間(自) (数字 4桁)	卸売業が指定した納品/引取開始時間(時分)	[0000] [0900]	V1/V2

(11) 納入時間(至) (数字 4桁)	卸売業が指定した納品／引取完了時間(時分)	[0000] [1130]	V2
(12) 発注日 (数字 8桁)	卸売業の発注日を指定する (西暦)	[20161101]	V2
(13) 明細行数 (数字 2桁)	1伝票ヘッダーに対する明細行の合計数 (00, 01~06)	[01]	V1/V2
(14) 一次店コード (英数カナ 13桁)	卸売業の請求取引先コード		V1/V2
(15) 二次店コード (英数カナ 13桁)	直送する場合の二次店の取引先コード		V1/V2
(16) 三次店コード (英数カナ 13桁)	直送する場合の三次店の取引先コード センター納品する場合のセンターの取引先コード (プライベートコード可)		V2
(17) 届け先コード (英数カナ 13桁)	通常は、納品する届け先の取引先コード センター納品する場合は売上帰属支店の取引先コード		V1/V2
(18) チェーン店コード (英数カナ 13桁)	店舗コード (プライベートコード可)		V2

	＜一次店＞	＜二次店＞	＜三次店＞	＜届け先＞	＜チェーン店＞
・ 店入れ(倉入れ)	A 卸売業			A 卸売業	
・ 店入れ(卸支店倉入れ)	A 卸売業			A 卸B支店	
・ 店入れ(センター納品)	A 卸売業		(納品センター)	A 卸C支店	
・ 直送 (二次店デポ納品)	A 卸売業	C 二次店		C 二次店デポ	
・ 直送 (三次店デポ納品)	A 卸売業	C 二次店	D 三次店	D 三次店デポ	
・ 直送 (二次スーパー店舗)	A 卸売業	C 二次店		D 二次スーパー	E 店舗
・ 直送 (二次スーパー店舗) (センター納品)	A 卸売業	C 二次店	(納品センター)	D 二次スーパー	E 店舗

＜取引先コード定義＞

統一取引先コード	△	上1桁目 中3桁 下4桁	1桁 3桁 4桁	0:通常 郵便番号上3桁 登録順連番	(0/8/9) (001~999) (0001~9999)	※一次店／二次店／届け先は 統一取引先コードのみ
GLNコード (国際標準事業所コード)	6	事業所コード7桁 事業所コード9桁	13桁 13桁	事業所コード7桁+ロケーション5桁+C/D 事業所コード9桁+ロケーション3桁+C/D	(491234500001c) (491234567001c)	※三次店／チェーンは GLNコード/ プライベートコード可能
卸プライベートコード	7		3~13桁	卸指定の取引先コード(送信元)	0123/0123456789	
メーカープライベートコード	8		3~13桁	メーカー指定の取引先コード(送信元)	012/012345679	

※ V2⇄V1データ変換連携

	[V2フォーマット 13桁]	→	[V1フォーマット 8桁]	
統一取引先コード	1 2 3 4 5 6 7 8	→	1 2 3 4 5 6 7 8	
GLNコード	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13	→	6 7 8 9 10 11 12 13	(GLNコードのみ右詰め)
卸プライベートコード	1 2 3 4 5 6 7	→	1 2 3 4 5 6 7	
メーカープライベートコード	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	→	1 2 3 4 5 6 7 8	

(19) 専用伝票日付 (数字 8桁)	専用伝票がある場合の専用伝票の専用伝票日付を指定 (西暦)	[20161015] [00000000]	V1/V2
(20) 専用伝票No. (数字 9桁)	専用伝票がある場合の専用伝票の専用伝票No.を指定	[000012345] [000000000]	V1/V2
(21) 伝票合計金額符号 (英数カナ 1桁)	伝票合計金額の符号 △/+ : 整数 (プラス) - : 負数 (マイナス)	[+]	V1/V2
(22) 伝票合計金額 (数字 8桁)	明細の卸店入金額の伝票単位の合計金額 (※ 最終明細行のみセットでも良い) (※ex 01~03明細行: ゼロ、04明細行: 合計をセットする)	[00000000] [00354850]	V1/V2
(23) 二次店納入合計金額符号 (英数カナ 1桁)	二次店納入合計金額の符号 △/+ : 整数 (プラス) - : 負数 (マイナス)	[+]	V1/V2
(24) 二次店納入合計金額 (数字 8桁)	明細の二次店納入金額の伝票単位の合計金額 (※ 最終明細行のみセットでも良い) (※ex 01~03明細行: ゼロ、04明細行: 合計をセットする)	[00000000] [00274520]	V1/V2
(25) 一次店名 (文字 40桁)	一次店名を指定する 英数カナの場合(30文字) 漢字の場合は20文字 ※実質は15文字(伝票表示上)		V1/V2 V2
(26) 二次店名 (文字 40桁)	二次店名を指定する 英数カナの場合(30文字) 漢字の場合は20文字 ※実質は15文字(伝票表示上)		V1/V2 V2
(27) 三次店名 (文字 40桁)	三次店名(センター納品先名)を指定する 英数カナの場合(30文字) 漢字の場合は20文字 ※実質は15文字(伝票表示上)		V2 V2
(28) 届け先名 (文字 40桁)	届け先名を指定する 英数カナの場合(30文字) 漢字の場合は20文字 ※実質は15文字(伝票表示上)		V1/V2 V2

(29) チェーン店名 (英数カナ 40桁)	チェーン店名(店舗名)を指定する 英数カナの場合(30文字) 漢字の場合は20文字 ※実質は15文字(伝票表示上)		V2 V2
(30) 電話番号 (英数カナ 15桁)	届け先の電話番号を指定する(“-”を含む)		V2
(31) 住 所 (英数カナ 80桁)	届け先の住所を指定する 英数カナ(60文字) 漢字の場合は40文字 ※実質は30文字	[シマケン マツシ アオバダイ 2-11-1] [島根県松江市青葉台2-11-1]	V2 V2
(32) メーカー・コード (英数カナ 9桁)	メーカー・コードを指定(7桁の場合は後ろスペース) (49xxxxx /45xxxxxxxx)	[4912345] [459123456]	V1/V2
(33) メーカー所属組織名 (英数カナ 10桁)	メーカーの担当所属の組織名(英数カナ)を指定 (実質、運用上はスペースが多い)		V1/V2
(34) 伝票区分 (数字 1桁)	伝票発行区分を指定する 0 : 菓子統一伝票 1 : フェースト7統一伝票 (OCR、タイプ用で伝票No.が印刷されていないもの) 2 : 専用伝票(伝票No.あり) (専用伝票No.を表示できるもの) 3 : 専用伝票(伝票No.なし) (専用伝票だが、元伝No.を表示できないもの) 4 : フェースト7統一伝票 (ターアラウンド用) 8 : 伝票レス (伝票レス納品の場合)	[0]	V1/V2 V1/V2 V1/V2 V1/V2 V1/V2 V2
(35) 定番特売区分 (英数カナ 1桁)	定番発注/特売発注を指定する 0 : 定 番 △ : 分類不能	1 : 特 売 [1]	V1/V2 V2
(36) ロット不足運賃負担区分 (英数カナ 1桁)	発注ロット不足になった場合の運賃負担の区分を指定 △ : 無指定 1 : 卸売業負担あり 2 : 卸売業負担なし	[]	V2
(37) 下請法 : 伝票表示区分 (英数カナ 1桁)	下請法関係の伝票表示の有無区分 △ : 表示なし 1 : 表示あり	[]	V2
(38) 下請法 : 伝票表示内容 (英数カナ 80桁)	下請法関係の伝票表示内容を指定する 英数カナの場合(60文字) 漢字の場合は40文字 ※実質は30文字(伝票表示上)		V2
(39) 下請法 : 日本語区分(表示) (英数カナ 1桁)	下請法関係の伝票表示内容の日本語区分を指定する △/0 : 英数カナ 1 : 漢字(S-JIS/IBM/JEF/JIS)	[]	V2
(40) 下請法 : 支払期限 (数字 8桁)	下請法関係の支払期限を指定する (西暦)	[00000000] [20161130]	V2
(41) 消費税区分 (英数カナ 1桁)	消費税の税区分を指定する 1 : 外 税 2 : 内 税 3 : 非課税 △ : 個別判断	[1]	V2
(42) 消費税率 (数字3桁)	消費税率を指定する 99.9 % (小数点以下1桁) “080” : 消費税 : 8.0 %	[080]	V2
(43) 摘 要 (英数カナ 50桁)	伝票ヘッダー部の適用文字を指定する 英数カナ(50文字) 漢字の場合は、実質は25文字	[オンライン トクデンリ コセンチュ ニ ノゲン] [オンライン特伝有り 午前中に納品]	V1/V2 V2
(44) 取引先区分 (英数カナ 1桁)	該当の項目の取引先の属性区分を指定する △ : 統一取引先コードを指定 または 無指定 6 : GLNコードを指定 7 : 該当卸売業のプライベート・コードを指定 8 : 該当メーカーのプライベート・コードを指定	[]	V2
(44) 取引先区分(一次店)			
(45) 取引先区分(二次店)			
(46) 取引先区分(三次店)			
(47) 取引先区分(届け先)			
(48) 取引先区分(チェーン店)			
(49) 日本語区分 (英数カナ 1桁)	※ 一次店、二次店、届け先はプライベート・コードは不可とする 該当の項目の日本語の区分を指定する △/0 : 英数カナを指定 または 無指定 1 : 漢字を指定 (漢字のコードは、e お菓子ねっとセンター登録による) (S-JIS漢字/IBM漢字/JEF漢字/JIS漢字)	[]	V2
(49) 日本語区分(一次店)			
(50) 日本語区分(二次店)			
(51) 日本語区分(三次店)			
(52) 日本語区分(届け先)			
(53) 日本語区分(チェーン店)			
(54) 日本語区分(住 所)			
(55) 日本語区分(摘 要)			
(56) 一次店カナ名 (英数カナ 30桁)	前記「一次店名」に漢字を指定した場合に、英数カナ文字を指定する		V2
(57) 二次店カナ名 (英数カナ 30桁)	前記「二次店名」に漢字を指定した場合に、英数カナ文字を指定する		V2
(58) 届け先カナ名 (英数カナ 30桁)	前記「届け先名」に漢字を指定した場合に、英数カナ文字を指定する		V2
(59) 摘要カナ (英数カナ 30桁)	前記「摘要」に漢字を指定した場合に、英数カナ文字を指定する		V2
(60) ヘッダー予備	原則、スペース・クリアーとする		V1/V2
(61) ヘッダー部(連携エリア) (英数カナ 20桁)	V1フォーマット⇄V2フォーマットに自動変換された場合に V1フォーマットのヘッダー・レコードの予備エリア(20桁)を連携する V2フォーマット同士では、相対で、特別な連携エリアとして利用可能である		V2

(62) 明細行No. (数字 2桁)	1伝票(ヘッダー)内の明細行No.を指定する(01~06)	[01]	V1/V2
(63) 専用伝票行No. (数字 2桁)	専用伝票がある場合の専用伝票の行No.を指定する (00~99)	[00]	V1/V2
(64) 商品コード識別区分 (数字 1桁)	次の品番(商品コード)の識別区分を指定する	[品番へのセット値例]	V1/V2
0	統一商品コード メーカー・コードが7桁の場合 [000]+[メーカーコード 7桁]+[アイテム5桁]+[0] [0004912345100010] メーカー・コードが9桁の場合 [0]+[メーカーコード 9桁]+[アイテム5桁]+[0] [0491234567200020]		
1	ITFコード(14桁) メーカー・コードが7桁の場合 [P]+[メーカーコード 7桁]+[アイテム5桁]+[C] [14912345100013] メーカー・コードが9桁の場合 [P]+[メーカーコード 9桁]+[アイテム3桁]+[C] [14912345671018]		
3	JANコード(標準:13桁) メーカー・コードが7桁の場合 [メーカーコード 7桁]+[アイテム5桁]+[C] [4912345100030] メーカー・コードが9桁の場合 [メーカーコード 9桁]+[アイテム3桁]+[C] [4912345672032]		
4	JANコード(短縮:8桁) [メーカー識別6桁]+[アイテム1桁]+[C] [49778816]		
6	Gtinコード(14桁) ITF: メーカーCDが7桁の場合 [P]+[メーカーコード 7桁]+[アイテム5桁]+[C] [14912345100013] ITF: メーカーCDが9桁の場合 [P]+[メーカーコード 9桁]+[アイテム3桁]+[C] [14912345671018] JAN: メーカーCDが7桁の場合 [0]+[メーカーコード 7桁]+[アイテム5桁]+[C] [04912345100030] JAN: メーカーCDが9桁の場合 [0]+[メーカーコード 9桁]+[アイテム3桁]+[C] [04912345672032] JAN(短縮:8桁)の場合 [000000]+[メーカー識別6桁]+[アイテム1桁]+[C] [00000049778816]		
(65) 品番 (英数カナ 16桁)	上記、商品コード識別区分に基づいた値をセットする		V1/V2
(66) 商品名 (文字 50桁)	商品名を表記する(規格表示+商品固有名称) (英数カナ:25文字) (伝票上:24文字/行) [XXXXX 75G ミルクチョコレート] (漢字:20文字) (伝票上:12文字/行) [X X 75 g ミルクチョコ]		V1/V2 V2
(67) 包装区分 (数字 1桁)	数量の発注単位を指定する [1] 1: ケース発注 (外箱/カルトン) 2: ボール発注 (内箱) 3: バラ発注 (単品)		V1/V2
(68) ボール内バラ数 (数字 6桁)(小数点以下2桁)	ボール(内箱)内の単品の入数(小数点以下2桁)	[001200]	V1/V2
(69) ケース内ボール数 (数字 2桁)	ケース(外箱)内のボール(内箱)の入数 <ボール内バラ数> <ケース内ボール数> (1: ケース発注の時) [001200] [06] (2: ボール発注の時) [001200] [00] (3: バラ発注の時) [000000] [00]	[06]	V1/V2
(70) 数量符号 (英数カナ 1桁)	以下の数量の符号を指定 △/+ : 整数 (プラス) - : 負数 (マイナス)	[+]	V1/V2
(71) ケース数量 (数字 7桁)	(1: ケース発注の時に、発注ケース数量を指定する) (ボール/バラ発注の時はゼロをセットする)	[0000002]	V1/V2
(72) ボール数量 (数字 7桁)	(2: ボール発注の時に、発注ボール数量を指定する) (ケース/バラ発注の時はゼロをセットする)	[00000000]	V1/V2
(73) バラ数量 (数字 8桁)(小数点以下2桁)	(3: バラ発注の時に、発注バラ数量を指定する) (ケース/ボール発注の時に、バラ換算数量を指定する)	[000014400]	V1/V2
(74) 卸店入価格 (数字 8桁)(小数点以下2桁)	卸売業納入単価(建値)を指定する→伝票金額 (バラ単価を指定)	[00008400]	V1/V2
(75) 二次店納入価格 (数字 8桁)(小数点以下2桁)	二次店納入単価(正味単価等)を指定する→正味金額 (バラ単価を指定)	[00008050]	V1/V2
(76) 金額符号 (英数カナ 1桁)	以下の金額の符号を指定 △/+ : 整数 (プラス) - : 負数 (マイナス)	[+]	V1/V2
(77) 卸店入金額 (数字 8桁)	(卸店入価格*バラ数量) (小数点以下は切捨て) (通常: 外税)	[00012096]	V1/V2
(78) 二次店納入金額 (数字 8桁)	(二次店納入価格*バラ数量) (小数点以下は切捨て) (通常: 外税)	[00011592]	V1/V2
(79) 商品添付区分 (英数カナ 1桁)	相対の運用で、添付商品扱いを指定する場合 △: 通常商品 (通常、単価/金額はゼロ以外となる) 1: 現物添付 (通常、単価/金額はゼロとなる) 2: 見本 (通常、単価/金額はゼロとなる) 3: 景品 (通常、単価/金額はゼロとなる)	[]	V2
(80) 入荷単位ケース数 (数字 2桁)	荷合せ品等の最小発注単位ケース数を指定する (一般品の場合は、00または01をセットする)	[00]	V2
(81) 卸発注行番号 (数字 2桁)	卸売業での発注伝票行No. (00, 01~99)	[00] [10]	V2
(82) 納入単価表示区分 (英数カナ 1桁)	在庫型センター等の納入時に、単価/金額を表示したくない時に指定する △: 表示 1: 非表示	[]	V2
(83) 卸最新在庫日付区分 (英数カナ 1桁)	卸最新在庫日付の日付区分を指定する(相対運用) △: 未使用 卸最新在庫日付運用をしない場合 1: 製造日 卸最新在庫日付を製造日で表記する場合 2: 賞味期限 卸最新在庫日付を賞味期限で表記する場合	[] [1] [2]	V2

(84) 卸最新在庫日付 (数字 8桁)	卸売業が前回迄に納入された最新在庫の日付を指定する 未使用 卸最新在庫日付運用をしない場合 [00000000] 製造日 卸最新在庫日付を製造日で指定する [20160401] 賞味期限 卸最新在庫日付を賞味期限で指定する [20170301] (賞味期限月表示の場合は、月末最終日を指定) [20170331]	V1/V2
(85) 入庫許容日付区分 (英数カナ 1桁)	入庫許容日付の日付区分を指定する (相対運用) △ : 未使用 入庫許容日付運用をしない場合 [] 1 : 製造日 入庫許容日付を製造日で表記する場合 [1] 2 : 賞味期限 入庫許容日付を賞味期限で表記する場合 [2]	V2
(86) 入庫許容日付 (数字 8桁)	入庫許容日付を指定する 未使用 入庫許容日付の運用をしない場合 [00000000] 製造日 入庫許容日付を製造日で指定する [20160401] 賞味期限 入庫許容日付を賞味期限で指定する [20170301] (賞味期限月表示の場合は、月末最終日を指定) [20170331]	V2
(87) 温度管理区分 (英数カナ 1桁)	該当商品の温度帯管理区分を指定する △/0 : 常 温 [] 1 : 28℃以下 [1] 2 : 20℃以下 [2] 3 : 冷蔵 (10℃以下) (チルド: 5℃以下) [3] 4 : 冷凍 (-15℃以下) [4]	V2
(88) 摘 要 (文字 50桁)	明細行に対する適要の文字を指定する 英数カナ (50文字) [イフ シガレ] 漢字の場合は、実質は25文字 [一部品切れ]	V2
(89) 日本語区分 (英数カナ 1桁)	該当の項目の日本語の区分を指定する △/0 : 英数カナを指定 または 無指定 [] 1 : 漢字を指定 [1] (漢字のコードは、e お菓子ねっとセンター登録による) (S-JIS漢字/ I BM漢字/ J E F 漢字/ J I S 漢字)	V2
(90) 日本語区分 (商品名)		
(90) 日本語区分 (摘要)		
(91) 菓子業界商品分類コード (英数カナ 6桁)	菓子業界の新商品分類コード (JICFSの機能分類コードとして登録) を指定する [132335]	V2
(92) 商品名カナ (英数カナ 25桁)	前記「商品名」に漢字を指定した場合に、英数カナ文字を指定する (英数カナ: 25文字) (伝票上: 24文字/行) [XXXXX 75G ミルクチョコレート]	V2
(93) 明細予備	原則、スペース・クリアーとする	V1/V2
(94) 明細部 (連携エリア) (英数カナ 20桁)	V 1 フォーマット⇔V 2 フォーマットに自動変換された場合に V 1 フォーマットの明細レコードの予備エリア (3桁) を連携する V 2 フォーマット同士では、相対で、特別な連携エリアとして利用可能である	V2

3. トレーラー・レコード

※ 送信元と送信先単位の最終レコード (1件) を作成する

(1) データ種別 (数字 2桁)	発注データであることを表わす [02 : 発注データ] [03 : 発注データ]	V1 V2
(2) 送信先コード (数字 8桁)	送信先 (メーカー) の拠点取引先コードを指定 [01010001]	V1/V2
(3) 送信元コード (数字 8桁)	送信元 (卸売業) 拠点取引先コードを指定 [02841001]	V1/V2
(4) レコード区分 (数字 1桁)	トレーラー・レコードであることを表わす [9]	V1/V2
(5) レコード件数 (数字 6桁)	ヘッダー明細レコードの件数 (コントロール・レコードとトレーラー・レコードを除く) ※下記【トレーラレコード連携時の留意事項】を参照のこと [000135]	V1/V2
(6) 伝票枚数 (数字 6桁)	ヘッダー明細レコードの明細行No.=01の件数 [000035]	V1/V2
(7) 合計金額符号 (英数カナ 1桁)	合計金額の符号 △/+ : 整数 (プラス) - : 負数 (マイナス) [+]	V1/V2
(8) 合計金額 (数字 10桁)	ヘッダー明細レコードの卸店入金額の合計を集計する [0000984500]	V1/V2
(9) 予 備	原則、スペース・クリアーとする	V1/V2
(10) 連携エリア (英数カナ 20桁)	V 1 フォーマット⇔V 2 フォーマットに自動変換された場合にも 予備エリアの連携は行わない V 2 フォーマット同士では、相対で、特別な連携エリアとして利用可能である	V2

※ 【トレーラレコード連携時の留意事項】

- ・データ受信企業は、異なるフォーマット (例: 卸様V2・EDI⇔メーカー様V1・EDI) でデータ連携する場合、「レコード件数」項目と実際のレコード件数で不一致が発生し、自社システムへ取り込めない場合があります。
- ・データ受信企業は、トレーラレコードの「レコード件数」項目 と実際のレコード件数 (物理レコード件数) の整合性チェックを行っている場合は、整合性チェックを除外して下さい。また、データの整合性チェックが必要な場合は、「レコード件数」項目ではなく「伝票枚数」項目をご利用下さい。

I. システムの目的

返品通知データは、卸売業からメーカーへ商品の返品を行う場合に、内容を通ずるデータである
卸売業⇄メーカー間で、データ交換をする事で、返品処理業務の標準化と省力化を実現して、業務改善に役立てる事ができる

II. システム運用方法

1. ネットワーク

- ① eお菓子ねっとセンター経由で、データの授受を行う
- ② 卸売業より、返品通知データをeお菓子ねっとセンターに送信する
(1回の送信で、複数のメーカー宛に送信が可能である)
- ③ メーカーは、eお菓子ねっとセンターより、自社宛の返品通知データを受け取る
(1回の受信で、複数の卸売業からの発注データの受信が可能である)
- ④ ネットワークの種類
 - ・ J X 手順(インターネット利用)
 - ・ e b X M L M S 手順(インターネット利用)
 - ・ 全銀 T C P I P 手順(電話回線(公衆/I S D N))
 - ・ W e b - E D I (インターネット利用)
 - ・ F A X 受信システム(データ化は不可能)

2. データの授受

- ・ 通常、卸売業からeお菓子ねっとセンターに送信完了後、ほぼ15分以内にメーカーが受信可能となる

3. 訂正連絡

- ・ 一定のルールを決めて、電話・FAX・メール等で、卸売業からメーカーへ連絡する
- ・ 運用を相対で決める (できれば、追加訂正を原則とする)

4. 運用確認事項

- ・ 詳細の運用については、卸売業、メーカーの相対で決める

① データの提供

- ・ 運用ルールに沿って、データ送付・受信の処理で行う
- ・ 双方のシステム稼働日を1ヶ月前に文書・メール等で確認し、年末・年始・休日の扱いの運用方法を決める
- ・ 請求締切日最終データの提供日を明確にする
- ・ 一括データ(何日間かのデータをまとめる)の提供もあり得る
- ・ 利用者との休日が合わない場合でも、eお菓子ねっとに送信することが出来るが、締日間際は注意する

② テスト方法

- ・ 出荷案内書との詳細チェックを行い、情報の伝達漏れの無いよう確認する

③ その他注意事項

(1) コード管理

- 利用する商品コード・取引先コードの改廃等の連絡方法を明確にしておく

(2) トラブル対応

- 提供者がデータの漏れ、重複の発生に気付いた場合は、直ちに利用者に連絡を取り対処方法を明確にする
- 利用者がエラーを発見した場合は、提供者に連絡し、提供者が赤・黒訂正を行う
- 送受信データに相違がある場合は、利用者・提供者双方でデータ照合を行い、問題解決する

III. 返品通知データ

1. コントロール・レコード

※ 送信元と送信先単位の先頭レコード(1件)を作成する

(1) データ種別 (数字 2桁)	返品通知データであることを表わす	[19: 返品通知データ] [18: 返品通知データ]	V1 V2
(2) 送信先コード (数字 8桁)	送信先(メーカー)の拠点取引先コードを指定 (センター登録マスターをチェックする)	[01010001]	V1/V2
(3) 送信元コード (数字 8桁)	送信元(卸売業)拠点取引先コードを指定 (センター登録マスターをチェックする)	[02841001]	V1/V2
(4) レコード区分 (数字 1桁)	コントロール・レコードであることを表わす	[1]	V1/V2
(5) データ作成日 (数字 8桁)	卸売業が返品通知データ作成した西暦年月日を指定	[20160925]	V1/V2
(6) 送信先名 (英数カナ 20桁)	送信先(メーカー)の拠点取引先名を指定(英数カナ)	[イヌモ ショクビン トウキョウ]	V1/V2
(7) 送信元名 (英数カナ 20桁)	送信元(卸売業)拠点取引先名を指定(英数カナ)	[ニホン ショウジ]	V1/V2
(8) 直接送信先コード (数字 8桁)	送信先(メーカー)の拠点取引先コードと異なる 拠点取引先コードに送信する場合に指定する (※センター登録 チェック) 変更しない場合はゼロを指定する	[02100011] [00000000]	V1/V2
(9) 直接送信先カナ名 (英数カナ 20桁)	送信先(メーカー)の拠点取引先コードと異なる 変更しない場合はスペースを指定する	[イヌモ ショクビン オサカ] []	V1
(10) 直接送信先名 (英数カナ 20桁)	拠点取引先コードに送信する場合に指定する 変更しない場合はスペースを指定する	[イヌモ ショクビン オサカ] []	V2

(11) 送信ファイルNo (数字 2桁)	同時送信時の問合せNo. (00~99)	[00]	V2
(12) 予備			V1/V2
(13) 連携エリア	新フォーマット間：相対利用可能エリア		V2

2. ヘッダー/明細レコード

※ 伝票ヘッダー情報と明細情報を一体化したレコードを作成する

※ 1伝票ヘッダーに対して、6明細を限度とする 明細行No.は(01~06)

(1) データ種別 (数字 2桁)	返品通知データであることを表わす	[19：返品通知データ] [18：返品通知データ]	V1 V2
(2) 送信先コード (数字 8桁)	送信先(メーカ)の拠点取引先コードを指定	[01010001]	V1/V2
(3) 送信元コード (数字 8桁)	送信元(卸売業)拠点取引先コードを指定	[02841001]	V1/V2
(4) レコード区分 (数字 1桁)	ヘッダー明細レコードであることを表わす	[2：ヘッダーレコード] [4：明細レコード] [3：ヘッダー明細]	V1 V1 V2
(5) 漢字コード区分 (英数カナ 1桁)	e お菓子ねっとセンターに登録された漢字コード区分が セットされてくる (1：S-JIS、2：J I S、3：J E F、4：I B M)		V2
(6) 卸伝票NO (数字 6桁)	V 1 フォーマットでは、卸伝票NO6桁とヘッダー予備欄(13桁目・14桁目)2桁に 返品伝票No.8桁の上2桁を連携する		V1
(7) 卸発注伝票NO (数字 8桁)	受発注データの卸伝票		V2
(8) 店入直送区分 (数字 1桁)	店(倉)入れまたは直送等を判断する 1：店入れ 卸売業倉入れ、センター納品等 2：直送 二次店納品等 3：店引取 卸売業がメーカに直接引き取りに来た場合 (V2→V1変換では、3→1に自動変換する) 4：直送引取 二次店等がメーカに直接引き取りに来た場合 (V2→V1変換では、4→2に自動変換する)		V1/V2 V1/V2 V2 V1 V2 V1
(9) 取引コード (数字 2桁)	卸売業-メーカ間の取引形態をあらわす(菓子業界統一取引コード) 11：店入売上 店入れ分の通常出荷 12：店入売上訂正 21：店入返品 店入れ分の返品 22：店入返品訂正 31：直送売上 直送分の通常出荷 32：直送売上訂正 41：直送返品 直送分の返品 42：直送返品訂正 51：割戻し金 割戻し金処理する場合 52：相殺 81：メーカ提供の役務 91：卸提供の役務		V1/V2
(10) 返品日 (数字 8桁)	返品した日(西暦 YYYYMMDD)を指定する		V1/V2

(11) 納入時間(自) (数字 4桁)	卸売業が指定した納品／引取開始時間(時分)	[0000] [0900]	V2
(12) 納入時間(至) (数字 4桁)	卸売業が指定した納品／引取完了時間(時分)	[0000] [1130]	V2
(13) 発注日 (数字 8桁)	卸売業の発注日を指定する (西暦)	[20161101]	V2

(14) 明細行数 (数字 2桁)	1伝票ヘッダーに対する明細行の合計数(00, 01~06)	[01]	V1/V2
(15) 一次店コード (英数カナ 13桁)	卸売業の請求取引先コード		V1/V2
(16) 二次店コード (英数カナ 13桁)	直送する場合の二次店の取引先コード		V1/V2
(17) 三次店コード (英数カナ 13桁)	直送する場合の三次店の取引先コード		V2
(18) 届け先コード (英数カナ 13桁)	通常は、納品する届け先の取引先コード センター納品する場合は売上帰属支店の取引先コード		V1/V2
(19) チェーン店コード (英数カナ 13桁)	チェーン店の取引先コード		V2
(20) 専用伝票日付 (数字 8桁)	専用伝票がある場合の専用伝票の専用伝票日付を指定 (西暦)	[20161015] [00000000]	V1/V2
(21) 専用伝票No. (数字 9桁)	専用伝票がある場合の専用伝票の専用伝票No.を指定	[000012345] [000000000]	V1/V2
(22) 伝票合計金額符号 (英数カナ 1桁)	伝票合計金額の符号 △/+：整数 (プラス) -：負数 (マイナス)	[+]	V1/V2
(23) 伝票合計金額 (数字 8桁)	明細の卸店入金額の伝票単位の合計金額	[00354850]	V1/V2
(24) 二次店納入合計金額符号 (英数カナ 1桁)	正味納入合計金額の符号 △/+：整数 (プラス) -：負数 (マイナス)	[+]	V2

(25) 二次店納入合計金額 (数字 8桁)	明細の卸店入金額の伝票単位の正味納入合計金額	[00354850]	V2
(26) 一次店名 (文字 40桁)	一次店名 英数カナの場合 (30文字) 漢字の場合は20文字 ※実質は15文字 (伝票表示上)		V2
(27) 二次店名 (文字 40桁)	二次店名 英数カナの場合 (30文字) 漢字の場合は20文字 ※実質は15文字 (伝票表示上)		V2
(28) 三次店名 (文字 40桁)	三次店名 英数カナの場合 (30文字) 漢字の場合は20文字 ※実質は15文字 (伝票表示上)		V2
(29) 届け先名 (文字 40桁)	届け先名 英数カナの場合 (30文字) 漢字の場合は20文字 ※実質は15文字 (伝票表示上)		V2
(30) チェーン店名 (文字 40桁)	チェーン店名 英数カナの場合 (30文字) 漢字の場合は20文字 ※実質は15文字 (伝票表示上)		V2
(31) 電話番号 (英数カナ 15桁)	通常は届け先の電話番号		V2
(32) 住所 (文字 80桁)	通常は届け先の住所 英数カナ (60文字) [シマネン マツシ アオハ`ダイ 2-11-1] 漢字の場合は40文字 ※実質は30文字		V2
(33) メーカーコード (英数カナ 9桁)	7桁の場合は後ろスペース [4912345] (49xxxxx / 45xxxxxxxx) [459123456]		V2
(34) メーカー所属組織名 (英数カナ 10桁)	メーカーの担当所属の組織名 (英数カナ) を指定 (実質、運用上はスペースが多い)		V2
(35) 伝票区分 (数字 1桁)	伝票発行区分を指定する [0] 0 : 菓子統一伝票 1 : フェースト7統一伝票 (OCR、タイプ用で伝票No.が印刷されていないもの) 2 : 専用伝票 (伝票No.あり) (専用伝票No.を表示できるもの) 3 : 専用伝票 (伝票No.なし) (専用伝票だが、元伝No.を表示できないもの) 4 : フェースト7統一伝票 (ターンアラウンド用) 8 : 伝票レス (伝票レス納品の場合)		V2 V2 V2 V2 V2 V2
(36) 定番特売区分 (英数カナ 1桁)	定番発注/特売発注を指定する 0 : 定 番 1 : 特 売 [1] △ : 分類不能		V2 V2
(37) ロット不足運賃負担区分 (英数カナ 1桁)	発注ロット不足になった場合の運賃負担の区分を指定 [] △ : 無指定 1 : 卸売業負担あり 2 : 卸売業負担なし		V2
(38) 下請法 : 伝票表示区分 (英数カナ 1桁)	下請法関係の伝票表示の有無区分 [] △ : 表示なし 1 : 表示あり		V2
(39) 下請法 : 伝票表示内容 (文字 80桁)	下請法関係の伝票表示内容を指定する 英数カナの場合 (60文字) 漢字の場合は40文字 ※実質は30文字 (伝票表示上)		V2
(40) 下請法 : 日本語区分 (表示) (英数カナ 1桁)	下請法関係の伝票表示内容の日本語区分を指定する [] △/0 : 英数カナ 1 : 漢字 (S-JIS/IBM/JEF/JIS)		V2
(41) 下請法 : 支払期限 (数字 8桁)	下請法関係の支払期限を指定する (西暦) [00000000] [20161130]		V2
(42) 消費税区分 (英数カナ 1桁)	税区分 1 : 外 税 2 : 内 税 [1] 3 : 非課税 △ : 個別判断		V2
(43) 消費税率 (数字 3桁)	消費税の税率 (99.9%)、ゼロ:個別判断		V2
(44) 摘要 (文字 50桁)	伝票の摘要欄の内容 (英数カナは50文字、漢字は25文字)		V2
(45) 取引先区分 (一次店) (英数カナ 1桁)	該当項目の取引先の属性区分 △:統一取引先 (8桁) []		V2
(46) 取引先区分 (二次店) (英数カナ 1桁)	該当項目の取引先の属性区分 △:統一取引先 (8桁) []		V2
(47) 取引先区分 (三次店) (英数カナ 1桁)	該当項目の取引先の属性区分 △ :統一取引先 (8桁) [] 6 : GLN (13桁) 7/8: プライベートコード (卸/メカ)		V2
(48) 取引先区分 (届け先) (英数カナ 1桁)	該当項目の取引先の属性区分 △:統一取引先 (8桁) []		V2
(49) 取引先区分 (チェーン店) (英数カナ 1桁)	該当項目の取引先の属性区分 △ :統一取引先 (8桁) [] 6 : GLN (13桁) 7/8: プライベートコード (卸/メカ)		V2
(50) 日本語区分 (一次店) (英数カナ 1桁)	該当項目の日本語区分 △/0:英数カナ [] 1 : 漢字 (S-JIS/JIS/JEF/IBM)		V2
(51) 日本語区分 (二次店) (英数カナ 1桁)	該当項目の日本語区分 "		V2
(52) 日本語区分 (三次店) (英数カナ 1桁)	該当項目の日本語区分 "		V2
(53) 日本語区分 (届け先店) (英数カナ 1桁)	該当項目の日本語区分 "		V2

(54) 日本語区分 (チェーン店) (英数カナ 1桁)	該当項目の日本語区分	〃	V2
(55) 日本語区分 (住所) (英数カナ 1桁)	該当項目の日本語区分	〃	V2
(56) 日本語区分 (摘要) (英数カナ 1桁)	該当項目の日本語区分	〃	V2
(57) 一次店カナ名 (文字 30桁)	一次店カナ名 「一次店名」に漢字を指定した場合に、英数カナ文字を指定する		V1/V2
(58) 二次店カナ名 (文字 30桁)	二次店カナ名 「二次店名」に漢字を指定した場合に、英数カナ文字を指定する		V1/V2
(59) 届け先カナ名 (文字 30桁)	届け先カナ名 「届け先名」に漢字を指定した場合に、英数カナ文字を指定する		V1/V2
(60) メーカー所属組織名 (英数カナ 10桁)	メーカーの担当所属の組織名(英数カナ)を指定 (実質、運用上はスペースが多い)		V1
(61) 摘要欄 (文字 30桁)	伝票ヘッダー部の適用文字を指定する 英数カナ(30文字)	[オンライン トクデナリ コゼンチュウ ニ ノウヒン]	V1
(62) 摘要カナ (文字 30桁)	摘要カナ		V2
(63) メーカーコード (英数カナ 9桁)	メーカー・コードを指定(7桁の場合は後ろスペース) (49xxxxx /45xxxxxxxx)	[4912345] [459123456]	V1
(64) 予備			V1/V2
(65) ヘッダー連携エリア	新フォーマット間：相対利用可能エリア		V2
(66) 明細行No. (数字 2桁)	1伝票(ヘッダー)内の明細行No.を指定する(01~06)	[01]	V1/V2
(67) 専用伝票行No. (数字 2桁)	専用伝票がある場合の専用伝票の行No.を指定する (00~30)	[00]	V1/V2
(68) 商品コード識別区分 (数字 1桁)	次の品番(商品コード)の識別区分を指定する	[品番へのセット値例]	V1/V2
(69) 品番 (英数カナ 16桁)	上記、商品コード識別区分に基づいた値をセットする		V1/V2
(70) 商品名 (文字 50桁)	商品名を表記する (規格表示+商品固有名称) (英数カナ：25文字) (伝票上：24文字/行) (漢字：20文字) (伝票上：12文字/行)	[XXXXX 75G ミルクチョコレート] [X X 75 g ミルクチョコ]	V1/V2
(71) 包装区分 (数字 1桁)	数量の発注単位を指定する 1 : ケース発注 (外箱/カルトン) 2 : ボール発注 (内箱) 3 : バラ発注 (単品)	[1]	V1/V2
(72) ボール内バラ数 (数字 6桁)(小数点以下2桁)	ボール(内箱)内の単品の入数 (小数点以下2桁)	[001200]	V1/V2
(73) ケース内ボール数 (数字 2桁)	ケース(外箱)内のボール(内箱)の入数 ＜ボール内バラ数＞ ＜ケース内ボール数＞ (1 : ケース発注の時) [001200] [06] (2 : ボール発注の時) [001200] [00] (3 : バラ発注の時) [000000] [00]	[06]	V1/V2
(74) 数量符号 (英数カナ 1桁)	以下の数量の符号を指定 △/+ : 整数 (プラス) - : 負数 (マイナス)	[+]	V1/V2
(75) ケース数量 (数字 7桁)	(1 : ケース発注の時に、発注ケース数量を指定する) (ボール/バラ発注の時はゼロをセットする)	[0000002]	V1/V2
(76) ボール数量 (数字 7桁)	(2 : ボール発注の時に、発注ボール数量を指定する) (ケース/バラ発注の時はゼロをセットする)	[0000000]	V1/V2
(77) バラ数量 (数字 9桁)(小数点以下2桁)	(3 : バラ発注の時に、発注バラ数量を指定する) (ケース/ボール発注の時に、バラ換算数量を指定する)	[000014400]	V1/V2
(78) 卸店入価格 (数字 8桁)(小数点以下2桁)	卸売業納入単価(建値)を指定する→伝票金額 (バラ単価を指定)	[00008400]	V1/V2
(79) 二次店納入価格 (数字 8桁)(小数点以下2桁)	二次店納入単価(正味単価等)を指定する→正味金額 (バラ単価を指定)	[00008050]	V1/V2
(80) 金額符号 (英数カナ 1桁)	以下の金額の符号を指定 △/+ : 整数 (プラス) - : 負数 (マイナス)	[+]	V1/V2
(81) 卸店入金額 (数字 8桁)	(卸店入価格*バラ数量) (小数点以下は切捨て) (通常：外税)	[00012096]	V1/V2
(82) 二次店納入金額 (数字 8桁)	(二次店納入価格*バラ数量) (小数点以下は切捨て) (通常：外税)	[00011592]	V1/V2
(83) 返品区分 (英数カナ 1桁)	当面使用しない		V1/V2
(84) 入荷単位ケース数 (数字 2桁)	荷合せ品の場合の1梱包ケース数量を指定する	[10]	V2

I. システムの目的とねらい

出荷報告データは、発注データと比べ、下記の点で異なるので注意する

- ・一括処理情報である
- ・受発注システムに比べて緊急性が低い
- ・取引確定データである

1. 卸売業は、出荷報告データを下記の業務に利用し、事務の合理化を図る事ができる

- ① 直送売上請求データの作成
- ② 得意先へのお荷案内書(データ含む)の作成
- ③ 為替手形付取引の入金データ自動作成(一部企業)
- ④ 割戻しデータの自動作成(一部企業)
- ⑤ 直送仕入れデータの作成
- ⑥ 請求支払照合データの自動作成
- ⑦ 自社倉入れデータとの照合

2. メーカーは出荷報告データを提供することにより、下記の事ができる

- ① 出荷案内書の廃止(業態による)
- ② 請求明細書の廃止(請求支払照合自動化企業)
- ③ 利用者は出荷報告データの蓄積を行う

II. システム運用方法

1. ネットワーク

- ① eお菓子ねっとセンター経由で、データの授受を行う
- ② メーカーより、出荷報告データをeお菓子ねっとセンターに送信する
(1回の送信で、複数の卸売業宛への送信が可能である)
- ③ 卸売業は、eお菓子ねっとセンターより、自社宛の出荷報告データを受け取る
(1回の受信で、複数のメーカーからの出荷報告データの受信が可能である)
- ④ ネットワークの種類
 - ・ J X 手順(インターネット利用)
 - ・ e b X M L M S 手順(インターネット利用)
 - ・ 全銀 T C P I P 手順(電話回線(公衆/I S D N))
 - ・ W e b - E D I (インターネット利用)

2. データの授受

- ・ 通常、メーカーからeお菓子ねっとセンターに送信完了後、ほぼ15分以内に、卸売業が受信可能となる

3. 訂正連絡

- ・ 一定のルールを決めて、電話・FAX・メール等で、メーカーから卸売業へ連絡する
- ・ データによる一部訂正か、全訂正か、運用を相対で決める(できれば、追加訂正を原則とする)

4. 運用確認事項

- ① データの提供
 - ・ 卸売業での実績把握・請求処理を早くする為、原則、日次処理で行い、出荷日を含め3日以内に提供する
 - ・ 双方のシステム稼働日を1ヶ月前に文書・メール等で確認し、年末・年始・休日の扱いの運用方法を定める
 - ・ 請求締切日最終データの提供日を明確にする
 - ・ 1日分のデータが2日に別れて提供される場合がある
 - ・ 一括データ(何日間かのデータをまとめる)の提供もあり得る
 - ・ 利用者との休日が合わない場合でも、eお菓子ねっとに送信することが出来るが、締日間際は注意する
- ② テスト方法
 - ・ 出荷案内書との詳細チェックを行い、情報の伝達漏れの無いよう確認する
- ③ 出荷案内書の廃止範囲の明確化
 - ・ [店入]と[直送]の明確化
 - [店入直送区分]に明示された内容と取引実態が一致しているか
 - ・ 出荷報告データの内容の充実
 - 出荷案内書の摘要欄、専用伝票情報表示、物流情報の表示を、出荷報告データに反映出来るか
- ④ 運用ルールを明確にする
 - (1) データ作成時期
 - ・ 直送データ・・・利用者または得意先から受けた注文に対して納品確認のとれた後、速やかに作成する
 - ・ 倉入データ・・・受注データに対して納品に応じられるデータは、出荷指図確認後、速やかに作成する
 - (2) コード管理
 - 利用する商品コード・取引先コードの改廃等の連絡方法を明確にしておく
 - (3) トラブル対応
 - 提供者がデータの漏れ、重複の発生に気付いた場合は、直ちに利用者に連絡を取り対処方法を明確にする
 - 利用者がエラーを発見した場合は、提供者に連絡し、提供者が赤・黒訂正を行う
 - 送受信データに相違がある場合は、利用者・提供者双方でデータ照合を行い、問題解決する

- ⑤ 請求明細書の廃止
- 卸売業では請求支払の照合業務の効率化の一環として、支払照合の自動化を進めており、照合率のアップが急務の課題であり、出荷報告データの精度を向上し、照合率の向上を図り、重複する[請求明細書]の作成、および送付を廃止するように、メーカー・卸売業で検討を行う事が望ましい
 - 出荷報告データの内容は[請求明細書]と同一とする
 - 卸売業の請求支払照合率の向上は、照合のキーとなる発注No.、出荷伝票No.、元伝票No.・元伝年月日などの自動照合に必要な項目をセットする
 - 卸売業での不照合の要因には、訂正対象となる元伝票が分からない(照合キーが一致しない)ことが多い
メーカーは、卸売業の発注No.、元伝票No.、元伝年月日を必ず、出荷報告データにセットする
- ⑥ 卸売業買掛金照合システムの構築
- 照合用データとして、日々出荷報告データを照合処理を実施する締日まで蓄積する
 - 照合システムの構築
(蓄積した出荷報告データと自社の買掛データとの締日毎の照合はコンピュータシステムで行う)

Ⅲ. 出荷報告データ

1. コントロール・レコード

※ 送信元と送信先単位の先頭レコード(1件)を作成する

(1) データ種別 (数字 2桁)	出荷報告データであることを表わす	[22 : 出荷報告データ] [23 : 出荷報告データ]	V1 V2
(2) 送信先コード (数字 8桁)	送信先(卸売業) 拠点取引先コードを指定 (センター登録マスターをチェックする)	[02841001]	V1/V2
(3) 送信元コード (数字 8桁)	送信元(メーカー)の拠点取引先コードを指定 (センター登録マスターをチェックする)	[01010001]	V1/V2
(4) レコード区分 (数字 1桁)	コントロール・レコードであることを表わす	[1]	V1/V2
(5) データ作成日付 (数字 8桁)	メーカーが出荷報告データ作成した西暦年月日を指定	[20160925]	V1/V2
(6) データ作成時刻 (数字 6桁)	メーカーが出荷報告データ作成した時間を指定(時分秒)	[221500]	V2
(7) 送信先名 (英数カナ 20桁)	送信先(卸売業) 拠点取引先名を指定(英数カナ)	[ニホン ショウジ]	V1/V2
(8) 送信元名 (英数カナ 20桁)	送信元(メーカー)の拠点取引先名を指定(英数カナ)	[イヌモ ショウビン トウキョウ]	V1/V2
(9) 直接送信先コード (数字 8桁)	送信先(卸売業)の拠点取引先コードと異なる 拠点取引先コードに送信する場合に指定する(センター登録チェック) 変更しない場合はゼロを指定する	[02100022] [00000000]	V1/V2
(10) 直接送信先名 (英数カナ 20桁)	送信先(卸売業)の拠点取引先コードと異なる 拠点取引先コードに送信する場合に指定する 変更しない場合はスペースを指定する	[ニホン ショウジ 材サカ] []	V1/V2
(11) 送信ファイルNo. (数字 2桁)	同時送信時の問合せNo.を表記したい場合は指定する 同時送信時の問合せNo.を表記しない場合はゼロ指定	[01~99] [00]	V2
(12) 予備	原則、スペース・クリアーとする		V1/V2
(13) 連携エリア (英数カナ 20桁)	V 1 フォーマット⇔V 2 フォーマットに自動変換された場合にも 予備エリアの連携は行わない V 2 フォーマット同士では、相対で、特別な連携エリアとして利用可能である		V2

2. ヘッダー/明細レコード

※ 伝票ヘッダー情報と明細情報を一体化したレコードを作成する

※ 1伝票ヘッダーに対して、6明細を限度とする 明細行No.は(01~06)

(1) データ種別 (数字 2桁)	出荷報告データであることを表わす	[22 : 出荷報告データ] [23 : 出荷報告データ]	V1 V2
(2) 送信先コード (数字 8桁)	送信先(卸売業) 拠点取引先コードを指定	[02841001]	V1/V2
(3) 送信元コード (数字 8桁)	送信元(メーカー)の拠点取引先コードを指定	[01010001]	V1/V2
(4) レコード区分 (数字 1桁)	ヘッダー明細レコードであることを表わす	[2 : ヘッダーレコード] [4 : 明細レコード] [3 : ヘッダー明細]	V1 V1 V2
(5) 漢字コード区分 (英数カナ 1桁)	②お菓子ねっとセンターに登録された漢字コード区分が (未登録は2 : JIS) セットされてくる (1 : S-JIS、2 : J I S、3 : J E F、4 : I B M)		V2
(6) 卸発注伝票No. (数字 8桁)	卸売業が発注データを区別する為に、伝票ヘッダー単位に (8桁) ユニークな発注No.をセットする 直送返品時は返品No.をセットする 受発注データで受けた場合は必ず設定する 卸発注伝票No.を6桁管理する場合は、上2桁"00"をセットする (6桁)		V2
卸伝票No (数字 6桁)	V 1 フォーマットでは、卸伝票No6桁とヘッダー予備欄(2桁)に 卸発注伝票No.8桁の上2桁を連携する		V1
(7) メーカー伝票No. (数字 8桁)	メーカーが出荷データを区別する為に、伝票ヘッダー単位に ユニークな出荷No.をセットする	[00101011]	V2
伝票No (数字 6桁)	メーカー伝票No.を6桁管理する場合は、上2桁"00"をセットする メーカーが出荷報告データを区別する為に、伝票ヘッダー単位に ユニークな出荷No.をセットする	[101011]	V1

(8) 店入直送区分 (数字 1桁)	店(倉)入れまたは直送等を判断する 1 : 店入れ 卸売業倉入れ、センター納品等 2 : 直送 二次店納品等 3 : 店引取 卸売業がメーカーに直接引き取りに来た場合 (V2→V1変換では、3→1に自動変換する) 4 : 直送引取 二次店等がメーカーに直接引き取りに来た場合 (V2→V1変換では、4→2に自動変換する)	[1]	V1/V2 V1/V2 V2 V1 V2 V1		
(9) 取引コード (数字 2桁)	卸売業-メーカー間の取引形態をあらわす(菓子業界統一取引コード) 11: 店入売上 店入れ分の通常出荷 12: 店入売上訂正 81: メーカー提供の役務 21: 店入返品 店入れ分の返品 22: 店入返品訂正 91: 卸提供の役務 31: 直送売上 直送分の通常出荷 32: 直送売上訂正 41: 直送返品 直送分の返品 42: 直送返品訂正 51: 割戻し金 割戻し金処理する場合 52: 相殺 売上相殺する場合	[11]	V1/V2		
(10) 取引年月日 (数字 8桁)	卸売業に納品された日(卸売業への着荷日) 卸売業がメーカーに引取りに来た引取日	(西暦) [20160926]	V1/V2		
(11) 出荷年月日 (数字 8桁)	メーカーが実出荷した日(メーカーの出荷日) 卸売業がメーカーに引取りに来た引渡日	(西暦) [20160925]	V2		
(12) 着荷予定日 (数字 8桁)	卸売業に着荷する予定日(着荷日)	(西暦) [20160925]	V2		
(13) 納入予定時間 (数字 4桁)	卸売業に、納品出来る予定時間	(時分) [0830]	V2		
(14) 倉庫コード (英数カナ 4桁)	メーカーの出荷倉庫を識別したい場合	(相対利用) [1825]	V2		
(15) 伝送区分 (英数カナ 1桁)	請求・支払データを伝送する場合のデータの発生区分 1 : 全部送信 (出荷報告提供済データも送る) 2 : 違算分送信(前残再請求分データ) △ : 無指定	[1]	V2		
(16) 出荷報告以外区分 (英数カナ 1桁)	請求・支払データの作成の時、出荷報告データとの関係を指定する 0 : 提供(出荷報告提供済データ) 1 : 未提供(出荷報告未提供データ) 2 : 再請求(前残再請求分データ) △ : 無指定	[0]	V2		
(17) 集計明細区分 (英数カナ 1桁)	請求・支払データを明細または伝票集計での作成区分 △ : 明細単位で作成 1 : 伝票(集計)単位で作成 (※未使用)	[]	V2		
(18) 請求締日 (数字 8桁)	提供企業(メーカー)の請求最終締日(西暦) (休日を無視しても可能)	[20161031]	V2		
(19) 請求口座 (英数カナ 10桁)	提供企業(メーカー)の請求口座コードを指定 (提供企業が設定、4~10桁で指定する)	[12345678]	V2		
(20) 請求支払区分 (数字 2桁)	請求・支払データのデータの発生区分を指定する 00 : 今回分請求・今回分支払 10 : 前回分請求・今回未払分 20 : 請求控除 ・支払控除	[00]	V2		
(21) 明細行数 (数字 2桁)	1伝票ヘッダーに対する明細行の合計数(00, 01~06) (伝票集計単位の時でも、[01]を指定する)	[04]	V1/V2		
(22) 一次店コード (英数カナ 13桁)	卸売業の請求取引先コード	[02100001]	V1/V2		
(23) 二次店コード (英数カナ 13桁)	直送する場合の二次店の取引先コード	[03510011]	V1/V2		
(24) 三次店コード (英数カナ 13桁)	直送する場合の三次店の取引先コード センター納品する場合のセンターの取引先コード (プライベートコード可)	[08510021] [1100]	V2		
(25) 届け先コード (英数カナ 13桁)	通常は、納品する届け先の取引先コード センター納品する場合は売上帰属支店の取引先コード	[02100001]	V1/V2		
(26) チェーン店コード (英数カナ 13桁)	店舗コード (プライベートコード可)	[1011]	V2		
・店入れ(倉入れ)	<一次店> A卸売業	<二次店>	<三次店>	<届け先> A卸売業	<チェーン店>
・店入れ(卸支店倉入れ)	A卸売業			A卸B支店	
・店入れ(センター納品)	A卸売業		(納品センター)	A卸C支店	
・直送 (二次店デポ納品)	A卸売業	C二次店		C二次店デポ	
・直送 (三次店デポ納品)	A卸売業	C二次店	D三次店	D三次店デポ	
・直送 (二次スーパー店舗)	A卸売業	C二次店		D二次スーパー	E店舗
・直送 (二次スーパー店舗) (センター納品)	A卸売業	C二次店	(納品センター)	D二次スーパー	E店舗

<取引先コード定義>

統一取引先コード	△	上1桁目		1桁	0:通常	(0/8/9)	※一次店/二次店/届け先は 統一取引先コードのみ
		中3桁		3桁	郵便番号上3桁	(001~999)	
		下4桁		4桁	登録順連番	(0001~9999)	
GLNコード (国際標準事業所コード)	6	事業所コード7桁		13桁	事業所コード7桁+ロケーション5桁+C/D	(491234500001c)	※三次店/チェーンは GLNコード/ プライベートコード可能
卸プライベートコード	7	事業所コード9桁		13桁	事業所コード9桁+ロケーション3桁+C/D	(491234567001c)	
メーカープライベートコード	8			3~13桁	卸指定の取引先コード(送信元)	0123/0123456789	
				3~13桁	メーカー指定の取引先コード(送信元)	012/012345679	

※ V2⇔V1データ変換連携

		[V2フォーマット 13桁]		[V1フォーマット 8桁]	
統一取引先コード		1 2 3 4 5 6 7 8	→	1 2 3 4 5 6 7 8	
GLNコード		1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13	→	6 7 8 9 10 11 12 13	(GLNコードのみ右詰め)
卸プライベートコード		1 2 3 4 5 6 7	→	1 2 3 4 5 6 7	
メーカープライベートコード		1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	→	1 2 3 4 5 6 7 8	
(27) 専用伝票日付 (数字 8桁)		専用伝票がある場合の専用伝票の日付	(西暦)	[20160926]	V1/V2
(28) 専用伝票No. (数字 9桁)		専用伝票がある場合の専用伝票No.		[123456789]	V1/V2
(29) 元伝年月日 (数字 8桁)		メーカーが訂正した元の伝票のメーカー出荷年月日 (西暦) <V1: 元伝日付>		[20160914]	V1/V2
(30) 元伝No. (数字 8桁)		メーカーが訂正した元の伝票のメーカー伝票No.		[00123456]	V1/V2
(31) 伝票合計金額符号 (英数カナ 1桁)		伝票合計金額の符号 [△] / [+]: 正符号 [-]: 負符号		[+]	V1/V2
(32) 伝票合計金額 (数字 8桁)		明細の卸店入金額の伝票単位の合計金額 (※ 最終明細行のみセットでも良い) (※ex 01~03明細行: ゼロ、04明細行: 合計をセットする)		[00094500]	V1/V2
(33) 二次店納入合計金額符号 (英数カナ 1桁)		二次店納入合計金額の符号 [△] / [+]: 正符号 [-]: 負符号		[+]	V1/V2
(34) 二次店納入合計金額 (数字 8桁)		明細の二次店納入金額の伝票単位の合計金額 (※ 最終明細行のみセットでも良い) (※ex 01~03明細行: ゼロ、04明細行: 合計をセットする)		[00082035]	V1/V2
(35) 一次店名 (文字 40桁) <V1: 一次店カナ名>		一次店名を指定する 英数カナの場合 (30文字) 漢字の場合は20文字 ※実質は15文字 (伝票表示上)		[イ*モ ショクン トウキョウ] [出雲商事 東京]	V1/V2 V2
(36) 二次店名 (文字 40桁) <V1: 二次店カナ名>		二次店名を指定する 英数カナの場合 (30文字) 漢字の場合は20文字 ※実質は15文字 (伝票表示上)		[マツエ ショウテン] [松江商店]	V1/V2 V2
(37) 三次店名 (文字 40桁)		三次店名 (センター納品先名) を指定する 英数カナの場合 (30文字) <届け先カナ名> 漢字の場合は20文字 ※実質は15文字 (伝票表示上)		[ヤスキ ストア] [安来ストア]	V2 V2
(38) 届け先名 (文字 40桁) <V1: 届け先カナ名>		届け先名を指定する 英数カナの場合 (30文字) 漢字の場合は20文字 ※実質は15文字 (伝票表示上)		[マツエ ショウテン アウロ] [松江商店 A 倉庫]	V1/V2 V2
(39) チェーン店名 (文字 40桁)		チェーン店名 (店舗名) を指定する 英数カナの場合 (30文字) 漢字の場合は20文字 ※実質は15文字 (伝票表示上)		[シンジ コテン] [央道湖店]	V2 V2
(40) 電話番号 (英数カナ 15桁)		届け先の電話番号を指定する (" - " を含む)		[0852-92-3199]	V2
(41) 住 所 (文字 80桁)		届け先の住所を指定する 英数カナ (60文字) 漢字の場合は40文字 ※実質は30文字		[シマネケン マツシ アバゲイ 2-11-1] [島根県松江市青葉台2-11-1]	V2
(42) 摘 要 (文字 50桁) <V1: 摘要欄>		伝票ヘッダー部の摘要の文字を指定する 英数カナ (50文字) 漢字の場合は、実質は25文字		[オンライン トクデンアリ ゴゼンチュウ ニ ノウヒン] [オンライン特伝あり 午前中に納品]	V1/V2 V2
(43) メーカー・コード (英数カナ 9桁)		メーカー・コードを指定 (7桁の場合は後ろスペース) (49xxxxx / 45xxxxxxx)		[4912345] [459123456]	V2
(44) メーカー所属組織名 (英数カナ 10桁)		メーカーの担当所属の組織名 (英数カナ) を指定 (実質、運用上はスペースが多い)		[マツエ シテン]	V1/V2
(45) 伝票区分 (数字 1桁)		伝票発行区分を指定する 0: 菓子統一伝票 1: フェンスト7統一伝票 (OCR、タイプ用で伝票No.が印刷されていないもの) 2: 専用伝票 (伝票No.あり) (専用伝票No.を表示できるもの) 3: 専用伝票 (伝票No.なし) (専用伝票だが、元伝No.を表示できないもの) 4: フェンスト7統一伝票 (ターナラウト用) 8: 伝票レス (流通BMS等で、伝票レス納品の場合)		[0]	V1/V2 V1/V2 V1/V2 V1/V2 V1/V2 V2

(46) 登録店区分 (英数カナ 1桁)	メーカー登録店区分を指定する △ : 無指定 0 : 登録店以外 1 : 登録店	[0]	V1/V2
(47) 定番特売区分 (英数カナ 1桁)	定番発注/特売発注を指定する 0 : 定 番 1 : 特 売 △ : 分類不能	[0]	V1/V2
(48) 消費税区分 (英数カナ 1桁)	消費税の税区分を指定する 1 : 外 税 2 : 内 税 3 : 非課税 △ : 個別判断	[1]	V2
(49) 消費税率 (数字 3桁)	消費税率を指定する 99.9 % (小数点以下1桁) "080" : 消費税 : 8.0 %	[080]	V2
(50) ロット不足運賃負担区分 (英数カナ 1桁)	発注ロット不足になった場合の運賃負担の区分を指定 △ : 無指定 1 : 卸売業負担あり 2 : 卸売業負担なし	[]	V2
(51) 取引先区分 (英数カナ 1桁)	該当の項目の取引先の属性区分を指定する △ : 統一取引先コードを指定 または 無指定 6 : G L Nコードを指定 7 : 該当卸売業のプライベート・コードを指定 8 : 該当メーカーのプライベート・コードを指定	[]	V2
(51) 取引先区分(一次店)			
(52) 取引先区分(二次店)			
(53) 取引先区分(三次店)			
(54) 取引先区分(届け先)			
(55) 取引先区分(チェーン店)			
(56) 日本語区分 (英数カナ 1桁)	※ 一次店、二次店、届け先はプライベート・コードは不可とする 該当の項目の日本語の区分を指定する △ / 0 : 英数カナを指定 または 無指定 1 : 漢字を指定 (漢字のコードは、eお菓子ねっとセンター登録による) (S-JIS漢字/ I B M漢字/ J E F 漢字/ J I S 漢字)	[]	V2
(56) 日本語区分(一次店)			
(57) 日本語区分(二次店)			
(58) 日本語区分(三次店)			
(59) 日本語区分(届け先)			
(60) 日本語区分(チェーン店)			
(61) 日本語区分(住 所)			
(62) 日本語区分(摘 要)			
(63) 一次店カナ名 (英数カナ 30桁)	前記「一次店名」に漢字を指定した場合に、英数カナ文字を指定する		V2
(64) 二次店カナ名 (英数カナ 30桁)	前記「二次店名」に漢字を指定した場合に、英数カナ文字を指定する		V2
(65) 届け先カナ名 (英数カナ 30桁)	前記「届け先名」に漢字を指定した場合に、英数カナ文字を指定する		V2
(66) 摘要カナ (英数カナ 30桁)	前記「摘要」に漢字を指定した場合に、英数カナ文字を指定する		V2
(67) ヘッダー予備	原則、スペース・クリアーとする		V1/V2
(68) ヘッダー部(連携エリア) (英数カナ 20桁)	V 1 フォーマット⇄V 2 フォーマットに変換された場合にも 予備エリアの連携は行わない V 2 フォーマット同士では、相対で、特別な連携エリアとして利用可能である		V2
(69) 明細行No. (数字 2桁)	1伝票(ヘッダー)内の明細行No.を指定する(01~06) <V1 : 行NO>	[01]	V1/V2
(70) 専用伝票行No. (数字 2桁)	専用伝票がある場合の専用伝票の行No.を指定する (00~30)	[00]	V1/V2
(71) 商品コード識別区分 (数字 1桁)	次の品番(商品コード)の識別区分を指定する	[品番へのセット値]	V1/V2
0	統一商品コード メーカー・コードが7桁の場合 [000]+[メカ・コード 7桁]+[アイテム5桁]+[0] メーカー・コードが9桁の場合 [0]+[メカ・コード 9桁]+[アイテム5桁]+[0]	[0004912345100010] [0491234567200020]	
1	I T Fコード(14桁) メーカー・コードが7桁の場合 [P]+[メカ・コード 7桁]+[アイテム5桁]+[C] メーカー・コードが9桁の場合 [P]+[メカ・コード 9桁]+[アイテム3桁]+[C]	[14912345100013] [14912345671018]	
3	J A Nコード(標準: 13桁) メーカー・コードが7桁の場合 [メカ・コード 7桁]+[アイテム5桁]+[C] メーカー・コードが9桁の場合 [メカ・コード 9桁]+[アイテム3桁]+[C]	[4912345100030] [4912345672032]	
4	J A Nコード(短縮: 8桁)	[メカ識別6桁]+[アイテム1桁]+[C] [49778816]	
6	G T I Nコード(14桁) ITF : メーカーCDが7桁の場合 [P]+[メカ・コード 7桁]+[アイテム5桁]+[C] ITF : メーカーCDが9桁の場合 [P]+[メカ・コード 9桁]+[アイテム3桁]+[C] JAN : メーカーCDが7桁の場合 [0]+[メカ・コード 7桁]+[アイテム5桁]+[C] JAN : メーカーCDが9桁の場合 [0]+[メカ・コード 9桁]+[アイテム3桁]+[C] J A N (短縮: 8桁) の場合 [000000]+[メカ識別6桁]+[アイテム1桁]+[C]	[14912345100013] [14912345671018] [04912345100030] [04912345672032] [00000049778816]	
(72) 品 番 (英数カナ 16桁)	上記、商品コード識別区分に基づいた値をセットする		V1/V2
(73) 商品名 (文字 50桁)	商品名を表記する (規格表示+商品固有名称) (英数カナ: 25文字) (伝票上: 24文字/行) [XXXXX 75G ミルクチョコレート] (漢字: 20文字) (伝票上: 12文字/行) [X X 75 g ミルクチョコ]		V1/V2 V2

(74) 包装区分 (数字 1桁)	数量の発注単位を指定する 1 : ケース発注 (外箱/カルトン) 2 : ボール発注 (内箱) 3 : パラ発注 (単品)	[1] [2] [3]	V1/V2
(75) ボール内パラ数 (数字 6桁) (小数点以下2桁)	ボール (内箱) 内の単品の入数 (小数点以下2桁)	[001200]	V1/V2
(76) ケース内ボール数 (数字 2桁)	ケース (外箱) 内のボール (内箱) の入数 <ボール内パラ数> <ケース内ボール数> (1 : ケース発注の時) [001200] [06] (2 : ボール発注の時) [001200] [00] (3 : パラ発注の時) [000000] [00]	[06] <パラ換算数量> [ケース数×72] [ボール数×12] [パラ数×1]	V1/V2
(77) 数量符号 (英数カナ 1桁)	以下の数量の符号を指定 △/+ : 整数 (プラス) - : 負数 (マイナス)	[+]	V1/V2
(78) ケース数量 (数字 7桁)	(1 : ケース発注の時に、発注ケース数量を指定する) (ボール/パラ発注の時はゼロをセットする)	[0000002] [0000000]	V1/V2
(79) ボール数量 (数字 7桁)	(2 : ボール発注の時に、発注ボール数量を指定する) (ケース/パラ発注の時はゼロをセットする)	[0000002] [0000000]	V1/V2
(80) パラ数量 (数字 9桁) (小数点以下2桁)	(3 : パラ発注の時に、発注パラ数量を指定する) (ケース/ボール発注の時に、パラ換算数量を指定する)	[0000010] [0000120]	V1/V2
(81) 卸店入価格 (数字 8桁) (小数点以下2桁)	卸売業納入単価 (建値) を指定する→伝票金額 (パラ単価を指定)	[00008400]	V1/V2
(82) 二次店納入価格 (数字 8桁) (小数点以下2桁)	二次店納入単価 (正味単価等) を指定する→正味金額 (パラ単価を指定)	[00007800]	V1/V2
(83) 金額符号 (英数カナ 1桁)	以下の金額の符号を指定 △/+ : 整数 (プラス) - : 負数 (マイナス)	[+]	V1/V2
(84) 卸店入金額 (数字 8桁)	(卸店入価格 * パラ数量) (小数点以下は切捨て) (通常 : 外税)	[00010800]	V1/V2
(85) 二次店納入金額 (数字 8桁)	(二次店納入価格 * パラ数量) (小数点以下は切捨て) (通常 : 外税)	[00009360]	V1/V2
(86) 商品添付区分 (英数カナ 1桁)	相対の運用で、添付商品扱いを指定する場合 △ : 通常商品 (通常、単価/金額はゼロ以外となる) 1 : 現物添付 (通常、単価/金額はゼロとなる) 2 : 見本 (通常、単価/金額はゼロとなる) 3 : 景品 (通常、単価/金額はゼロとなる)	[]	V1/V2
(87) 欠品区分 (数字 2桁)	商品の出荷状況を指定する 00 : 正 常 01 : 品切れ (一部、欠品は除く) 02 : 終 売 (終売のため、欠品とする) 03 : 未発売 (未発売のため、欠品とする) 04 : コード訂正 (別コード商品で出荷)	[00]	V2
(88) 入荷単位ケース数 (数字 2桁)	荷合せ品等の最小発注単位ケース数を指定する (一般品の場合は、00または01をセットする)	[0] [3]	V2
(89) 単価計算区分 (英数カナ 1桁)	単価×数量の計算方法を指定する (小数点以下端数の計算処置方法) △ : 切り捨て 1 : 切り上げ 2 : 4捨5入	[]	V2
(90) 卸発注行番号 (数字 2桁)	卸売業での発注伝票行No.を指定 (00 , 01~99)	[] [07]	V2
(91) 卸最新在庫日付区分 (英数カナ 1桁)	卸最新在庫日付の日付区分を指定する (相対運用) △ : 未使用 卸最新在庫日付運用をしない場合 1 : 製造日 卸最新在庫日付を製造日で表記する場合 2 : 賞味期限 卸最新在庫日付を賞味期限で表記する場合	[] [1] [2]	V2
(92) 卸最新在庫日付 (数字 8桁)	卸売業が前回迄に納入された最新在庫の日付を指定する 未使用 卸最新在庫日付運用をしない場合 製造日 卸最新在庫日付を製造日で表記する場合 賞味期限 卸最新在庫日付を賞味期限で表記する場合 (賞味期限月表示の場合は、月末最終日を指定)	[00000000] [20161018] [20171018] [20171031]	V2
(93) 入庫許容日付区分 (英数カナ 1桁)	入庫許容日付の日付区分を指定する (相対運用) △ : 未使用 入庫許容日付運用をしない場合 1 : 製造日 入庫許容日付を製造日で表記する場合 2 : 賞味期限 入庫許容日付を賞味期限で表記する場合	[] [1] [2]	V2
(94) 入庫許容日付 (数字 8桁)	入庫許容日付を指定する (相対運用) 未使用 入庫許容日付の運用をしない場合 製造日 入庫許容日付を製造日で表記する場合 賞味期限 入庫許容日付を賞味期限で表記する場合 (賞味期限月表示の場合は、月末最終日を指定)	[00000000] [20170118] [20150118] [20150131]	V2
(95) 実入庫製品日付区分 (英数カナ 1桁)	実入庫製品日付の日付区分を指定 (相対運用) △ : 未使用 実入庫した製品日付運用をしない場合 1 : 製造日 実入庫した製品の日付を製造日で表記する場合 2 : 賞味期限 実入庫した製品の日付を賞味期限で表記する場合	[] [1] [2]	V2

(96) 実入庫製品日付 (英数カナ 8桁)	メーカーが実入庫した製品の日付を指定する(相対運用) 未使用 実入庫した製品日付運用をしない場合 [00000000] 製造日 実入庫した製品の日付を製造日で指定する [20170118] 賞味期限 実入庫した製品の日付を賞味期限で指定する [20150118] (賞味期限月表示の場合は、月末最終日を指定) [20150131]	V2
(97) 製造ロット番号 (英数カナ 10桁)	実入庫した製品のロット番号を指定する (相対運用) [2016053103]	V2
(98) 温度管理区分 (英数カナ 1桁)	該当商品の温度帯管理区分を指定する [] △/0 : 常温 1 : 28℃以下 2 : 20℃以下 3 : 冷蔵(10℃以下) (チルド : 5℃以下) 4 : 冷凍(-15℃以下)	V2
(99) 製品容器区分 (英数カナ 1桁)	該当商品の製品・容器かを指定する [] △/0 : 製品 1 : 容器	V2
(100) 外箱 G T I Nコード (英数カナ 14桁)	実際に入庫する外箱の I T Fコードを指定する [14912345000016] ケースの場合 : ケースの G T I Nをセットする ボールの場合 : ボールの G T I Nをセットする (運用上、単品 G T I Nでも可)	V2
(101) 摘 要 (英数カナ 50桁)	明細部の摘要の文字を指定する [イフ° ケビ°ン アリ] 英数カナ(50文字) 漢字の場合は、実質は25文字 [一部欠品あり]	V2
(102) 日本語区分 (英数カナ 1桁)	該当の項目の日本語の区分を指定する △/0 : 英数カナを指定 または 無指定 1 : 漢字を指定 (漢字のコードは、e お菓子ねっとセンター登録による) (S-JIS漢字/ I B M漢字/ J E F漢字/ J I S漢字)	V2
(102) 日本語区分(商品名)		
(103) 日本語区分(摘要)		
(104) 菓子業界商品分類コード (英数カナ 6桁)	菓子業界の新商品分類コード (JICFSの機能分類コードとして登録) を指定する [132335]	V2
(105) 割戻1(2/3) : 割戻計算区分 (英数カナ 1桁)	割戻計算の小数点以下端数処理の計算区分 [131011] △ : 切り捨て [] 1 : 切り上げ 2 : 4捨5入	V2
(106) 割戻1(2/3) : 割戻区分 (英数カナ 1桁)	割戻の条件区分を指定する (相対で運用) [] △ : 指定なし [1] 1~9 : 相対でコード設定する	V2
(107) 割戻1(2/3) : 割戻基準 (英数カナ 1桁)	割戻の基準の区分を指定する (相対で運用) [] △ : 割戻率 [1] 1 : 割戻単価 2 : 割戻金額	V2
(108) 割戻1(2/3) : 割戻率/単価 (英数カナ 6桁)	(少数点以下2桁) (相対で運用) 割戻率 : 割戻率を右詰めで指定 [4. 5%] [000450] 割戻単価 : 割戻単価を銭単位で指定 [3. 6円] [000360] 割戻金額 : ゼロを指定 [000000]	V2
(109) 割戻1(2/3) : 割戻符号 (英数カナ 1桁)	割戻金額の符号を指定 [+] △/+ : 整数 (プラス) - : 負数 (マイナス)	V2
(110) 割戻1(2/3) : 割戻金額 (英数カナ 8桁)	割戻金額を円単位で指定 (相対で運用) (割戻計算結果を金額で指定 (円単位)) [00000125]	V2
(111) 割戻1(2/3) : 割戻コード (英数カナ 5桁)	割戻の種類を表示する時に指定す (相対で運用) [1101] 運賃補助の種類、キャンペーン・コード等を指定 [1]	V2
(112) ~ (118)	割戻1に同じ	V2
(119) ~ (125)	割戻1に同じ	V2
(126) 商品名カナ (英数カナ 25桁)	前記「商品名」に漢字を指定した場合に、英数カナ文字を指定する (英数カナ : 25文字) (伝票上 : 24文字/行) [XXXXX 75G ミルクチョコレート]	V2
(127) 資産譲渡日付 (英数カナ 4桁)	返品・割戻し等の対価の返還の基になった課税資産の譲渡を行った資産譲渡日 西暦 (YYMM)	V1/V2
(128) 明細予備	原則、スペース・クリアーとする	V2
(129) 明細部(連携エリア) (英数カナ 10桁)	V 1 フォーマット⇔V2フォーマットに自動変換された場合に V 1 フォーマットの明細レコードの予備エリア (4桁) を連携する V 2 フォーマット同士では、相対で、特別な連携エリアとして利用可能である	V2

3. トレーラー・レコード

※ 送信元と送信先単位の最終レコード(1件)を作成する

(1) データ種別 (数字 2桁)	出荷報告データであることを表わす	[22 : 出荷報告データ] [23 : 出荷報告データ]	V1 V2
(2) 送信先コード (数字 8桁)	送信先(卸売業)拠点取引先コードを指定	[02841001]	V1/V2
(3) 送信元コード (数字 8桁)	送信元(メーカ)の拠点取引先コードを指定	[01010001]	V1/V2
(4) レコード区分 (数字 1桁)	トレーラー・レコードであることを表わす	[9]	V1/V2
(5) レコード件数 (数字 6桁)	ヘッダー明細レコードの件数 (コントロール・レコードとトレーラー・レコードを除く) ※下記【トレーラレコード連携時の留意事項】を参照のこと	[000545]	V1/V2
(6) 伝票枚数 (数字 6桁)	ヘッダー明細レコードの明細行No=01の件数	[000120]	V1/V2
(7) 合計金額符号 (英数カナ 1桁)	合計金額の符号を指定 △/+ : 整数 (プラス) - : 負数 (マイナス)	[+]	V1/V2
(8) 合計金額 (数字 10桁)	ヘッダー明細レコードの卸店入金額の合計を集計する	[0001200650]	V1/V2
(9) 予備	原則、スペース・クリアーとする		V1/V2
(10) 連携エリア (英数カナ 20桁)	V 1 フォーマット⇄V 2 フォーマットに自動変換された場合に 予備エリアの先頭20桁がセットされる(相対で使用) V 2 フォーマット同士では、相対で、特別な連携エリアとして利用可能である	[xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx]	V2

※ 【トレーラレコード連携時の留意事項】

- ・データ受信企業は、異なるフォーマット(例: 卸様V2・EDI⇄メーカ様V1・EDI)でデータ連携する場合、「レコード件数」項目と実際のレコード件数で不一致が発生し、自社システムへ取り込めない場合があります。
- ・データ受信企業は、トレーラレコードの「レコード件数」項目 と実際のレコード件数(物理レコード件数)の整合性チェックを行っている場合は、整合性チェックを除外して下さい。また、データの整合性チェックが必要な場合は、「レコード件数」項目ではなく「伝票枚数」項目をご利用下さい。

I. システムの目的とねらい

- ・請求明細データは、メーカーから卸売業に対する請求書の内容をデータで月次に提供するもので、卸売業は自社の買掛情報との照合に役立てることができる
- ・支払明細データは、卸売業からメーカーに対する支払通知の内容をデータで月次に提供するもので、メーカーは自社の売掛情報との照合に役立てることができる

1. 卸売業は、請求・支払をシステム化することにより、事務の合理化を図る事ができる

- ① 卸売業の「買掛データ」と「請求照合データ」または「請求鑑データ」を自動照合することにより、違算のチェックが効率良く迅速にできる
- ② 違算のチェックが効率良く迅速にできるために、メーカーとのアンマッチの原因を効率的・迅速的に把握することができる
- ③ 卸売業は、メーカーに支払データを送ることにより、メーカーの支払事務の迅速化が図られて、違算処理や振込作業の効率化・迅速化につながります

2. メーカーは、請求・支払をシステム化することにより、事務の合理化を図る事ができる

- ① 「請求（照合・鑑）データ」を送信することは、請求書の送付と同じことなので請求書の郵送が不要となる
- ② 郵送が不要になることで請求書の発行、仕訳、郵送作業に費やす時間とコストが削減できる
- ③ メーカーは、支払データを受け取ることで、違算処理や振込作業の効率化・迅速化につながる

II. システム運用方法

1. ネットワーク

- ① eお菓子ねっとセンター経由で、データの授受を行う
- ② メーカーより請求データ（卸売業より支払データ）をeお菓子ねっとセンターに送信する（1回の送信で、複数の卸売業宛への送信が可能である）
- ③ 卸売業（メーカー）は、eお菓子ねっとセンターより、自社宛の請求データ（支払データ）を受け取る（1回の受信で、複数のメーカーからの請求データの受信が可能である）
- ④ ネットワークの種類
 - ・J X 手順（インターネット利用）
 - ・e b XML MS 手順（インターネット利用）
 - ・全銀 T C P I P 手順（電話回線（公衆/I S D N））
 - ・W e b - E D I（インターネット利用）

2. データの授受

- ・通常、メーカー（卸売業）からeお菓子ねっとセンターに送信完了後、ほぼ15分以内に、卸売業が受信可能となる

3. 訂正連絡

- ・一定のルールを決めて、電話・FAX・メール等で、メーカーから卸売業へ連絡する
- ・データによる一部訂正か、全訂正か、運用を相対で決める（できれば、追加訂正を原則とする）

4. 運用確認事項

- ① データの提供
 - ・卸売業・メーカーでの請求・支払事務を効率化する為、原則、月次処理で行い、月初、5日以内に提供する
 - ・双方のシステム稼働日を1ヶ月前に文書・メール等で確認し、年末・年始・休日の扱いの運用方法を決める
 - ・請求締切日最終データの提供日を明確にする
 - ・1月分のデータが2回以上に別れて提供される場合がある
 - ・利用者と休日が合わない場合でも、eお菓子ねっとに送信することが出来るが、締日間際は注意する
- ② テスト方法
 - ・出荷報告データ等との詳細チェックを行い、情報の伝達漏れの無いよう確認する
- ③ 運用ルールを明確にする
 - (1) データ作成時期
 - ・請求明細データ・・・月次売掛確定した後、速やかに作成する
 - ・支払明細データ・・・仕入確定確認後、速やかに作成する
 - (2) コード管理
 - 利用する商品コード・取引先コードの改廃等の連絡方法を明確にしておく
 - (3) トラブル対応
 - 提供者がデータの漏れ、重複の発生に気付いた場合は、直ちに利用者に連絡を取り対処方法を明確にする
 - 利用者がエラーを発見した場合は、提供者に連絡し、提供者が赤・黒訂正を行う
 - 送受信データに相違がある場合は、利用者・提供者双方でデータ照合を行い、問題解決する
- ④ 請求書の廃止
 - ・卸売業では請求支払の照合業務の効率化の一環として、支払照合の自動化を進めており、照合率のアップが急務の課題であり、請求データの精度を向上し、照合率の向上を図る
 - ・請求データの内容は「請求書」と同一とする（請求書レスの推進化）
 - ・卸売業の請求支払照合率の向上は、照合のキーとなる卸発注伝票No.、出荷伝票No.、元伝票No.、元伝年月日などの自動照合に必要な項目をセットする
 - ・卸売業での不照合の要因には、訂正対象となる元伝票が分からない（照合キーが一致しない）ことが多い
 - ・メーカーは、卸売業の卸発注伝票No.、元伝票No.、元伝年月日を必ず、請求データにセットする
- ⑥ 卸売業買掛金照合システムの構築
 - ・照合用データとして、日々の請求データを照合処理を実施する締日まで蓄積する
 - ・照合システムの構築（蓄積した請求データと自社の買掛データとの締日毎の照合はコンピュータシステムで行う）

5. データレコード構造

- ・別紙「決済単位が企業でない場合（実装方法）」の「I」をご参照ください

Ⅲ. 請求明細データ・支払明細データ

※ データ種バージョンは「V2」のみとなります

1. コントロール・レコード

※ 送信元と送信先単位の先頭レコード(1件)を作成する

(1) データ種別 (数字 2桁)	請求データであることを表わす	[35 : 請求明細データ] [36 : 支払明細データ]
(2) 送信先コード (数字 8桁)	送信先(卸売業)拠点取引先コードを指定 (センター登録マスターをチェックする)	[02841001]
(3) 送信元コード (数字 8桁)	送信元(メーカー)の拠点取引先コードを指定 (センター登録マスターをチェックする)	[01010001]
(4) レコード区分 (数字 1桁)	コントロール・レコードであることを表わす	[1]
(5) データ作成日付 (数字 8桁)	メーカーが請求データ作成した西暦年月日を指定	[20160925]
(6) データ作成時刻 (数字 6桁)	メーカーが請求データ作成した時間を指定(時分秒)	[221500]
(7) 送信先名 (英数カナ 20桁)	送信先(卸売業)拠点取引先名を指定(英数カナ)	[ニホン ショウジ]
(8) 送信元名 (英数カナ 20桁)	送信元(メーカー)の拠点取引先名を指定(英数カナ)	[イズモ ショクビン トウキョウ]
(9) 直接送信先コード (数字 8桁)	送信先(卸売業)の拠点取引先コードと異なる 拠点取引先コードに送信する場合に指定する(センター登録チェック) 変更しない場合はゼロを指定する	[02100022] [00000000]
(10) 直接送信先名 (英数カナ 20桁)	送信先(卸売業)の拠点取引先コードと異なる 拠点取引先コードに送信する場合に指定する 変更しない場合はスペースを指定する	[ニホン ショウジ オサカ] []
(11) 送信ファイルNo. (数字 2桁)	同時送信時の問合せNo.を表記したい場合は指定する 同時送信時の問合せNo.を表記しない場合はゼロ指定	[01~99] [00]
(12) 伝送区分 (英数カナ 1桁)	請求・支払データを伝送する場合のデータの発生区分 1 : 全部送信 (請求提供済データも送る) 2 : 違算分送信(前残再請求分データ) △ : 無指定	[1]
(13) 集計明細区分 (英数カナ 1桁)	請求・支払データを明細または伝票集計での作成区分 △ : 明細単位で作成 1 : 伝票(集計)単位で作成	[]
(14) 対象期間(自) (数字 8桁)	請求・支払データの対象期間開始年月日(西暦)	[20160901]
(15) 対象期間(至) (数字 8桁)	請求・支払データの対象期間終了年月日(西暦)	[20160930]
(16) 請求先コード (英数カナ 13桁)	卸売業の請求先取引先コード	[02100001]
支払元コード	卸売業の支払元取引先コード	
(17) 請求元コード (英数カナ 13桁)	メーカーの請求元の取引先コード	[03510011]
支払先コード	メーカーの支払先取引先コード	
(18) 請求元事業所コード (英数カナ 13桁)	メーカーの請求元事業所の取引先コード (プライベートコード可)	[08510021] [1100]
支払先事業所コード	メーカーの支払先事業所の取引先コード	
(19) 請求先名 (文字 40桁)	卸売業の請求先名を指定する 英数カナの場合(30文字) 漢字の場合は20文字	[イズモ ショクビン トウキョウ] [出雲商事 東京]
支払元名	卸売業の支払元名を指定する	
(20) 請求元名 (文字 40桁)	メーカーの請求元名を指定する 英数カナの場合(30文字) 漢字の場合は20文字	[マツエ ショウテン] [松江商店]
支払先名	メーカーの支払先名を指定する	
(21) 請求元事業所名 (文字 40桁)	メーカーの請求元事業所名を指定する 英数カナの場合(30文字) 漢字の場合は20文字	[ヨコハマ シテン] [横浜支店]
支払先事業所名	メーカーの支払先事業所名を指定する	
(22) 取引先区分 (英数カナ 1桁)	該当の項目の取引先の属性区分を指定する △ : 統一取引先コードを指定 または 無指定	[]
(22) 取引先区分(請求先)	6 : G L Nコードを指定	取引先区分(支払元)
(23) 取引先区分(請求元)	7 : 該当卸売業のプライベート・コードを指定	取引先区分(支払先)
(24) 取引先区分(事業所)	8 : 該当メーカーのプライベート・コードを指定	

※ 請求先・請求元(支払元・支払先)はプライベート・コードは不可とする

(25) 日本語区分 (英数カナ 1桁)	該当の項目の日本語の区分を指定する △/ 0 : 英数カナを指定 または 無指定 1 : 漢字を指定 (漢字のコードは、e お菓子ねっとセンター登録による) (S-JIS漢字/ I B M漢字/ J E F 漢字/ J I S 漢字)	[]
(25) 日本語区分(請求先)		日本語区分(支払元)
(26) 日本語区分(請求元)		日本語区分(支払先)
(27) 日本語区分(事業所)		
(28) 請求先カナ名 (英数カナ 30桁)	前記「請求先名」に漢字を指定した場合に、英数カナ文字を指定する	
支払元カナ名	前記「支払元名」に漢字を指定した場合に、英数カナ文字を指定する	
(29) 請求元カナ名 (英数カナ 30桁)	前記「請求元名」に漢字を指定した場合に、英数カナ文字を指定する	
支払先カナ名	前記「支払先名」に漢字を指定した場合に、英数カナ文字を指定する	
(30) 支払日 (数字 8桁)	支払企業(卸売業)の支払予定日(西暦) (休日は意識した方がよい)	[20161031]
(31) 支払予定時間 (数字 4桁)	支払企業(卸売業)の支払予定時間(時分) (0000, 0800~2000)	[1000]
(32) 支払確認期限区分 (英数カナ 1桁)	支払確認期限の区分 △ : 日付指定 1 : 日数指定	[1000]
(33) 支払確認期限日付 (数字 8桁)	支払確認期限日付を指定する (YYYYMMDD)	[20230131]
(34) 支払確認期限日数 (数字 2桁)	支払確認期限日数を指定する	[10]
(35) 予備	原則、スペース・クリアーとする	
(36) 連携エリア (英数カナ 20桁)	相対で、特別な連携エリアとして利用可能である	[xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx]

2. ヘッダー/明細レコード

※ 伝票ヘッダー情報と明細情報を一体化したレコードを作成する

※ 1伝票ヘッダーに対して、6明細を限度とする 明細行No.は(01~06)

(1) データ種別 (数字 2桁)	請求データであることを表わす	[35 : 請求明細データ] [36 : 支払明細データ]
(2) 送信先コード (数字 8桁)	送信先(卸売業)拠点取引先コードを指定	[02841001]
(3) 送信元コード (数字 8桁)	送信元(メーカ)の拠点取引先コードを指定	[01010001]
(4) レコード区分 (数字 1桁)	ヘッダー明細レコードであることを表わす	[3 : ヘッダー明細]
(5) 漢字コード区分 (英数カナ 1桁)	e お菓子ねっとセンターに登録された漢字コード区分が (未登録は2 : JIS) セットされてくる (1 : S-JIS、2 : J I S、3 : J E F、4 : I B M)	
(6) 卸発注伝票No. (数字 8桁)	卸売業が発注データを区別する為に、伝票ヘッダー単位に ユニークな発注No.をセットする 卸発注伝票No.を6桁管理する場合は、上2桁"00" をセットする	(8桁) (6桁)
(7) メーカ伝票No. (数字 8桁)	メーカが出荷データを区別する為に、伝票ヘッダー単位に ユニークな出荷No.をセットする	[00101011]
(8) 店入直送区分 (数字 1桁)	店(倉)入れまたは直送等を判断する 1 : 店入れ 卸売業倉入れ、センター納品等 2 : 直送 二次店納品等 3 : 店引取 卸売業がメーカに直接引き取りに来た場合 4 : 直送引取 二次店等がメーカに直接引き取りに来た場合	[1]
(9) 取引コード (数字 2桁)	卸売業-メーカ間の取引形態をあらわす(菓子業界統一取引コード) 11 : 店入売上 店入れ分の通常出荷 12 : 店入売上訂正 81 : メーカ提供の役務 21 : 店入返品 店入れ分の返品 22 : 店入返品訂正 91 : 卸提供の役務 31 : 直送売上 直送分の通常出荷 32 : 直送売上訂正 41 : 直送返品 直送分の返品 42 : 直送返品訂正 51 : 割戻し金 割戻し金処理する場合 52 : 相殺 売上相殺する場合	[11]
(10) 卸伝票年月日 (数字 8桁)	卸売業に納品された日(卸売業への着荷日) 卸売業がメーカに引取りに来た引取日	(西暦) [20160926]
(11) メーカ伝票年月日 (数字 8桁)	メーカが実出荷した日(メーカの出荷日) 卸売業がメーカに引取りに来た引渡日	(西暦) [20160925]
(12) 倉庫コード (英数カナ 4桁)	メーカの出荷倉庫を識別したい場合 (相対利用)	[1825]
(13) 出荷報告以外区分 (英数カナ 1桁)	請求・支払データの作成の時、出荷報告データとの関係を指定する 0 : 提供(出荷報告提供済データ) 1 : 未提供(出荷報告未提供データ) 2 : 再請求(前残再請求分データ) △ : 無指定	[0]
(14) 請求締日 (数字 8桁)	提供企業(メーカ)の請求最終締日(西暦) (休日を無視しても可能)	[20161031]

- (15) 請求口座
(英数カナ 10桁) 提供企業(メーカ)の請求口座コードを指定
(提供企業が設定、4～10桁で指定する) [12345678]
- (16) 請求支払区分
(数字2桁) 請求・支払データのデータの発生区分を指定する [00]
00 : 今回分請求・今回分支払
10 : 前回分請求・今回未払分
20 : 請求控除・支払控除
※ V 2 フォーマットで、支払データの時は、請求データの請求支払区分をセットする
- (17) 明細行数
(数字 2桁) 1伝票ヘッダーに対する明細行の合計数 (00, 01～06) [04]
(伝票集計単位の時でも、[01]を指定する)
- (18) 一次店コード
(英数カナ 13桁) 卸売業の請求取引先コード [02100001]
- (19) 二次店コード
(英数カナ 13桁) 直送する場合の二次店の取引先コード [03510011]
- (20) 三次店コード
(英数カナ 13桁) 直送する場合の三次店の取引先コード [08510021]
センター納品する場合のセンターの取引先コード [1100]
(プライベートコード可)
- (21) 届け先コード
(英数カナ 13桁) 通常は、納品する届け先の取引先コード [02100001]
センター納品する場合は売上帰属支店の取引先コード
- (22) チェーン店コード
(英数カナ 13桁) 店舗コード (プライベートコード可) [1011]

	＜一次店＞	＜二次店＞	（三次店）	＜届け先＞	（チェーン店）
・店入れ(倉入れ)	A 卸売業			A 卸売業	
・店入れ(卸支店倉入れ)	A 卸売業			A 卸B支店	
・店入れ(センター納品)	A 卸売業		(納品センター)	A 卸C支店	
・直送 (二次店デポ納品)	A 卸売業	C 二次店		C 二次店デポ	
・直送 (三次店デポ納品)	A 卸売業	C 二次店	D 三次店	D 三次店デポ	
・直送 (二次スーパー店舗)	A 卸売業	C 二次店		D 二次スーパー	E 店舗
・直送 (二次スーパー店舗 (センター納品))	A 卸売業	C 二次店	(納品センター)	D 二次スーパー	E 店舗

＜取引先コード定義＞

統一取引先コード	△	上1桁目	1桁	0: 通常	(0/8/9)	※一次店／二次店／届け先は 統一取引先コードのみ
		中3桁	3桁	郵便番号上3桁	(001～999)	
		下4桁	4桁	登録順連番	(0001～9999)	
GLNコード (国際標準事業所コード)	6	事業所コード7桁	13桁	事業所コード7桁＋ロケーション5桁＋C/D	(491234500001c)	※三次店／チェーンは GLNコード／ プライベートコード可能
卸プライベートコード	7	事業所コード9桁	13桁	事業所コード9桁＋ロケーション3桁＋C/D	(491234567001c)	
メーカプライベートコード	8		3～13桁	卸指定の取引先コード(送信元)	0123/0123456789	
			3～13桁	メーカ指定の取引先コード(送信元)	012/012345679	

- (23) 専用伝票日付
(数字 8桁) 専用伝票がある場合の専用伝票の日付 (西暦) [20160926]
- (24) 専用伝票No.
(数字 9桁) 専用伝票がある場合の専用伝票No. [123456789]
- (25) 元伝年月日
(数字 8桁) メーカが訂正した元の伝票のメーカ出荷年月日 (西暦) [20160914]
- (26) 元伝No
(数字 8桁) メーカが訂正した元の伝票のメーカ伝票No. [00123456]
- (27) 請求金額合計符号
(英数カナ 1桁) 請求金額合計の符号 [+]
[△] / [+] : 正符号
[-] : 負符号
- (28) 請求金額合計
(数字 10桁) 明細の請求金額の伝票単位の合計金額 [0000094500]
(※ 最終明細行のみセットでも良い)
(※ex 01～03明細行：ゼロ、04明細行：合計をセットする)
- (29) 支払金額合計符号
(英数カナ 1桁) 支払金額合計の符号 [+]
[△] / [+] : 正符号
[-] : 負符号
- (30) 支払金額合計
(数字 10桁) 明細の支払金額の伝票単位の合計金額 [0000094500]
(※ 最終明細行のみセットでも良い)
(※ex 01～03明細行：ゼロ、04明細行：合計をセットする)
- (31) 一次店名
(文字 40桁) 一次店名を指定する
英数カナの場合 (30文字) [イヌモシヨケン トキョウ]
漢字の場合は20文字 [出雲商事 東京]
- (32) 二次店名
(文字 40桁) 二次店名を指定する
英数カナの場合 (30文字) [マツエ ショウテン]
漢字の場合は20文字 [松江商店]
- (33) 三次店名
(文字 40桁) 三次店名(センター納品先名)を指定する
英数カナの場合 (30文字) <届け先カナ名> [イヌキ ストア]
漢字の場合は20文字 [安来ストア]
- (34) 届け先名
(文字 40桁) 届け先名を指定する
英数カナの場合 (30文字) [マツエ ショウテン A/ウコ]
漢字の場合は20文字 [松江商店 A 倉庫]

(35) チェーン店名 (英数カナ 40桁)	チェーン店名(店舗名)を指定する 英数カナの場合(30文字) 漢字の場合は20文字	[ｼﾝｼﾞｺﾃﾝ] [矢道湖店]
(36) 電話番号 (英数カナ 15桁)	届け先の電話番号を指定する(“-”を含む)	[0852-92-3199]
(37) 住 所 (英数カナ 80桁)	届け先の住所を指定する 英数カナ(60文字) 漢字の場合は40文字 ※実質は30文字	[ｼﾏﾈｸﾝ ﾏﾅｼ ｱｵﾊﾞﾀﾞｲ 2-11-1] [島根県松江市青葉台2-11-1]
(38) 摘 要 (英数カナ 50桁)	伝票ヘッダー部の摘要の文字を指定する 英数カナ(50文字) 漢字の場合は、実質は25文字	[ｵﾝﾗｲﾝ ﾀｸﾞﾝｼﾞ ﾎﾞｾﾞﾝﾁｬ ﾆ ﾅﾋﾝ] [オンライン特伝あり 午前中に納品]
(39) メーカー・コード (英数カナ 9桁)	メーカー・コードを指定(7桁の場合は後ろスペース) (49xxxxx /45xxxxxxxx)	[4912345] [459123456]
(40) メーカー所属組織名 (英数カナ 10桁)	メーカーの担当所属の組織名(英数カナ)を指定 (実質、運用上はスペースが多い)	[ﾏﾂｴ ｼﾃﾝ]
(41) 伝票区分 (数字 1桁)	伝票発行区分を指定する 0 : 菓子統一伝票 2 : 専用伝票(伝票No.あり) 4 : チェンスト7統一伝票(ﾀｰﾝｱﾗｳﾝﾄﾞ 用)	[0] 1 : チェンスト7統一伝票 3 : 専用伝票(伝票No.なし) 8 : 伝票レス
(42) 登録店区分 (英数カナ 1桁)	メーカー登録店区分を指定する △ : 無指定 0 : 登録店以外	[0] 1 : 登録店
(43) 定番特売区分 (英数カナ 1桁)	定番発注分/特売発注分かを指定する 0 : 定 番 1 : 特 売	[0] △ : 分類不能
(44) 消費税区分 (英数カナ 1桁)	消費税の税区分を指定する 1 : 外 税 2 : 内 税 3 : 非課税 △ : 個別判断	[1]
(45) 消費税率 (数字3桁)	消費税率を指定する 99.9 % (小数点以下1桁) “080” : 消費税 : 8.0 %	[080]
(46) ロット不足運賃負担区分 (英数カナ 1桁)	発注ロット不足になった場合の運賃負担の区分を指定 △ : 無指定 1 : 卸売業負担あり 2 : 卸売業負担なし	[]
(47) 取引先区分 (英数カナ 1桁)	該当の項目の取引先の属性区分を指定する △ : 統一取引先コードを指定 または 無指定 6 : G L Nコードを指定 7 : 該当卸売業のプライベート・コードを指定 8 : 該当メーカーのプライベート・コードを指定	[]
(47) 取引先区分(一次店)	※ 一次店、二次店、届け先はプライベート・コードは不可とする	
(48) 取引先区分(二次店)		
(49) 取引先区分(三次店)		
(50) 取引先区分(届け先)		
(51) 取引先区分(チェーン店)		
(52) 日本語区分 (英数カナ 1桁)	該当の項目の日本語の区分を指定する △ / 0 : 英数カナを指定 または 無指定 1 : 漢字を指定 (漢字のコードは、e お菓子ねっとセンター登録による) (S-JIS漢字/ I B M漢字/ J E F 漢字/ J I S 漢字)	[]
(52) 日本語区分(一次店)		
(53) 日本語区分(二次店)		
(54) 日本語区分(三次店)		
(55) 日本語区分(届け先)		
(56) 日本語区分(チェーン店)		
(57) 日本語区分(住 所)		
(58) 日本語区分(摘 要)		
(59) 一次店カナ名 (英数カナ 30桁)	前記「一次店名」に漢字を指定した場合に、英数カナ文字を指定する	
(60) 二次店カナ名 (英数カナ 30桁)	前記「二次店名」に漢字を指定した場合に、英数カナ文字を指定する	
(61) 届け先カナ名 (英数カナ 30桁)	前記「届け先名」に漢字を指定した場合に、英数カナ文字を指定する	
(62) 摘要カナ (英数カナ 30桁)	前記「摘要」に漢字を指定した場合に、英数カナ文字を指定する	
(63) 請求番号 (英数カナ 10桁)	請求番号を指定する	
(64) ヘッダー予備	原則、スペース・クリアーとする	
(65) ヘッダー部(連携エリア) (英数カナ 20桁)	相対で、特別な連携エリアとして利用可能である	
(66) 明細行No. (数字 2桁)	1伝票(ヘッダー)内の明細行No.を指定する(01～06)	[01]
(67) 専用伝票行No. (数字 2桁)	専用伝票がある場合の専用伝票の行No.を指定する (00～30)	[00]

(68) 商品コード識別区分 次の商品番(商品コード)の識別区分を指定する [品番へのセット値]

0	統一商品コード メーカー・コードが7桁の場合 [000]+[メーカー・コード7桁]+[アイテム5桁]+[0] メーカー・コードが9桁の場合 [0]+[メーカー・コード9桁]+[アイテム5桁]+[0]	[0004912345100010] [0491234567200020]
1	ITFコード(14桁) メーカー・コードが7桁の場合 [P]+[メーカー・コード7桁]+[アイテム5桁]+[C] メーカー・コードが9桁の場合 [P]+[メーカー・コード9桁]+[アイテム3桁]+[C]	[14912345100013] [14912345671018]
3	JANコード(標準:13桁) メーカー・コードが7桁の場合 [メーカー・コード7桁]+[アイテム5桁]+[C] メーカー・コードが9桁の場合 [メーカー・コード9桁]+[アイテム3桁]+[C]	[4912345100030] [4912345672032]
4	JANコード(短縮:8桁) [メーカー識別6桁]+[アイテム1桁]+[C]	[49778816]
6	G T I Nコード(14桁) ITF: メーカーCDが7桁の場合 [P]+[メーカー・コード7桁]+[アイテム5桁]+[C] ITF: メーカーCDが9桁の場合 [P]+[メーカー・コード9桁]+[アイテム3桁]+[C] JAN: メーカーCDが7桁の場合 [0]+[メーカー・コード7桁]+[アイテム5桁]+[C] JAN: メーカーCDが9桁の場合 [0]+[メーカー・コード9桁]+[アイテム3桁]+[C] JAN(短縮:8桁)の場合 [000000]+[メーカー識別6桁]+[アイテム1桁]+[C]	[14912345100013] [14912345671018] [04912345100030] [04912345672032] [00000049778816]

(69) 品番 上記、商品コード識別区分に基づいた値をセットする
(英数カナ16桁)

(70) 商品名 商品名を表記する (規格表示+商品固有名称)
(英数カナ: 25文字) (伝票上: 24文字/行) [XXXXX 75g ミルクチョコレート]
(漢字: 20文字) (伝票上: 12文字/行) [X X 75 g ミルクチョコ]

(71) 包装区分 数量の請求(支払)単位を指定する
(数字1桁)
1: ケース請求(支払) (外箱/カルトン) [1]
2: ボール請求(支払) (内箱) [2]
3: バラ請求(支払) (単品) [3]

(72) ボール内バラ数 ボール(内箱)内の単品の入数 (小数点以下2桁)
(数字6桁)(小数点以下2桁)

(73) ケース内ボール数 ケース(外箱)内のボール(内箱)の入数
(数字2桁) <ボール内バラ数> <ケース内ボール数> <バラ換算数量>
(1: ケース請求(支払)の時) [001200] [06] [ケース数×72]
(2: ボール請求(支払)の時) [001200] [00] [ボール数×12]
(3: バラ請求(支払)の時) [000000] [00] [バラ数×1]

(74) 数量符号 以下の数量の符号を指定 [+]
(英数カナ1桁)
△/+ : 整数 (プラス)
- : 負数 (マイナス)

(75) ケース数量 (1: ケース請求(支払)の時に、ケース数量を指定する) [00000002]
(数字7桁) (ボール/バラ請求(支払)の時はゼロをセットする) [00000000]

(76) ボール数量 (2: ボール請求(支払)の時に、ボール数量を指定する) [00000002]
(数字7桁) (ケース/バラ請求(支払)の時はゼロをセットする) [00000000]

(77) バラ数量 (3: バラ請求(支払)の時に、バラ数量を指定する) [00000010]
(数字9桁)(小数点以下2桁) (ケース/ボール請求(支払)の時に、バラ換算数量を指定する) [00000120]

(78) 請求単価 請求単価(建値)を指定する [00008400]
(数字8桁)(小数点以下2桁) (バラ単価を指定)

(79) 支払単価 支払単価を指定する [00008400]
(数字8桁)(小数点以下2桁) (バラ単価を指定)

(80) 請求金額符号 請求金額の符号を指定 [+]
(英数カナ1桁)
△/+ : 整数 (プラス) - : 負数 (マイナス)

(81) 請求金額 (請求単価×バラ数量) (小数点以下は切捨て) [00010800]
(数字10桁) (通常: 外税)

(82) 支払金額符号 支払金額の符号を指定 [+]
(英数カナ1桁)
△/+ : 整数 (プラス) - : 負数 (マイナス)

(83) 支払金額 (支払単価×バラ数量) (小数点以下は切捨て) [00010800]
(数字10桁) (通常: 外税)

(84) 商品添付区分 相対の運用で、添付商品扱いを指定する場合 []
(英数カナ1桁)
△: 通常商品 (通常、単価/金額はゼロ以外となる)
1: 現物添付 (通常、単価/金額はゼロとなる)
2: 見本 (通常、単価/金額はゼロとなる)
3: 景品 (通常、単価/金額はゼロとなる)

(85) 支払区分 支払データのデータの発生区分 [00]
(数字2桁)
00: 今回支払分 <請求データの時は、“00”をセットする>
01: 今回未払分

(86) 入荷単位ケース数 荷合せ品等の最小発注単位ケース数を指定する [00]
(数字2桁) (一般品の場合は、00または01をセットする) [03]

(87) 単価計算区分 単価×数量の計算方法を指定する(小数点以下端数の計算処置方法) []
(英数カナ1桁)
△: 切り捨て
1: 切り上げ 2: 4捨5入

(88) 卸発注行番号 卸売業での発注伝票行No.を指定 []
(数字2桁) (00, 01~99) [07]

(89) 資産譲渡日付区分 (英数カナ 1桁)	資産譲渡日付の形式区分 △:年月日形式 1:年月形式	
(90) 資産譲渡日付 (数字 8桁)	返品・割戻し等の対価の返還の基になった課税資産の譲渡を行った資産譲渡日西暦 (YYMMDD) ※「資産譲渡日付区分」が『1:年月形式』の場合、「YYYYMM00」を設定	
(91) 卸最新在庫日付区分 (英数カナ 1桁)	卸最新在庫日付の日付区分を指定する (相対運用) △: 未使用 卸最新在庫日付運用をしない場合 [] 1: 製造日 卸最新在庫日付を製造日で表記する場合 [1] 2: 賞味期限 卸最新在庫日付を賞味期限で表記する場合 [2]	
(92) 卸最新在庫日付 (数字 8桁)	卸売業が前回迄に納入された最新在庫の日付を指定する 未使用 卸最新在庫日付運用をしない場合 [00000000] 製造日 卸最新在庫日付を製造日で表記する場合 [20161018] 賞味期限 卸最新在庫日付を賞味期限で表記する場合 [20171018] (賞味期限月表示の場合は、月末最終日を指定) [20171031]	
(93) 入庫許容日付区分 (英数カナ 1桁)	入庫許容日付の日付区分を指定する (相対運用) △: 未使用 入庫許容日付運用をしない場合 [] 1: 製造日 入庫許容日付を製造日で表記する場合 [1] 2: 賞味期限 入庫許容日付を賞味期限で表記する場合 [2]	
(94) 入庫許容日付 (数字 8桁)	入庫許容日付を指定する (相対運用) 未使用 入庫許容日付の運用をしない場合 [00000000] 製造日 入庫許容日付を製造日で表記する場合 [20170118] 賞味期限 入庫許容日付を賞味期限で表記する場合 [20150118] (賞味期限月表示の場合は、月末最終日を指定) [20150131]	
(95) 実入庫製品日付区分 (英数カナ 1桁)	実入庫製品日付の日付区分を指定 (相対運用) △: 未使用 実入庫した製品日付運用をしない場合 [] 1: 製造日 実入庫した製品の日付を製造日で表記する場合 [1] 2: 賞味期限 実入庫した製品の日付を賞味期限で表記する場合 [2]	
(96) 実入庫製品日付 (数字 8桁)	メーカーが実入庫した製品の日付を指定する (相対運用) 未使用 実入庫した製品日付運用をしない場合 [00000000] 製造日 実入庫した製品の日付を製造日で指定する [20170118] 賞味期限 実入庫した製品の日付を賞味期限で指定する [20150118] (賞味期限月表示の場合は、月末最終日を指定) [20150131]	
(97) 製造ロット番号 (英数カナ 10桁)	実入庫した製品のロット番号を指定する (相対運用) [2016053103]	
(98) 温度管理区分 (英数カナ 1桁)	該当商品の温度帯管理区分を指定する [] △/0: 常温 1: 28℃以下 2: 20℃以下 3: 冷蔵(10℃以下) 4: 冷凍(-15℃以下) (チルド:5℃以下)	
(99) 製品容器区分 (英数カナ 1桁)	該当商品の製品・容器かを指定する [] △/0: 製品 1: 容器	
(100) 外箱 G T I Nコード (英数カナ 14桁)	実際に入庫する外箱の I T Fコードを指定する [14912345000016] ケースの場合: ケースの G T I Nをセットする ボールの場合: ボールの G T I Nをセットする (運用上、単品 G T I Nでも可)	
(101) 摘要 (文字 50桁)	明細部の適要の文字を指定する 英数カナ(50文字) [ｲﾌﾌ ｹｯﾋﾞﾝ ｱﾘ] 漢字の場合は、実質は25文字 [一部欠品あり]	
(102) 日本語区分 (英数カナ 1桁)	該当の項目の日本語の区分を指定する △/0: 英数カナを指定 または 無指定	
(102) 日本語区分(商品名)	1: 漢字を指定 (漢字のコードは、eお菓子ねっとセンター登録による)	
(103) 日本語区分(摘要)	(S-JIS漢字/I B M漢字/J E F漢字/J I S漢字)	
(104) 菓子業界商品分類コード (英数カナ 6桁)	菓子業界の新商品分類コード (JICFSの機能分類コードとして登録) を指定する [132335]	
(105) 割戻1(2/3): 割戻計算区分 (英数カナ 1桁)	割戻計算の小数点以下端数処理の計算区分 [131011] △: 切り捨て [] 1: 切り上げ 2: 4捨5入	
(106) 割戻1(2/3): 割戻区分 (英数カナ 1桁)	割戻の条件区分を指定する (相対で運用) [] △: 指定なし [1] 1~9: 相対でコード設定する	
(107) 割戻1(2/3): 割戻基準 (英数カナ 1桁)	割戻の基準の区分を指定する (相対で運用) [] △: 割戻率 [1] 1: 割戻単価 2: 割戻金額	
(108) 割戻1(2/3): 割戻率/単価 (数字6桁)	(少数点以下2桁) (相対で運用) 割戻率: 割戻率を右詰めで指定 [4. 5%] [000450] 割戻単価: 割戻単価を銭単位で指定 [3. 6円] [000360] 割戻金額: ゼロを指定 [000000]	
(109) 割戻1(2/3): 割戻符号 (英数カナ 1桁)	割戻金額の符号を指定 [+] △/+ : 整数 (プラス) - : 負数 (マイナス)	
(110) 割戻1(2/3): 割戻金額 (数字8桁)	割戻金額を円単位で指定 (相対で運用) (割戻計算結果を金額で指定 (円単位)) [00000125]	

- (111) 割戻1(2/3)：割戻コード (英数カナ 5桁) 割戻の種類を表示する時に指定する (相対で運用) [1101]
 運賃補助の種類、キャンペーン・コード等を指定 [1]
- (112) ～ (118) 割戻1に同じ
- (119) ～ (125) 割戻1に同じ
- (126) 商品名カナ (英数カナ 25桁) 前記「商品名」に漢字を指定した場合に、英数カナ文字を指定する
 (英数カナ：25文字) (伝票上：24文字/行) [XXXXX 75G ミルクチョコレート]
- (127) 明細部予備 原則、スペース・クリアーとする
- (128) 明細部(連携エリア) (英数カナ 20桁) 相対で、特別な連携エリアとして利用可能である

※ 集計明細区分＝1（集計）の場合の運用

集計明細区分	1：集計 (伝票集計)
請求金額合計	請求金額合計 (伝票合計)
支払金額合計	支払金額合計 (伝票合計)

明細行No.	01 (1行目のみ)
商品コード識別区分	0：(統一商品コード)
品番	ALL "9" 16桁 を 指定 (9999999999999999)
商品名	" デンビ ヨウ シュケイ "
包装区分	1：ケース
ボール内バラ数	"000100"
ケース内ボール数	"00"
ケース数量	"0000001"
ボール数量	"0000000"
バラ数量	"000000001"
請求単価	"00000100"
支払単価	"00000100"
請求金額	請求金額合計 (伝票合計)
支払金額	支払金額合計 (伝票合計)

3. トレーラー・レコード

※ 送信元と送信先単位の最終レコード(1件)を作成する

- (1) データ種別 (数字 2桁) 請求データであることを表わす [35：請求明細データ]
 [36：支払明細データ]
- (2) 送信先コード (数字 8桁) 送信先(卸売業)拠点取引先コードを指定 [02841001]
- (3) 送信元コード (数字 8桁) 送信元(メーカ)の拠点取引先コードを指定 [01010001]
- (4) レコード区分 (数字 1桁) トレーラー・レコードであることを表わす [9]
- (5) レコード件数 (数字 6桁) ヘッダー明細レコードの件数 [000545]
 (コントロール・レコードとトレーラー・レコードを除く)
- (6) 伝票枚数 (数字 6桁) ヘッダー明細レコードの明細行No.=01の件数 [000120]
- (7) 前回請求残高符号 (英数カナ 1桁) コントロール～トレー間の前回請求残高の符号を指定する
 △/+：整数 (プラス) -：負数(マイナス) [+]
- (8) 前回請求残高 (数字 11桁) コントロール～トレー間の前回請求残高の合計金額を指定する [00000010650]
- (9) 今回請求金額符号 (英数カナ 1桁) コントロール～トレー間の今回請求金額の符号を指定する
 △/+：整数 (プラス) -：負数(マイナス) [+]
- (10) 今回請求金額 (数字 11桁) コントロール～トレー間の今回請求金額の合計金額を指定する [00001200650]
- (11) 請求基本控除符号 (英数カナ 1桁) コントロール～トレー間の請求基本控除の符号を指定する
 △/+：整数 (プラス) -：負数(マイナス) [+]
- (12) 請求基本控除 (数字 11桁) コントロール～トレー間の請求基本控除の合計金額を指定する [00000004650]
- (13) 請求品種控除符号 (英数カナ 1桁) コントロール～トレー間の請求品種控除の符号を指定する
 △/+：整数 (プラス) -：負数(マイナス) [+]
- (14) 請求品種控除 (数字 11桁) コントロール～トレー間の請求品種控除の合計金額を指定する [00000002550]
- (15) 請求機能控除符号 (英数カナ 1桁) コントロール～トレー間の請求機能控除の符号を指定する
 △/+：整数 (プラス) -：負数(マイナス) [+]
- (16) 請求機能控除 (数字 11桁) コントロール～トレー間の請求機能控除の合計金額を指定する [00000000000]
- (17) 請求控除その他符号 (英数カナ 1桁) コントロール～トレー間の請求控除その他の符号を指定する
 △/+：整数 (プラス) -：負数(マイナス) [+]
- (18) 請求控除その他 (数字 11桁) コントロール～トレー間の請求控除その他の合計金額を指定する [00000000000]

(19) 請求消費税符号 (英数カナ1桁)	コントロール～トレー間の請求消費税の符号を指定する △/+ : 整数 (プラス) - : 負数(マイナス)	[+]
(20) 請求請求消費税 (数字11桁)	コントロール～トレー間の請求消費税の合計金額を指定する	[00000095476]
(21) 請求金額合計符号 (英数カナ1桁)	コントロール～トレー間の請求金額合計の符号を指定する △/+ : 整数 (プラス) - : 負数(マイナス)	[+]
(22) 請求金額合計 (数字11桁)	コントロール～トレー間の請求金額合計の合計金額を指定する	[00001299576]
※ 請求金額合計 = (8) + (10) - (12) - (14) - (16) - (18) + (20)		
(23) 前回支払残高符号 (英数カナ1桁)	コントロール～トレー間の前回支払残高の符号を指定する △/+ : 整数 (プラス) - : 負数(マイナス)	[+]
(24) 前回支払残高 (数字11桁)	コントロール～トレー間の前回支払残高の合計金額を指定する	[00000082450]
(25) 今回支払金額符号 (英数カナ1桁)	コントロール～トレー間の今回支払金額の符号を指定する △/+ : 整数 (プラス) - : 負数(マイナス)	[+]
(26) 今回支払金額 (数字11桁)	コントロール～トレー間の今回支払金額の合計金額を指定する	[00001100250]
(27) 支払基本控除符号 (英数カナ1桁)	コントロール～トレー間の支払基本控除の符号を指定する △/+ : 整数 (プラス) - : 負数(マイナス)	[+]
(28) 支払基本控除 (数字11桁)	コントロール～トレー間の支払基本控除の合計金額を指定する	[00000005500]
(29) 支払品種控除符号 (英数カナ1桁)	コントロール～トレー間の支払品種控除の符号を指定する △/+ : 整数 (プラス) - : 負数(マイナス)	[+]
(30) 支払品種控除 (数字11桁)	コントロール～トレー間の支払品種控除の合計金額を指定する	[00000003850]
(31) 支払機能控除符号 (英数カナ1桁)	コントロール～トレー間の支払機能控除の符号を指定する △/+ : 整数 (プラス) - : 負数(マイナス)	[+]
(32) 支払機能控除 (数字11桁)	コントロール～トレー間の支払機能控除の合計金額を指定する	[00000000000]
(33) 支払控除その他符号 (英数カナ1桁)	コントロール～トレー間の支払控除その他の符号を指定する △/+ : 整数 (プラス) - : 負数(マイナス)	[+]
(34) 支払控除その他 (数字11桁)	コントロール～トレー間の支払控除その他の合計金額を指定する	[00000000000]
(35) 支払消費税符号 (英数カナ1桁)	コントロール～トレー間の支払消費税の符号を指定する △/+ : 整数 (プラス) - : 負数(マイナス)	[+]
(36) 支払支払消費税 (数字11桁)	コントロール～トレー間の支払消費税の合計金額を指定する	[00000087272]
(37) 支払金額合計符号 (英数カナ1桁)	コントロール～トレー間の支払金額合計の符号を指定する △/+ : 整数 (プラス) - : 負数(マイナス)	[+]
(38) 支払金額合計 (数字11桁)	コントロール～トレー間の支払金額合計の合計金額を指定する	[00001260622]
※ 支払金額合計 = (24) + (26) - (28) - (30) - (32) - (34) + (36)		
(39) 振込 I D (英数カナ20桁)	自動支払振込を行った場合の振込 I D を指定する ※支払データのみ使用	
(40) 登録番号 (英数カナ14桁)	“T”+法人番号13桁 ※2021.10以降、税務署への申告により取得のうえ設定	
繰返部 税率別内訳×3明細 (41)～(70)		
※繰返部の設定順序は、軽減税率8%、標準税率10%、予備税率（卸提供の役務10%）		
※未使用ブロックはALL SPACEを設定する		
(41) 消費税率 (数字2桁)	消費税率を指定する(税率別) 99 % “08”、“10” : 消費税 : 8 %、10 %	[08] [10]
(42) 今回請求金額符号 (英数カナ1桁)	コントロール～トレー間の今回請求金額の符号を指定する(税率別) △/+ : 整数 (プラス) - : 負数(マイナス)	[+]
(43) 今回請求金額 (数字11桁)	コントロール～トレー間の今回請求金額の合計金額を指定する(税率別)	[00000010650]
(44) 請求基本控除符号 (英数カナ1桁)	コントロール～トレー間の請求基本控除の符号を指定する(税率別) △/+ : 整数 (プラス) - : 負数(マイナス)	[+]
(45) 請求基本控除 (数字11桁)	コントロール～トレー間の請求基本控除の合計金額を指定する(税率別)	[00001200650]
(46) 請求品種控除符号 (英数カナ1桁)	コントロール～トレー間の請求品種控除の符号を指定する(税率別) △/+ : 整数 (プラス) - : 負数(マイナス)	[+]
(47) 請求品種控除 (数字11桁)	コントロール～トレー間の請求品種控除の合計金額を指定する(税率別)	[00000004650]
(48) 請求機能控除符号 (英数カナ1桁)	コントロール～トレー間の請求機能控除の符号を指定する(税率別) △/+ : 整数 (プラス) - : 負数(マイナス)	[+]
(49) 請求機能控除 (数字11桁)	コントロール～トレー間の請求機能控除の合計金額を指定する(税率別)	[00000002550]

(50) 請求控除その他符号 (英数カナ1桁)	コントロール～トレー間の請求控除その他の符号を指定する(税率別) △/+ : 整数 (プラス) - : 負数(マイナス)	[+]
(51) 請求控除その他 (数字11桁)	コントロール～トレー間の請求控除その他の合計金額を指定する(税率別)	[00000000000]
(52) 請求消費税符号 (英数カナ1桁)	コントロール～トレー間の請求消費税の符号を指定する(税率別) △/+ : 整数 (プラス) - : 負数(マイナス)	[+]
(53) 請求消費税 (数字11桁)	コントロール～トレー間の請求消費税の合計金額を指定する(税率別)	[00000095476]
(54) 税込請求金額符号 (英数カナ1桁)	コントロール～トレー間の請求金額の符号を指定する(税率別) △/+ : 整数 (プラス) - : 負数(マイナス)	[+]
(55) 税込請求金額 (数字11桁)	コントロール～トレー間の請求金額の合計金額を指定する(税率別)	[00001299576]
※ 税込請求金額 = (43) - (45) - (47) - (49) - (51) + (53)		
(56) 今回支払金額符号 (英数カナ1桁)	コントロール～トレー間の今回支払金額の符号を指定する(税率別) △/+ : 整数 (プラス) - : 負数(マイナス)	[+]
(57) 今回支払金額 (数字11桁)	コントロール～トレー間の今回支払金額の合計金額を指定する(税率別)	[00001100250]
(58) 支払基本控除符号 (英数カナ1桁)	コントロール～トレー間の支払基本控除の符号を指定する(税率別) △/+ : 整数 (プラス) - : 負数(マイナス)	[+]
(59) 支払基本控除 (数字11桁)	コントロール～トレー間の支払基本控除の合計金額を指定する(税率別)	[00000005500]
(60) 支払品種控除符号 (英数カナ1桁)	コントロール～トレー間の支払品種控除の符号を指定する(税率別) △/+ : 整数 (プラス) - : 負数(マイナス)	[+]
(61) 支払品種控除 (数字11桁)	コントロール～トレー間の支払品種控除の合計金額を指定する(税率別)	[00000003850]
(62) 支払機能控除符号 (英数カナ1桁)	コントロール～トレー間の支払機能控除の符号を指定する(税率別) △/+ : 整数 (プラス) - : 負数(マイナス)	[+]
(63) 支払機能控除 (数字11桁)	コントロール～トレー間の支払機能控除の合計金額を指定する(税率別)	[00000000000]
(64) 支払控除その他符号 (英数カナ1桁)	コントロール～トレー間の支払控除その他の符号を指定する(税率別) △/+ : 整数 (プラス) - : 負数(マイナス)	[+]
(65) 支払控除その他 (数字11桁)	コントロール～トレー間の支払控除その他の合計金額を指定する(税率別)	[00000000000]
(66) 支払消費税符号 (英数カナ1桁)	コントロール～トレー間の支払消費税の符号を指定する(税率別) △/+ : 整数 (プラス) - : 負数(マイナス)	[+]
(67) 支払消費税 (数字11桁)	コントロール～トレー間の支払消費税の合計金額を指定する(税率別)	[00000087272]
(68) 税込支払金額符号 (英数カナ1桁)	コントロール～トレー間の支払金額の符号を指定する(税率別) △/+ : 整数 (プラス) - : 負数(マイナス)	[+]
(69) 税込支払金額 (数字11桁)	コントロール～トレー間の支払金額の合計金額を指定する(税率別)	[00001260622]
※ 税込支払金額 = (57) - (59) - (61) - (63) - (65) + (67)		
(70) 予備	原則、スペース・クリアーとする	
(71) 登録番号2 (英数カナ14桁)	“T”+法人番号13桁	
(72) 予備	原則、スペース・クリアーとする	
(73) 連携エリア (英数カナ20桁)	相対で、特別な連携エリアとして利用可能である	[xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx]

I. システムの目的とねらい

販売報告データは、卸売業がメーカーに対して、小売店等への販売実績を提供し、メーカーは、販売報告データをマーケティング情報・販売促進活動等に活用する

1. データの利用目的

- ① 諸契約の実績として活用・・・期間契約費、販売促進費、割戻し等の算出基礎となる
- ② マーケティングデータとして活用
 - ・実績進捗管理として、地域別、企業別、店舗別、商品別に情報提供する
 - ・商談、販売対策立案、新製品動向把握に活用する

2. データ提供サイクル

- ① 卸店は、メーカーの要望により、下記のいずれかで提供する
 - ・日次 日次明細データ 3日後程度で提供
 - ・旬次 旬次集計データ 5日後程度で提供
 - ・月次 月次集計データ 10日後程度で提供
(年末・年始のデータの取り扱い、当事者間で協議する)
- ② データの発生単位は、当事者間で協議する
 - ・小売業または卸売業でのデータ発生単位での提供
 - ・店舗別／製品別単位で集計しての提供

II. システム運用方法

1. ネットワーク

- ① eお菓子ねっとセンター経由で、データの授受を行う
- ② 卸売業より、販売報告データをeお菓子ねっとセンターに送信する
(1回の送信で、複数のメーカーへの送信が可能であるが、データ量には注意する)
- ③ メーカーは、eお菓子ねっとセンターより、自社宛の販売報告データを受け取る
(1回の受信で、複数の卸売業からの販売報告データの受信が可能である)
- ④ ネットワークの種類
 - ・J X 手順(インターネット利用)
 - ・e b X M L M S 手順(インターネット利用)
 - ・全銀 T C P I P 手順(電話回線(公衆/I S D N))
 - ・W e b - E D I (インターネット利用)

2. データの授受

- ・通常、卸売業からeお菓子ねっとセンターに送信完了後、ほぼ30分以内に、メーカーが受信可能となる

3. 訂正連絡

- ・一定のルールを決めて、電話・FAX・メール等で、メーカーから卸売業へ連絡する
- ・データによる一部訂正か、全訂正か、運用を相対で決める(追加訂正を原則とする)

4. 運用確認事項

- ① データの提供
 - ・メーカーからの要望により、卸売業は日次・旬次・月次での処理を行う
 - ・双方のシステム稼働日を1ヶ月前に文書・メール等で確認し、年末・年始・休日の扱いの運用方法を定める
 - ・1日分のデータが2日に別れて提供される場合がある
 - ・利用者との休日が合わない場合でも、eお菓子ねっとに送信することが出来るが、運用締日等には注意する
- ② テスト方法
 - ・店舗別売上明細表等との詳細チェックを行い、情報の伝達漏れの無いよう確認する
- ③ 店舗別売上明細表等の廃止
- ④ 運用ルールを明確にする
 - (1) データ作成時期
 - ・販売報告データの作成時期、作成単位を決定し、月の締日運用等も考慮する
 - (2) コード管理
 - 利用する商品コード・取引先コードの改廃等の連絡方法を明確にしておく
 - (3) トラブル対応
 - 提供者がデータの漏れ、重複の発生に気付いた場合は、直ちに利用者に連絡を取り対処方法を明確にする
 - 利用者がエラーを発見した場合は、提供者に連絡し、提供者が赤・黒訂正を行う
 - 送受信データに相違がある場合は、利用者・提供者双方でデータの照合を行い、問題を解決する
- ⑥ メーカー売上管理システムの構築
 - ・旬次・月次に売上実績把握を行う場合はその締日まで、販売報告データを蓄積して、一括更新する
 - ・日次に売上実績把握を行う場合は、日々、売上管理システムに更新する
 - ・売上管理システムの構築
(蓄積した販売報告データを、日々または締日毎に売上管理システムに繰り入れる)

Ⅲ. 販売報告データ

1. コントロール・レコード

※ 送信元と送信先単位の先頭レコード（1件）を作成する

(1) データ種別 (数字 2桁)	販売報告データであることを表わす	[42 : 販売報告データ] [43 : 販売報告データ]	V1 V2
(2) 送信先コード (数字 8桁)	送信先（メーカー）の拠点取引先コードを指定 (センター登録マスターをチェックする)	[01010001]	V1/V2
(3) 送信元コード (数字 8桁)	送信元（卸売業）拠点取引先コードを指定 (センター登録マスターをチェックする)	[02841001]	V1/V2
(4) レコード区分 (数字 1桁)	コントロール・レコードであることを表わす	[1]	V1/V2
(5) データ作成日付 (数字 8桁)	卸売業が販売報告データ作成した西暦日付を指定	[20160925]	V1/V2
(6) データ作成時刻 (数字 6桁)	卸売業が販売報告データ作成した時間を指定（時分秒）	[221500]	V2
(7) 送信先名 (英数カナ 20桁)	送信先（メーカー）の拠点取引先名を指定（英数カナ）	[ｲｽﾞﾓ ﾖｸﾋﾝ ﾄｳｷｮｳ]	V1/V2
(8) 送信元名 (英数カナ 20桁)	送信元（卸売業）拠点取引先名を指定（英数カナ）	[ﾆﾎﾝ ﾖｳｼｬ]	V1/V2
(9) 直接送信先コード (数字 8桁)	送信先（メーカー）の拠点取引先コードと異なる 拠点取引先コードに送信する場合に指定する（センター登録チェック） 変更しない場合はゼロを指定する	[02100011] [00000000]	V1/V2
(10) 直接送信先名 (英数カナ 20桁)	送信先（メーカー）の拠点取引先コードと異なる 拠点取引先コードに送信する場合に指定する 変更しない場合はスペースを指定する	[ｲｽﾞﾓ ﾖｸﾋﾝ ﾏｶｶ] []	V1/V2
(11) 送信ファイルNo. (数字 2桁)	同時送信時の問合せNo.を表記したい場合は指定する 同時送信時の問合せNo.を表記しない場合はゼロ指定	[01～99] [00]	V2
(12) 予 備	原則、スペース・クリアーとする		V1/V2
(13) 連携エリア (英数カナ 20桁)	V 1 フォーマット⇔V 2 フォーマットに自動変換された場合にも 予備エリアの連携は行わない V 2 フォーマット同士では、相対で、特別な連携エリアとして利用可能である	[xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx] []	V2

2. ヘッダー／明細レコード

※ 伝票ヘッダー情報と5明細情報を一体化したレコードを作成する

※ 明細データのセットを行わない場合（販売報告データの横持ちの設定要領）

⇒無効な明細は明細全体でスペースをセットする

(ex. 2明細まで有効 → 3明細目～5明細目は全体をスペースセット)

※ 1伝票ヘッダーに対して、max999明細を限度とする 明細行No.は(001～999)

(1) データ種別 (数字 2桁)	販売報告データであることを表わす	[42 : 販売報告データ] [43 : 販売報告データ]	V1 V2
(2) 送信先コード (数字 8桁)	送信先（メーカー）の拠点取引先コードを指定	[01010001]	V1/V2
(3) 送信元コード (数字 8桁)	送信元（卸売業）拠点取引先コードを指定	[02841001]	V1/V2
(4) レコード区分 (数字 1桁)	ヘッダー明細レコードであることを表わす	[2 : ヘッダーレコード] [4 : 明細レコード] [3 : ヘッダー明細]	V1 V1 V2
(5) 漢字コード区分 (文字 1桁)	e お菓子ねっととセンターに登録された漢字コード区分が セットされてくる (1 : S-JIS、2 : J I S、3 : J E F、4 : I B M) (未登録は2 : JIS)		V2
(6) 対象期間（自） (数字 8桁)	販売実績の該当年月日（開始日） (西暦) 日次：売上日、旬次：旬初日、月次：月初日	[20160901]	V1/V2
(7) 対象期間（至） (数字 8桁)	販売実績の該当年月日（終了日） (西暦) 日次：売上日、旬次：旬末日、月次：月末日	[20160930]	V1/V2
(8) 取引コード (数字 2桁)	卸売業-小売業間の取引形態をあらわす（菓子業界統一取引コード） 11 : 店入売上 店入れ分の通常出荷 12 : 店入売上訂正 81 : メーカー提供の役務 21 : 店入返品 店入れ分の返品 22 : 店入返品訂正 91 : 卸提供の役務 31 : 直送売上 直送分の通常出荷 32 : 直送売上訂正 41 : 直送返品 直送分の返品 42 : 直送返品訂正 51 : 割戻し金 割戻し金処理する場合 52 : 相殺 売上相殺する場合		V1/V2
(9) 一次店コード (英数カナ 13桁)	卸売業の請求先取引先コード	[02100001]	V1/V2
(10) 二次店コード (英数カナ 13桁)	直送する場合の二次店の取引先コード	[03510011]	V1/V2
(11) 三次店コード (英数カナ 13桁)	直送する場合の三次店の取引先コード センター納品する場合のセンターの取引先コード (プライベートコード可)	[08510021] [1100]	V2
(12) 届け先コード (英数カナ 13桁)	通常は、納品する届け先の取引先コード センター納品する場合は売上帰属支店の取引先コード	[02100001]	V1/V2
(13) チェーン店コード (文字 13桁)	店舗コード (プライベートコード可)	[1011]	V2

	<一次店>	<二次店>	<三次店>	<届け先>	<チェーン店>
・店入れ（倉入れ）	A卸売業			A卸売業	
・店入れ（卸支店倉入れ）	A卸売業			A卸B支店	
・店入れ（センター納品）	A卸売業		（納品センター）	A卸C支店	
・直送（二次店デポ納品）	A卸売業	C二次店		C二次店デポ	
・直送（三次店デポ納品）	A卸売業	C二次店	D三次店	D三次店デポ	
・直送（二次スーパー店舗）	A卸売業	C二次店		D二次スーパー	E店舗
・直送（二次スーパー店舗） （センター納品）	A卸売業	C二次店	（納品センター）	D二次スーパー	E店舗

<取引先コード定義>

統一取引先コード	△	上1桁目	1桁	0:通常	(0/8/9)	※一次店／二次店／届け先は 統一取引先コードのみ
		中3桁	3桁	郵便番号上3桁	(001～999)	
		下4桁	4桁	登録順連番	(0001～9999)	
GLNコード (国際標準事業所コード)	6	事業所コード7桁	13桁	事業所コード7桁＋ロケーション5桁＋C/D	(491234500001c)	※三次店／チェーンは GLNコード／ プライベートコード可能
卸プライベートコード	7	事業所コード9桁	13桁	事業所コード9桁＋ロケーション3桁＋C/D	(491234567001c)	
メーカープライベートコード	8		3～13桁	卸指定の取引先コード(送信元)	0123/0123456789	
			3～13桁	メーカー指定の取引先コード(送信元)	012/012345679	

※ V2⇄V1データ変換連携

	[V2フォーマット 13桁]		[V1フォーマット 8桁]	
統一取引先コード	1 2 3 4 5 6 7 8	→	1 2 3 4 5 6 7 8	
GLNコード	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13	→	6 7 8 9 10 11 12 13	(GLNコードのみ右詰め)
卸プライベートコード	1 2 3 4 5 6 7	→	1 2 3 4 5 6 7	
メーカープライベートコード	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	→	1 2 3 4 5 6 7 8	

- (14) 一次店名
(文字 40桁)
- 一次店名を指定する
英数カナの場合 (30文字) [イ'モ ショク'ントウキョウ]
漢字の場合は、実質は15文字 (伝票表示上) [出雲商事 東京]
- (15) 二次店名
(文字 40桁)
- 二次店名を指定する
英数カナの場合 (30文字) [マ'エ ショウテン]
漢字の場合は、実質は15文字 (伝票表示上) [松江商店]
- (16) 三次店名
(文字 40桁)
- 三次店名を指定する
英数カナの場合 (30文字) [ヤ'スキ ストア]
漢字の場合は、実質は15文字 (伝票表示上) [安来ストア]
- (17) 届け先名
(文字 40桁)
- 届け先名を指定する
英数カナの場合 (30文字) [マ'エ ショウテン A/ソコ]
漢字の場合は、実質は15文字 (伝票表示上) [松江商店 A 倉庫]
- (18) チェーン店名
(文字 40桁)
- チェーン店名を指定する
英数カナの場合 (30文字) [シ'ンジ ョテン]
漢字の場合は、実質は15文字 (伝票表示上) [央道湖店]
- (19) 消費税区分
(英数カナ 1桁)
< V1: 税区分 >
- 消費税の税区分を指定する [1]
1 : 外 税 2 : 内 税
3 : 非課税 Δ : 個別判断
- (20) 消費税率
(数字 3桁)
< V1: 税率 >
- 消費税率を指定する 99.9 % (小数点以下1桁) [080]
"080" : 消費税 : 8.0 %
- (21) 取引先区分
(英数カナ 1桁)
- 該当の項目の取引先の属性区分を指定する []
Δ : 統一取引先コードを指定 または 無指定
6 : GLNコードを指定
7 : 該当卸売業のプライベート・コードを指定
8 : 該当メーカーのプライベート・コードを指定
- (21) 取引先区分(一次店)
- (22) 取引先区分(二次店)
- (23) 取引先区分(三次店)
- (24) 取引先区分(届け先)
- (25) 取引先区分(チェーン店)
- ※ 一次店、二次店、届け先はプライベート・コードは不可とする
- (26) 日本語区分
(英数カナ 1桁)
- 該当の項目の日本語の区分を指定する []
Δ/0 : 英数カナを指定 または 無指定
1 : 漢字を指定
(漢字のコードは、e お菓子ねっとセンター登録による)
(S-JIS漢字／I BM漢字／J E F 漢字／J I S 漢字)
- (26) 日本語区分(一次店)
- (27) 日本語区分(二次店)
- (28) 日本語区分(三次店)
- (29) 日本語区分(届け先)
- (30) 日本語区分(チェーン店)
- (31) 一次店カナ名
(英数カナ 30桁)
- 前記「一次店名」に漢字を指定した場合に、英数カナ文字を指定する
- (32) 二次店カナ名
(英数カナ 30桁)
- 前記「二次店名」に漢字を指定した場合に、英数カナ文字を指定する
- (33) 届け先カナ名
(英数カナ 30桁)
- 前記「届け先名」に漢字を指定した場合に、英数カナ文字を指定する
- (34) ヘッダー予備
- 原則、スペース・クリアーとする
- (35) ヘッダー部(連携エリア)
(英数カナ 20桁)
- V1フォーマット⇄V2フォーマットに自動変換された場合に
V1フォーマットのヘッダー・レコードの予備エリア(20桁)を連携する
V2フォーマット同士では、相対で、特別な連携エリアとして利用可能である

※ 明細データのセットを行わない場合（販売報告データの横持ちの設定要領）
⇒無効な明細は明細全体をスペースにセットする
ex. 2明細まで有効 → 3明細目～5明細目は全体を半角スペースにセットする

- (36) 明細行No. (数字 3桁) 1ヘッダー内の明細行No.を指定する (001～999) [01] V2
- (37) 商品コード識別区分 (数字 1桁) 次の品番（商品コード）の識別区分を指定する [品番へのセット値例] V1/V2
- | | | |
|---|---|--|
| 0 | 統一商品コード
メーカー・コードが7桁の場合 [000]+[メーカーコード7桁]+[アイテム5桁]+[0]
メーカー・コードが9桁の場合 [0]+[メーカーコード9桁]+[アイテム5桁]+[0] | [0004912345100010]
[0491234567200020] |
| 1 | ITFコード (14桁)
メーカー・コードが7桁の場合 [P]+[メーカーコード7桁]+[アイテム5桁]+[C]
メーカー・コードが9桁の場合 [P]+[メーカーコード9桁]+[アイテム3桁]+[C] | [14912345100013]
[14912345671018] |
| 3 | JANコード (標準: 13桁)
メーカー・コードが7桁の場合 [メーカーコード7桁]+[アイテム5桁]+[C]
メーカー・コードが9桁の場合 [メーカーコード9桁]+[アイテム3桁]+[C] | [4912345100030]
[4912345672032] |
| 4 | JANコード (短縮: 8桁) [メーカー識別6桁]+[アイテム1桁]+[C] | [49778816] |
| 6 | G T I Nコード (14桁)
ITF: メーカーCDが7桁の場合 [P]+[メーカーコード7桁]+[アイテム5桁]+[C]
ITF: メーカーCDが9桁の場合 [P]+[メーカーコード9桁]+[アイテム3桁]+[C]
JAN: メーカーCDが7桁の場合 [0]+[メーカーコード7桁]+[アイテム5桁]+[C]
JAN: メーカーCDが9桁の場合 [0]+[メーカーコード9桁]+[アイテム3桁]+[C]
JAN (短縮: 8桁) の場合 [000000]+[メーカー識別6桁]+[アイテム1桁]+[C] | [14912345100013]
[14912345671018]
[04912345100030]
[04912345672032]
[00000049778816] |
- (38) 品 番 (英数カナ 16桁) 上記、商品コード識別区分に基づいた値をセットする V1/V2
- (39) 商品名 (文字 50桁) 商品名を表記する (規格表示+商品固有名称)
(英数カナ: 25文字) (伝票上: 24文字/行) [XXXXX 75G ミルクチョコレート]
(漢字: 20文字) (伝票上: 12文字/行) [X X 75 g ミルクチョコ]
- (40) バラ総数符号 (英数カナ 1桁) 以下の数量の符号を指定 [+]
△/+ : 整数 (プラス)
- : 負数 (マイナス) V1/V2
- (41) バラ総数 (数字 9桁) 販売バラ換算数量を指定する [000000480]
※ 下記、ケース (ボール) 数量を指定した時も、バラ換算数量は必ず指定する V1/V2
- (42) ケース (ボール) 当り入数 (数字 4桁) ケース (外箱) 内の単品 (バラ) の入数 [0120] V2
ボール (内箱) 内の単品 (バラ) の
- (43) ケース (ボール) 数量 (数字 7桁) ケース単位の時に、販売ケース数量を指定する [00000004]
ボール単位の時に、販売ボール数量を指定する [00000000] V2
- (44) 販売単価区分 (英数カナ 1桁) 単価がケース単価か、ボール単価か、バラ単価を指定する V2
△/3 : バラ単価 []
1 : ケース単価 [1]
2 : ボール単価 [2]
- (45) 単 価 (数字9桁) (小数点以下2桁) 前記単位の単価 [000007700] V1/V2
(バラ単価/ケース単価/ボール単価)
- (46) 金額符号 (英数カナ 1桁) 以下の金額の符号を指定 [+]
△/+ : 整数 (プラス)
- : 負数 (マイナス) V1/V2
- (47) 金 額 (数字10桁) (単価*数量 (バラ総数 or ケース数量)) [0000036960] V1/V2
(小数点以下は切捨て) (通常: 外税)
- (48) 定番特売区分 (英数カナ 1桁) 定番発注/特売発注を指定する [0] V2
0 : 定 番 1 : 特 売 △ : 分類不能
- (49) 納品日 (数字 8桁) 小売業等へ納品した日 (西暦) [20160926] V2
- (50) 倉出・合計区分 (英数カナ 1桁) 実績が倉出しを含むか、直送のみかを指定 [0] V2
△ : 無指定
0 : 倉出し+直送 1 : 倉出しのみ
- (51) 日本語区分 (英数カナ 1桁) 該当の項目の日本語の区分を指定する V2
△/0 : 英数カナを指定 または 無指定
1 : 漢字を指定 (漢字のコードは、e お菓子ねっとセンター登録による)
(S-JIS漢字/IBM漢字/JEF漢字/JIS漢字)
- (52) 菓子業界商品分類コード (英数カナ 6桁) 菓子業界の新商品分類コード (JICFSの機能分類コードとして登録) [132335] V2
- (53) 商品名カナ (英数カナ 25桁) 前記「商品名」に漢字を指定した場合に、英数カナ文字を指定する V2
(英数カナ: 25文字) (伝票上: 24文字/行) [XXXXX 75G ミルクチョコレート]
- (54) 明細予備 原則、スペース・クリアーとする V1/V2

3. トレーラー・レコード

※ 送信元と送信先単位の最終レコード（1件）を作成する

(1) データ種別 (数字 2桁)	販売報告データであることを表わす	[42 : 販売報告データ] [43 : 販売報告データ]	V1 V2
(2) 送信先コード (数字 8桁)	送信先（メーカ）の拠点取引先コードを指定	[01010001]	V1/V2
(3) 送信元コード (数字 8桁)	送信元（卸売業）拠点取引先コードを指定	[02841001]	V1/V2
(4) レコード区分 (数字 1桁)	トレーラー・レコードであることを表わす	[9]	V1/V2
(5) レコード件数 (数字 6桁)	ヘッダー明細レコードの件数 (コントロール・レコードとトレーラー・レコードを除く) ※下記【トレーラレコード連携時の留意事項】を参照のこと	[000545]	V1/V2
(6) 明細件数 (数字 6桁)	ヘッダー明細レコードの有効明細行の総件数	[001920]	V1/V2
(7) 合計金額符号 (英数カナ 1桁)	以下の数量の符号を指定 △/+ : 整数 (プラス) - : 負数 (マイナス)	[+]	V1/V2
(8) 合計金額 (数字 10桁)	ヘッダー明細レコードの卸店入金額の合計を集計する	[0001200650]	V1/V2
(9) 予 備	原則、スペース・クリアーとする	[xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx]	V1/V2
(10) 連携エリア (英数カナ 20桁)	V 1 フォーマット⇔V 2 フォーマットに自動変換された場合にも 予備エリアの連携は行わない V 2 フォーマット同士では、相対で、特別な連携エリアとして利用可能である		V2

※【トレーラレコード連携時の留意事項】

- ・データ受信企業は、異なるフォーマット（例：卸様V2・EDI⇔メーカー様V1・EDI）でデータ連携する場合、「レコード件数」項目と実際のレコード件数で不一致が発生し、自社システムへ取り込めない場合があります。
- ・データ受信企業は、トレーラレコードの「レコード件数」項目 と実際のレコード件数（物理レコード件数）の整合性チェックを行っている場合は、整合性チェックを除外して下さい。また、データの整合性チェックが必要な場合は、「レコード件数」項目ではなく「伝票枚数」項目をご利用下さい。

※メーカーからの販促金案内データを受領後、卸売業が販促条件を基に請求情報を作成し、販促金請求データをメーカーへ送信する
メーカーから卸売業への販促金案内データの提供を行わず、販促金の精算処理（請求・支払）を行う場合もある
※販促金の「案内」と「支払」とは、同一フォーマットであり、データ中の区分によって識別される

【販促金支払データ】

I. システムの目的

1. メーカー
 - ① 販促金支払業務の集約・一元化
 - ・卸店からの販促金請求に対する支払データが一元化されることで社内業務の標準化・内容の正確化が図れる
 - ② 販促金支払いに伴う案内書送付業務等の軽減
 - ・卸店に対する販促金支払データが一括で送信出来るため、支払書の送付等、関連作業を軽減・削減できる
2. 卸売業
 - ① 販促金支払データ確認の効率化
 - ・メーカーからのデータを一括受信することでデータ受け取り業務を機械化・省力化できる
 - ② 販促金照合作業の効率化
 - ・自社で保持している販促金請求データとの突合作業を機械化することができ、照合作業が大幅に効率化できる
 - ③ 販促金請求データとの組み合わせによる業務の効率化
 - ・卸売業から提供する販促金請求データをメーカー処理後、ターンアラウンド的に返してもらうことで照合作業が機械化できる

II. システム運用方法

1. ネットワーク
 - ① eお菓子ねっとセンター経由でデータの授受を行う
 - ② メーカーより、販促金支払データをeお菓子ねっとセンターに送信する
(1回の送信で、複数の卸店宛に送信が可能である)
 - ③ 卸売業は、eお菓子ねっとセンターより、自社宛の販促金支払データを受け取る
(1回の受信で、複数のメーカーからの販促金支払データの受信が可能である)
 - ④ ネットワークの種類
 - ・全銀T C P I P手順(電話回線(公衆/ I S D N))
 - ・次世代インターネット手順(インターネット利用(ebXML MS/JX))
2. データの授受
 - ・通常、メーカーからeお菓子ねっとセンターに送信完了後、ほぼ15分以内にメーカーが受信可能となる
3. 運用確認事項
 - ① データ送信タイミング(月次)
 - ・メーカーから販促金支払データの送信が可能となる日時の確認
 - 卸店からの販促金請求に対して、メーカーが精算処理を行い、その送信が可能となる締日のサイクルと送信時間を確認する
 - ② 送信データの対象・内容についての確認
 - ・データ交換でやり取りする販促金の対象範囲の確認
 - 商品代に連動する販促金以外の割戻条件(例：年間契約、フェア協賛金、等)についても送信対象とするか、または発生タイミングがいつになるか、等について確認する
 - ・摘要コード/内容の設定確認
 - 販促金の内容に関わる摘要(内容やコメント)について卸売業・メーカー間で確認を行い、業務にて利用するコードを確認する
 - ・卸店からの請求に対して、メーカーが異なる金額・内容のデータを送る場合の運用上の確認
 - 例) 該当の明細を除外して送る、該当の明細の金額を0にして送る、などの対応方法
4. データレコード構造
 - ・別紙「決済単位が企業でない場合(実装方法)」の「II」をご参照ください

【販促金案内データ】

I. システムの目的

1. 卸売業
 - ① 販促金管理業務の簡素化
 - ・メーカーから販促金案内データを受信することで、メーカーから支払われるリベート情報を予め把握することができる
 - ② 販促金請求に関わる事前確認業務の軽減
 - ・メーカーから販促金のデータが請求の前に一括で受信出来るため、請求に向けた事前確認が可能となり、違算等の発生を抑制することができる
 - ・販促金の条件が事前に案内されることにより、卸売業側のリベートルマスタ登録等の業務を軽減することができる
2. メーカー
 - ① 販促金に関わる連絡業務の効率化
 - ・メーカーから案内データを送信することで事前に卸に販促金の情報を連絡することができ、人間系業務を軽減することができる
 - ② 販促金支払データとの組み合わせによる業務の効率化
 - ・卸売業に事前に送信した販促金案内データと実際のメーカーからの支払データを併用することで、実支払にあたって生じた差異等を正確に把握することができる

II. システム運用方法

1. ネットワーク
 - ① eお菓子ねっとセンター経由でデータの授受を行う
 - ② メーカーより、販促金案内データをeお菓子ねっとセンターに送信する
(1回の送信で、複数の卸店宛に送信が可能である)
 - ③ 卸売業は、eお菓子ねっとセンターより、自社宛の販促金案内データを受け取る
(1回の受信で、複数のメーカーからの販促金支払データの受信が可能である)
 - ④ ネットワークの種類
 - ・J X 手順(インターネット利用)
 - ・e b X M L M S 手順(インターネット利用)
 - ・全銀 T C P I P 手順(電話回線(公衆/I S D N))
2. データの授受
 - ・通常、メーカーからeお菓子ねっとセンターに送信完了後、ほぼ15分以内にメーカーが受信可能となる
3. 運用確認事項
 - ① データ送信タイミング(月次)
 - ・メーカーから販促金案内データの送信が可能となる日時の確認
 - 卸店への販促金に対して、メーカーで登録されている内容を事前に連絡する
その送信が可能となる締日のサイクルと送信時間を確認する
 - ② 送信データの対象・内容についての確認
 - ・データ交換で案内する販促金の対象範囲の確認
 - 卸売業に案内される販促金・リベート条件について、いつ送信対象となるかを確認する
(例: 支払の前月、特売開始日の2ヶ月前、等)
 - ・コメントマスタ(←正式な項目名称を仕様書と合わせる)の設定確認
 - 販促金案内の際に利用されるコメントについて、卸売業・メーカー間で確認を行い、業務にて利用するコードを確認する

Ⅲ. 販促金案内・支払データ

※ データ種バージョンは「V1」のみとなります

1. コントロール・レコード

※送信元と送信先単位の先頭レコード(1件)を作成する

(1) データ種別 (数字 2桁)	販促金案内・支払データであることを表わす	[51 : 販促金案内・支払データ]
(2) 送信先コード (数字 8桁)	送信先(卸売業)拠点取引先コードを指定 (センター登録マスターをチェックする)	[02841001]
(3) 送信元コード (数字 8桁)	送信元(メーカー)の拠点取引先コードを指定 (センター登録マスターをチェックする)	[01010001]
(4) レコード区分 (数字 1桁)	コントロール・レコードであることを表わす	[1 : コントロール・レコード]
(5) データ作成日 (数字 8桁)	メーカーが出荷報告データ作成した西暦年月日を指定	[20160925]
(6) 送信先カナ名 (英数カナ 20桁)	送信先(卸売業)拠点取引先名を指定(英数カナ)	[ニホン ショウジ]
(7) 送信元カナ名 (英数カナ 20桁)	送信元(メーカー)の拠点取引先名を指定(英数カナ)	[イクモ ショウキン トウキョウ]
(8) 直接送信先コード (数字 8桁)	送信先(卸売業)の拠点取引先コードと異なる 拠点取引先コードに送信する場合に指定する(センター登録チェ ック) 変更しない場合はゼロを指定する	[02100011] [00000000]
(9) 直接送信先名 (英数カナ 20桁)	送信先(卸売業)の拠点取引先コードと異なる 拠点取引先コードに送信する場合に指定する 変更しない場合はスペースを指定する	[ニホン ショウジ 材料] []
(10) データ区分 (英数カナ 1桁)	1:案内データ/2:支払データ	[1]
(11) 卸売業企業コード区分 (英数カナ 1桁)	項番12の卸売行企業コードを規定する区分 1:統一取引先(8桁) /6:GLN(13桁) /7:卸PVコード/8:メーカーPVコード	[1] [1234567890123]
(12) 卸売業企業コード (英数カナ 13桁)	卸店を表す「企業」コード(13桁以内、左詰め) 項番11で規定されたコード	[1234567890123]
(13) 卸売業企業名 (文字 30桁)	項番12に対応する企業名 英数カナ30文字、または漢字15文字	[ニホン ショウジ] [日本商事]
(14) 卸売業企業名漢字区分 (英数カナ 1桁)	項番13の漢字コードを表す区分 △/0:英数カナ/ 1:S-JIS漢字/ 2:IBM漢字/ 3:JEF漢字/ 9:その他漢字	[1] [1]
(15) メーカー企業コード区分 (英数カナ 1桁)	項番16のメーカー記号コードを規定する区分 1:統一取引先(8桁) /6:GLN(13桁) /7:卸PVコード/8:メーカーPVコード	[1] [1]
(16) メーカー企業コード (英数カナ 13桁)	メーカーを表す企業コード(13桁以内、左詰め) 項番15で規定されたコード	[4912345]
(17) メーカー企業名 (文字 30桁)	項番16に対応する企業名 英数カナ30文字、または漢字15文字	[イクモ ショウキン トウキョウ] [出雲食品 東京]
(18) メーカー企業名漢字区分 (英数カナ 1桁)	項番17に漢字名称が設定される場合の漢字コードを表す区分 △/0:英数カナ/ 1:S-JIS漢字/ 2:IBM漢字/ 3:JEF漢字/ 9:その他漢字	[1] [1]
(19) 支払確認期限区分 (英数カナ 1桁)	メーカーからの支払内容についての確認期限を、日付で表現するか 日数(○日以内)で表現するかを表す区分 △:日付指定/ 1:日数指定	[1] [1]
(20) 支払確認期限日付 (数字 8桁)	項番19にて日付が指定された場合の日付 (YYYYMMDD)	[20160930]
(21) 支払確認期限日数 (数字 2桁)	項番19にて日数が指定された場合の数	[05]
(22) 予備	レイアウト拡張時の予備領域(利用禁止)	

2. ヘッダーレコード

(1) データ種別 (数字 2桁)	販促金案内・支払データであることを表わす	[51 : 販促金案内・支払データ]
(2) 送信先コード (数字 8桁)	送信先(卸売業)拠点取引先コードを指定 (センター登録マスターをチェックする)	[02841001]
(3) 送信元コード (数字 8桁)	送信元(メーカー)の拠点取引先コードを指定 (センター登録マスターをチェックする)	[01010001]
(4) レコード区分 (数字 1桁)	ヘッダー・レコードであることを表わす	[2 : ヘッダー・レコード]
(5) データ区分 (英数カナ 1桁)	1:案内データ/2:支払データ	[1]
(6) 事業所／帳合先コード区分 (英数カナ 1桁)	項番7に表現される事業所または帳合先のコード体系を表す 1:統一取引先(8桁) / 6:GLN(13桁) / 7:卸PVコード / 8:メーカーPVコード / △:無指定	[1] [1234567890]
(7) 事業所／帳合先コード (英数カナ 13桁)	販促金支払の対象となる事業所または帳合先を表すコード	[1234567890]
(8) 事業所／帳合先名 (文字 30桁)	項番7に対応する名称	[マツジギョウシヤ]

(9) 事業所／帳合先名漢字区分 (英数カナ 1桁)	項番 7 に漢字名称が設定される場合の漢字コードを表す区分 [1] △/0:英数カナ/ 1:S-JIS漢字/ 2:IBM漢字/ 3:JEF漢字/ 9:その他漢字
(10) 得意先コード区分 (英数カナ 1桁)	項番 1 1 に表現される得意先のコード体系を表す [1] 1:統一取引先 (8桁) / 6:GLN (13桁) / 7:卸PVコード / 8:メーカーPVコード / △:無指定
(11) 得意先コード (英数カナ 13桁)	販促金支払の対象となる得意先を表すコード [9876543210987] 1:統一取引先 (8桁) / 6:GLN (13桁) / 7:卸PVコード / 8:メーカーPVコード / △:無指定
(12) 得意先名 (文字 30桁)	項番 1 1 に対応する名称 [ニホンショウジ]
(13) 得意先名漢字区分 (英数カナ 1桁)	項番 1 2 に漢字名称が設定される場合の漢字コードを表す区分 [1] △/0:英数カナ/ 1:S-JIS漢字/ 2:IBM漢字/ 3:JEF漢字/ 9:その他漢字
(14) 届け先コード区分 (英数カナ 1桁)	項番 1 5 に表現される届け先のコード体系を表す [1] 1:統一取引先 (8桁) / 6:GLN (13桁) / 7:卸PVコード / 8:メーカーPVコード / △:無指定
(15) 届け先／店舗コード (英数カナ 13桁)	販促金支払の対象となる届け先または店舗を表すコード [12345678]
(16) 届け先名／店舗名 (文字 30桁)	項番 1 5 に対応する名称 [シジゴコテン]
(17) 届け先名漢字区分 (英数カナ 1桁)	項番 1 6 の漢字コードを表す区分 [1] △/0:英数カナ/ 1:S-JIS漢字/ 2:IBM漢字/ 3:JEF漢字/ 9:その他漢字
(18) 得意先区分 (英数カナ 1桁)	対象となる得意先の粒度を表す区分 [1] 1:全店 / 2:地域 / 3:店舗 / △:無指定
(19) 卸売業担当者コード区分 (英数カナ 1桁)	項番20の卸側の担当者を表すコードとして何が設定されるのか [1] を指示する区分 1:統一取引先 (8桁) / 6:GLN (13桁) / 7:卸PVコード / 8:メーカーPVコード / △:無指定
(20) 卸売業担当者コード (英数カナ 13桁)	卸売業の営業担当者、または、営業担当組織を表すコード [11111111]
(21) 卸売業担当者名 (文字 20桁)	卸売業の営業担当者名、または、営業担当組織名 [シマネ タウ]
(22) 卸売業担当者名漢字区分 (英数カナ 1桁)	項番21に漢字名称が設定される場合の漢字コードを表す区分 [1] △/0:英数カナ/ 1:S-JIS漢字/ 2:IBM漢字/ 3:JEF漢字/ 9:その他漢字
(23) 請求書No. (英数カナ 10桁)	卸店からの請求書における請求番号
(24) 請求伝票番号 (英数カナ 10桁)	項番23の「請求書No.」とは別に、請求番号が必要となる場合に使用
(25) 請求締日 (英数カナ 8桁)	卸店からの請求締最終年月日 [20161031]
(26) 計上日 (数字 8桁)	請求計上日 [20161031]
(27) 請求支払返信区分 (英数カナ 1桁)	請求データに対する支払データの返信区分 [1] 1:全件返信 / 2:差分返信 / 3:追加返信 / △:無指定
(28) 販売促進企画番号 (英数カナ 10桁)	販売促進企画を提案する際の管理上の番号 [1234567890]
(29) 予備	レイアウト拡張時の予備領域(利用禁止)

3. 明細レコード

(1) データ種別 (数字 2桁)	販促金案内・支払データであることを表わす [51 : 販促金案内・支払データ]
(2) 送信先コード (数字 8桁)	送信先(卸売業)拠点取引先コードを指定 (センター登録マスターをチェックする) [02841001]
(3) 送信元コード (数字 8桁)	送信元(メーカー)の拠点取引先コードを指定 (センター登録マスターをチェックする) [01010001]
(4) レコード区分 (数字 1桁)	明細レコードであることを表わす [4 : 明細レコード] 4 : 明細レコード
(5) データ区分 (英数カナ 1桁)	1:案内データ/2:支払データ [1]
(6) 明細行No. (英数カナ 3桁)	請求書No.／請求伝票番号毎の明細行No. (001～999、999超過時は別の請求書No.とする) [001]
(7) 計上No. (英数カナ 10桁)	明細の管理番号 請求書No.・請求伝票番号と合わせて 支払照合のキーとなる(英数字10桁以内、左詰め) [1234567890]
(8) 対象期間 (開始日) (数字 8桁)	資産譲渡日付(西暦 YYYYMMDD)の開始日 [20161031]
(9) 対象期間 (終了日) (数字 8桁)	資産譲渡日付(西暦 YYYYMMDD)の終了日 [20161031]
(10) 特売区分 (英数カナ 1桁)	販促金の特売等の区分を表す [1] 0:分類不能 / 1:定番 / 2:特売 / 8:その他 / △:無指定
(11) 商品コード使用区分 (英数カナ 1桁)	項番12に設定される商品コードがどのコード体系かを示す区分 [0] 0:統一商品コード / 1:ITFコード / 2:JAN+荷姿コード / 3:JANコード / 6:GTINコード / 7:メーカーPVコード / 8:卸PVコード / △:商品特定なし
(12) 商品コード (英数カナ 16桁)	割戻の対象となる商品を表すコード [0004912345100010]

(13) 商品名／規格 (文字 40桁)	商品名、通常30桁／規格、通常10桁 (英数カナ文字／漢字、無指定時はスペース)	[XXXXX 75G ミルクチョコレート]
(14) 商品名 (漢字区分) (英数カナ 1桁)	項番13に漢字名称が設定される場合の漢字コードを表す区分 △/0:英数カナ/ 1:S-JIS漢字/ 2:IBM漢字/ 3:JEF漢字/ 9:その他漢字	[1]
(15) 入数 1 (数字 3桁)	商品のボール内バラ数(商品特定なしの場合: 000)	[012]
(16) 入数 2 (数字 2桁)	商品のケース内ボール数(商品特定なし: 00)	[06]
(17) 請求対象数量／金額単位 (英数カナ 1桁)	請求計上の対象となる金額／数量の単位を表す 0:円 / 1:ケース / 3:バラ / 5:Kg / 7:g / △:無指定	[1]
(18) 請求計上対象数量／金額 (数字 8桁)	請求の対象となる金額／数量	[00000010]
(19) 請求計上計算区分 (英数カナ 1桁)	請求計上の計算区分を表す 0:仕入価(建値)金額換算 /1:納品価金額換算 /3:バラ数量換算 /5:ケース数量換算 /△:無指定	[5]
(20) 請求計上条件区分 (英数カナ 1桁)	請求上の条件を表す区分 0:% / 1:ケース / 3:バラ / 5:Kg / 6:g / 8:金額 / △:無指定	[0]
(21) 請求計上条件 (数字 6桁)	請求計上対象数量に対する条件 条件区分=0 (%)以外の時は金額をセット	[00001000]
(22) 符号 (請求計上金額) (英数カナ 1桁)	請求計上金額の符号	[+]
(23) 請求計上金額 (数字 8桁)	請求金額: 計算式=請求計上対象数量×請求計上条件	[00043200]
(24) 請求区分 (英数カナ 1桁)	該当の請求内容を示す区分 1:通常(当月請求) / 2:再請求 / △:無指定	[1]
(25) 店入直送区分 (英数カナ 1桁)	店(倉)入れまたは直送等の区分 1:店入 / 2:直送 / △:無指定	[1]
(26) 支払日 (英数カナ 8桁)	販売促進金支払日(西暦 YYYYMMDD)	[20161031]
(27) 支払計上対象数量／金額単位 (英数カナ 1桁)	支払対象数量の単位を表す 0:円 / 1:ケース / 3:バラ / 5:Kg / 7:g / △:無指定	[1]
(28) 支払計上対象数量／金額 (数字 8桁)	支払の根拠対象となる数量／金額	[00432000]
(29) 支払計上条件区分 (英数カナ 1桁)	支払計上の条件を表す区分 0:%引 / 1:ケース引 / 3:バラ引 / 5:Kg引 / 6:g引 / 8:金額引 / △:無指定	[0]
(30) 支払計上条件 (数字 6桁)	支払計上対象数量に対する条件 条件区分=0 (%)以外の時は金額	[00001000]
(31) 符号 (支払計上金額) (英数カナ 1桁)	支払計上金額の符号 +:正数 / -:負数 / △:無指定	[+]
(32) 支払計上金額 (数字 8桁)	支払金額: 支払側が照合した結果、請求額通り支払う場合は 請求計上金額をそのままセット	[00043200]
(33) 支払金額計算区分 (英数カナ 1桁)	小数点以下が発生した場合の正数化する計算方法 1:切捨て / 2:切上げ / 3:四捨五入 / △:無指定	[1]
(34) 支払消費税額 (数字 8桁)	支払金額に対する消費税額	[00001200650]
(35) 支払消費税区分 (英数カナ 1桁)	税区分 1:外税 / 2:内税 / 3:非課税 / △:無指定	[1]
(36) 支払照合区分 (英数カナ 1桁)	請求金額に対する照合した際の照合結果を表す 0:照合支払 / 1:数量違い / 2:条件違い / 3:条件・数量違い / 4:保留 / 5:約束無し / 6:支払済み / 7:別途支払済み / △:無指定	[0]
(37) 決済方法 (英数カナ 1桁)	決済方法 1:振込 / 2:売掛金相殺(メーカから卸店への売掛金で相殺) / △:無指定	[1]
(38) 摘要コード (英数カナ 3桁)	商品に紐づかない販売時等のコメントを表記する △△△/000:コメントなし / 001~030:別項 / 090~098:任意利用 / 099~999:その他	[001]
(39) 摘要 1 (補足情報) (英数カナ 20桁)	摘要コード内容／補足コメント (20桁以内、コメント無し時はスペース)	[販売条件 O O 1]
(40) 摘要 2 (補足情報) (英数カナ 20桁)	摘要コード内容／補足コメント (20桁以内、コメント無し時はスペース)	[販売条件詳細 O O 1]
(41) 摘要 1 (漢字区分) (英数カナ 1桁)	該当項目の漢字区分 △/0:英数カナ/ 1:S-JIS漢字/ 2:IBM漢字/ 3:JEF漢字/ 9:その他漢字	[1]
(42) 摘要 2 (漢字区分) (英数カナ 1桁)	該当項目の漢字区分 △/0:英数カナ/ 1:S-JIS漢字/ 2:IBM漢字/ 3:JEF漢字/ 9:その他漢字	[1]
(43) 付加情報 1 (1 桁) (英数カナ 1桁)	相対での設定情報 (1 桁)	[1]
(44) 付加情報 2 (2 桁) (英数カナ 2桁)	相対での設定情報 (2 桁)	[12]
(45) 付加情報 3 (3 桁) (英数カナ 3桁)	相対での設定情報 (3 桁)	[123]

(46) 請求消費税率 (数字 2桁)	請求の消費税率(99.9%)、ゼロ:個別判断(小数点以下1桁)	[080]
(47) 支払消費税率 (数字 2桁)	支払の消費税率(99.9%)、ゼロ:個別判断(小数点以下1桁)	[080]
(48) 予備	レイアウト拡張時の予備領域(利用禁止)	

4. 明細オプションレコード (任意)

(1) データ種別 (数字 2桁)	販促金案内・支払データであることを表わす	[51: 販促金案内・支払データ]
(2) 送信先コード (数字 8桁)	送信先(卸売業)拠点取引先コードを指定 (センター登録マスターをチェックする)	[01010001]
(3) 送信元コード (数字 8桁)	送信元(メーカ)の拠点取引先コードを指定 (センター登録マスターをチェックする)	[02841001]
(4) レコード区分 (数字 1桁)	明細レコードであることを表わす 5: 明細オプションレコード	[5: 明細オプションレコード]
(5) データ区分 (英数カナ 1桁)	1: 案内データ/2: 支払データ	[1]
(6) 明細行No. (英数カナ 3桁)	請求書No./請求伝票番号毎の明細行No. (001~999、999超過時は別の請求書No.とする)	[001]
(7) 計上No. (英数カナ 10桁)	明細の管理番号 請求書No.・請求伝票番号と合わせて 支払照合のキーとなる(英数字10桁以内、左詰め)	[1234567890]
(8) 摘要3 (補足) (英数カナ 80桁)	適用コード内容/補足コメント (80桁以内、コメント無し時はスペース)	[販売条件その他]
(9) 摘要3 (漢字区分) (英数カナ 1桁)	該当項目の漢字区分 △/0: 英数カナ/ 1:S-JIS漢字/ 2: IBM漢字/ 3: JEF漢字/ 9: その他漢字	[1]
(10) 付加情報4 (5桁) (英数カナ 5桁)	相対での設定情報 (5桁)	[XXXXX]
(11) 付加情報5 (7桁) (英数カナ 7桁)	相対での設定情報 (7桁)	[XXXXXXX]
(12) 付加情報6 (10桁) (英数カナ 10桁)	相対での設定情報 (10桁)	[XXXXXXXXXX]
(13) 付加情報7 (16桁) (英数カナ 16桁)	相対での設定情報 (16桁)	[XXXXXXXXXXXXXXXXXX]
(14) 付加情報8 (20桁) (英数カナ 20桁)	相対での設定情報 (20桁)	[XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX]
(15) 予備	レイアウト拡張時の予備領域(利用禁止)	

5. トレーラレコード

(1) データ種別 (数字 2桁)	販促金案内・支払データであることを表わす	[51: 販促金案内・支払データ]
(2) 送信先コード (数字 8桁)	送信先(卸売業)拠点取引先コードを指定 (センター登録マスターをチェックする)	[01010001]
(3) 送信元コード (数字 8桁)	送信元(メーカ)の拠点取引先コードを指定 (センター登録マスターをチェックする)	[02841001]
(4) レコード区分 (数字 1桁)	明細レコードであることを表わす 9: トレーラレコード	[9: トレーラ・レコード]
(5) データ区分 (英数カナ 1桁)	1: 案内データ/2: 支払データ	[1]
(6) レコード件数 (数字 6桁)	コントロールレコードとトレーラレコードで括られた レコードの総件数(コントロールレコードとトレーラレコードは含まない)	[000545]
(7) 符号 (請求金額合計) (英数カナ 1桁)	請求金額合計の符号 ※税率別内訳項番16の集計結果	[+]
(8) 請求金額合計 (数字 9桁)	請求金額の合計(小数点以下2桁) ※税率別内訳項番16の集計値	[00001200650]
(9) 符号 (支払金額合計) (英数カナ 1桁)	支払金額合計の符号 ※税率別内訳項番21の集計結果	[+]
(10) 支払金額合計 (数字 9桁)	支払金額の合計(小数点以下2桁) ※税率別内訳項番21の集計値	[00001200650]
(11) 符号 (支払消費税額合計) (英数カナ 1桁)	支払消費税額合計の符号 ※税率別内訳項番23の集計結果	[+]
(12) 支払消費税額合計 (数字 9桁)	支払消費税額の合計(小数点以下2桁) ※税率別内訳項番23の集計値	[00001200650]
(13) 登録番号 (英数カナ 14桁)	" T" +法人番号13桁 送信元企業側の法人番号を設定	[T11111111111111]

繰返部 税率別内訳×3明細 (14)～(24)

※繰返部の設定順序は、軽減税率8%、標準税率10%、予備税率（卸提供の役務10%）

※未使用ブロックはALL SPACEを設定する

(14) 請求消費税率 (数字 2桁)	請求の消費税率(99.9%)、ゼロ:個別判断(小数点以下1桁)	[080]
(15) 符号 (請求金額) (英数計 1桁)	請求金額の符号	[+]
(16) 請求金額 (数字 9桁)	請求金額(小数点以下2桁)	[00000010650]
(17) 符号 (請求消費税額) (文字 1桁)	請求消費税額の符号	[+]
(18) 請求消費税額 (数字 9桁)	請求の消費税額	[00001200650]
(19) 支払消費税率 (数字 2桁)	支払の消費税率(99.9%)、ゼロ:個別判断(小数点以下1桁)	[080]
(20) 符号 (支払金額) (英数計 1桁)	支払金額の符号	[+]
(21) 支払金額 (数字 9桁)	支払金額(小数点以下2桁)	[00000010650]
(22) 符号 (支払消費税額) (英数計 1桁)	支払消費税額の符号	[+]
(23) 支払消費税額 (数字 9桁)	支払の消費税額	[00001200650]
(24) 予備	レイアウト拡張時の予備領域(利用禁止)	
(25) 登録番号2 (英数計 14桁)	" T" +法人番号13桁 送信先企業側の法人番号を設定	[T222222222222]
(26) 予備	レイアウト拡張時の予備領域(利用禁止)	

※メーカーからの販促金案内データを受領後、卸売業が販促条件を基に請求情報を作成し、販促金請求データをメーカーへ送信する
メーカーから卸売業への販促金案内データの提供を行わず、販促金の精算処理（請求・支払）を行う場合もある

I. システムの目的

- ・ 販促金請求データは、卸売業からメーカーに対する販促条件に基づく販促金の請求情報をデータで月次に提供するもので、メーカーと卸売業との間で販促金精算に役立てることができる

1. 卸売業

- ① 販促金管理業務の集約・一元化
 - ・ メーカーに対する販促金請求データを一元化することで社内業務の標準化・内容の正確化が図れる
- ② 販促金請求に伴う請求書送付業務等の軽減
 - ・ メーカーに対する販促金請求データが一括で送信出来るため、請求書の送付等、関連作業を軽減・削減できる

2. メーカー

- ① 販促金請求データ確認の効率化
 - ・ 卸売業からの販促金請求データを一括受信することでデータ受け取り業務を機械化・省力化できる
- ② 販促金請求データ照合作業の効率化
 - ・ 自社の販促条件から作成した支払情報と卸売業からの販促金請求データを検証することで、照合作業が大幅に効率化できる

II. システム運用方法

1. ネットワーク

- ① eお菓子ねっとセンター経由で、データの授受を行う
- ② 卸売業より販促金請求データをeお菓子ねっとセンターに送信する
(1回の送信で、複数のメーカー宛への送信が可能である)
- ③ メーカーは、eお菓子ねっとセンターより、自社宛の販促金請求データを受け取る
(1回の受信で、複数の卸売業からの販促金請求データの受信が可能である)
- ④ ネットワークの種類
 - ・ J X 手順(インターネット利用)
 - ・ e b X M L M S 手順(インターネット利用)
 - ・ 全銀 T C P I P 手順(電話回線(公衆/I S D N))

2. データの授受

- ・ 通常、卸売業からeお菓子ねっとセンターに送信完了後、ほぼ15分以内に、メーカーが受信可能となる

3. 訂正連絡

- ・ 一定のルールを決めて、電話・FAX・メール等で、卸売業からメーカーへ連絡する
- ・ データによる一部訂正か、全訂正か、運用を相対で決める（できれば、追加訂正を原則とする）

4. 運用確認事項

- ① データ送信タイミング（月次）
 - ・ 卸売業から販促金請求データの送信が可能となる日時の確認
 - ・ メーカーからの販促金案内に対して、卸売業が請求データ作成処理を行い、その送信が可能となる締日のサイクルと送信時間を確認する
- ② テスト方法
 - ・ 販促金通知・販促金支払データ等との詳細チェックを行い、情報の伝達漏れの無いよう確認する
- ③ 送信データの対象・内容についての確認
 - ・ データ交換でやり取りする販促金の対象範囲の確認
 - ・ 商品代に連動する販促金以外の割戻条件（例：年間契約、フェア協賛金、等）についても送信対象とするか、または発生タイミングがいつになるか、等について確認する
 - ・ コードの設定確認
 - ・ 販促金の内容に関わるコードについて、卸売業・メーカー間で確認を行い、業務にて利用するコードを確認する
 - ・ 販促金案内に対して異なる販促条件・内容のデータを送る場合の運用上の確認
 - 例) 該当の明細を除外して送る、該当の明細の金額を0にして送る、などの対応方法

5. データレコード構造

- ・ 別紙「決済単位が企業でない場合(実装方法)」の「II」をご参照ください

Ⅲ. 販促金請求データ

※ 販促金請求データは「V1」のみとなります

1. コントロール・レコード

※ 送信元と送信先単位の先頭レコード(1件)を作成する

(1) データ種別 (数字 2桁)	販促金請求データであることを表わす	[52 : 販促金請求データ]
(2) 送信先コード (数字 8桁)	送信先(メーカー)拠点取引先コードを指定 (センター登録マスターをチェックする)	[01010001]
(3) 送信元コード (数字 8桁)	送信元(卸売業)の拠点取引先コードを指定 (センター登録マスターをチェックする)	[02841001]
(4) レコード区分 (数字 1桁)	コントロール・レコードであることを表わす	[1 : コントロール・レコード]
(5) データ作成日 (数字 8桁)	卸売業が販促金請求データ作成した西暦年月日を指定	[20160925]
(6) 送信先カナ名 (英数カナ 20桁)	送信先(メーカー)拠点取引先名を指定(英数カナ)	[イヌモ ショクヘン トウキョウ]
(7) 送信元カナ名 (英数カナ 20桁)	送信元(卸売業)の拠点取引先名を指定(英数カナ)	[ニホン ショウジ]
(8) 直接送信先コード (数字 8桁)	送信先(メーカー)の拠点取引先コードと異なる 拠点取引先コードに送信する場合に指定する(センター登録チェック) 変更しない場合はゼロを指定する	[02100011] [00000000]
(9) 直接送信先名 (英数カナ 20桁)	送信先(メーカー)の拠点取引先コードと異なる 拠点取引先コードに送信する場合に指定する 変更しない場合はスペースを指定する	[イヌモ ショクヘン 材料] []
(10) 卸売業企業コード区分 (英数カナ 1桁)	卸売業企業コード区分 1:統一取引先(8桁) 6:GLN(14桁) 7:卸PVコード 9:メーカーPVコード	[1]
(11) 卸売業企業コード (英数カナ 13桁)	卸店企業コード(13桁以内、左詰め) 統一取引先(8桁)／GLN(13桁)／プライベートコード(13桁以内)	[1234567890123]
(12) 卸売業企業名 (文字 30桁)	卸売業企業名(英数カナは30文字、漢字は15文字) 英数カナの場合(30文字) 漢字の場合は、実質は15文字	[ニホン ショウジ] [日本商事]
(13) 卸売業企業名漢字区分 (英数カナ 1桁)	該当項目の漢字区分 △/0:英数カナ 1:S-JIS漢字 2:IBM漢字 3:JEF漢字 9:その他漢字	[1]
(14) メーカー企業コード区分 (英数カナ 1桁)	メーカー企業コード区分 1:統一取引先(8桁) 6:GLN(14桁) 7:卸PVコード 9:メーカーPVコード	[1]
(15) メーカー企業コード (英数カナ 13桁)	メーカー企業コード(13桁以内、左詰め) 統一取引先(8桁)／GLN(13桁)／プライベートコード(13桁以内)	[4912345]
(16) メーカー企業名 (文字 30桁)	メーカー企業名(英数カナは30文字、漢字は15文字) 英数カナの場合(30文字) 漢字の場合は、実質は15文字	[イヌモ ショクヘン トウキョウ] [出雲食品 東京]
(17) メーカー企業名漢字区分 (英数カナ 1桁)	該当項目の漢字区分 △/0:英数カナ 1:S-JIS漢字 2:IBM漢字 3:JEF漢字 9:その他漢字	[1]
(18) 予備	原則、スペース・クリアーとする	

2. ヘッダー・レコード

※ 伝票ヘッダー情報と明細情報を一体化したレコードを作成する

※ 1伝票ヘッダーに対して、6明細を限度とする 明細行No.は(01~06)

(1) データ種別 (数字 2桁)	販促金請求データであることを表わす	[52 : 販促金請求データ]
(2) 送信先コード (数字 8桁)	送信先(メーカー)拠点取引先コードを指定 (センター登録マスターをチェックする)	[01010001]
(3) 送信元コード (数字 8桁)	送信元(卸売業)の拠点取引先コードを指定 (センター登録マスターをチェックする)	[02841001]
(4) レコード区分 (数字 1桁)	ヘッダー・レコードであることを表わす	[2 : ヘッダー・レコード]

(5) 請求書No. (英数カナ 10桁)	卸売業からの請求書における請求番号 (英数字10桁以内、左詰め)	
(6) 請求伝票番号 (英数カナ 10桁)	請求番号が得意先毎に設定される場合に使用する (英数字10桁以内、左詰め)	
(7) 請求締日 (英数カナ 8桁)	卸売業からの請求締最終年月日 (西暦 YYYYMMDD)	[20161031]
(8) 計上日 (英数カナ 8桁)	請求計上日 (西暦 YYYYMMDD)	[20161031]
(9) 入金予定日 (英数カナ 8桁)	入金希望予定日 (西暦 YYYYMMDD)	[20161031]
(10) 請求支払返信区分 (英数カナ 1桁)	請求データに対する支払データの返信区分 1: 全件返信 2: 差分返信 △: 無指定	[1]
(11) 販売促進企画番号 (英数カナ 10桁)	販売促進企画を提案する際の管理上の番号 (英数字10桁以内、左詰め)	[1234567890]
(12) 事業所／帳合先コード区分 (英数カナ 1桁)	事業所／帳合先コード区分 1: 統一取引先 (8桁) 6: GLN (13桁) 7: 卸PVコード 8: メーカーPVコード △: 無指定	[1]
(13) 事業所／帳合先コード (英数カナ 13桁)	卸店事業所／帳合先コード (13桁以内、左詰め) 統一取引先 (8桁)／GLN (13桁)／プライベートコード (13桁以内)	[1234567890]
(14) 事業所／帳合先名 (文字 30桁)	卸店事業所／帳合先名 英数カナの場合 (30文字) 漢字の場合 (15文字)、無指定時はスペース	[マツシギョウシヨ] [松江事業所]
(15) 事業所／帳合先名漢字区分 (英数カナ 1桁)	該当項目の漢字区分 △/0: 英数カナ 1: S-JIS漢字 2: IBM漢字 3: JEF漢字 9: その他漢字	[1]
(16) 得意先コード区分 (英数カナ 1桁)	得意先コード区分 1: 統一取引先 (8桁) 6: GLN (14桁) 7: 卸PVコード 9: メーカーPVコード △: 無指定	[1]
(17) 得意先コード (英数カナ 13桁)	卸店得意先コード (13桁以内、左詰め) 統一取引先 (8桁)／GLN (13桁)／プライベートコード (13桁以内)	[9876543210987]
(18) 得意先名 (文字 30桁)	卸店得意先名 英数カナの場合 (30文字) 漢字の場合 (15文字)、無指定時はスペース	[ニホシヨウシ] [日本商事]
(19) 得意先名漢字区分 (英数カナ 1桁)	該当項目の漢字区分 △/0: 英数カナ 1: S-JIS漢字 2: IBM漢字 3: JEF漢字 9: その他漢字	[1]
(20) 届け先コード区分 (英数カナ 1桁)	届け先コード区分 1: 統一取引先 (8桁) 6: GLN (14桁) 7: 卸PVコード 9: メーカーPVコード △: 無指定	[1]
(21) 届け先／店舗コード (英数カナ 13桁)	届け先／店舗コード (13桁以内、左詰め) 統一取引先 (8桁)／GLN (13桁)／プライベートコード (13桁以内)	[12345678]
(22) 届け先／店舗名 (文字 30桁)	届け先／店舗名 英数カナの場合 (30文字) 漢字の場合 (15文字)、無指定時はスペース	[シツコテン] [矢道湖店]
(23) 届け先名漢字区分 (英数カナ 1桁)	該当項目の漢字区分 △/0: 英数カナ 1: S-JIS漢字 2: IBM漢字 3: JEF漢字 9: その他漢字	[1]
(24) 得意先区分 (英数カナ 1桁)	対象となる得意先を表す 1: 全店 2: 地域 3: 店舗 △: 無指定	[1]

(25) 卸売業担当者コード区分 (英数カナ 1桁)	卸売業担当者コード区分 1:統一取引先(8桁) 6:GLN(14桁) 7:卸PVコード 9:メーカーPVコード △:無指定	[1]
(26) 卸売業担当者コード (英数カナ 13桁)	請求元企業の営業担当者／営業担当組織コード (13桁以内、左詰め) 統一取引先(8桁)／GLN(13桁)／プライベートコード(13桁以内)	[11111111]
(27) 卸売業担当者名 (文字 20桁)	請求元企業の営業担当者名／営業担当組織名 英数カナの場合(20文字) 漢字の場合(10文字)、無指定時はスペース	[シメタウ] [島根 太郎]
(28) 卸売業担当者名漢字区分 (英数カナ 1桁)	該当項目の漢字区分 △/0:英数カナ 1:S-JIS漢字 2:IBM漢字 3:JEF漢字 9:その他漢字	[1]
(29) 予備	原則、スペース・クリアーとする	
3. 明細レコード		
(1) データ種別 (数字 2桁)	販促金請求データであることを表わす	[52 : 販促金請求データ]
(2) 送信先コード (数字 8桁)	送信先(メーカー)拠点取引先コードを指定 (センター登録マスターをチェックする)	[01010001]
(3) 送信元コード (数字 8桁)	送信元(卸売業)の拠点取引先コードを指定 (センター登録マスターをチェックする)	[02841001]
(4) レコード区分 (数字 1桁)	明細レコードであることを表わす	[4 : 明細レコード]
(5) 明細行No. (英数カナ 3桁)	請求書No.／請求伝票番号毎の明細行No. (001～999、999超過時は別の請求書No.とする)	[001]
(6) 計上No. (英数カナ 10桁)	明細の管理番号(英数字10桁以内、左詰め) 請求書No.・請求伝票番号と合わせて支払照合のキーとなる	[1234567890]
(7) 対象期間(開始日) (数字 8桁)	資産譲渡日付 (西暦 YYYYMMDD)	[20161031]
(8) 対象期間(終了日) (数字 8桁)	資産譲渡日付 (西暦 YYYYMMDD)	[20161031]
(9) 特売区分 (英数カナ 1桁)	販促金の特売等の区分を表す 0:分類不能 1:定番 2:特売 8:その他 △:無指定	[1]
(10) 商品コード使用区分 (英数カナ 1桁)	商品コードの使用区分 0:統一商品コード 1:ITFコード 2:JAN+荷姿コード 3:JANコード 6:GTINコード 7:メーカーPVコード 8:卸PVコード △:商品特定なし	[0]
(11) 商品コード (英数カナ 16桁)	上記商品コード設定／プライベートコード (16桁以内、左詰め)	[0004912345100010]
(12) 商品名／規格 (文字 40桁)	商品名:通常30桁／規格:通常10桁 英数カナの場合(40文字) 漢字の場合(20文字)、無指定時はスペース	[XXXXX 75g ミルクチョコレート] [X X 75 g ミルクチョコ]
(13) 商品名(漢字区分) (英数カナ 1桁)	該当項目の漢字区分 △/0:英数カナ 1:S-JIS漢字 2:IBM漢字 3:JEF漢字 9:その他漢字	[1]
(14) 入数1 (数字 3桁)	商品のボール内バラ数 (商品特定なし:000)	[012]
(15) 入数2 (数字 2桁)	商品のケース内ボール数 (商品特定なし:00)	[06]
(16) 仕入単価(建値／卸店入単価) (数字 8桁)(小数点以下2桁)	卸店納入単価を指定する (商品特定なし:00000000)	[00007800]
(17) 納入単価(小売店納入単価) (数字 8桁)(小数点以下2桁)	小売店納入単価を指定する (商品特定なし:00000000)	[00008400]

(18) 付加単価 (数字 8桁) (小数点以下2桁)	相対での設定単価情報等 (商品特定なし : 00000000)	[00000000]
(19) 数量 (数字 8桁)	請求の対象となる数量	[00000010]
(20) 計上対象数量／金額単位 (英数カナ 1桁)	計上対象数量の単位を表す 0:円 1:ケース 3:バラ 5:Kg 7:g △:無指定	[1]
(21) 請求計上対象数量／金額 (数字 8桁) (小数点以下2桁)	請求の対象となる数量／金額	[00432000]
(22) 請求計上計算区分 (英数カナ 1桁)	請求計上の計算区分を表す 0:仕入価(建値)金額換算 1:納品価金額換算 3:バラ数量換算 5:ケース数量換算 △:無指定	[5]
(23) 計算計上条件区分 (英数カナ 1桁)	請求計上の条件区分を表す 0:% 1:ケース 3:バラ 5:Kg 6:g 8:金額 △:無指定	[0]
(24) 請求計上条件 (数字 8桁) (小数点以下2桁)	請求計上対象数量に対する条件 条件区分＝0 (%) 以外の時は金額	[00001000]
(25) 符号 (請求計上金額) (英数カナ 1桁)	請求計上金額の符号 +:正数 -:負数 △:無指定	[+]
(26) 請求計上金額 (数字 8桁) (小数点以下2桁)	請求金額 計算式＝(請求計上対象数量×請求計上条件)	[00043200]
(27) 請求金額計算区分 (英数カナ 1桁)	小数点以下が発生した場合の正数化する計算方法 1:切捨て 2:切上げ 3:四捨五入 △:無指定	[1]
(28) 請求区分 (英数カナ 1桁)	請求区分 1:通常(当月請求) 2:再請求 △:無指定	[1]
(29) 店入直送区分 (英数カナ 1桁)	店(倉)入れまたは直送等の区分 1:店入 2:直送 △:無指定	[1]
(30) 摘要コード (英数カナ 3桁)	商品に紐づかない販売時等のコメントを表記する △△△/000:コメントなし 001～030:別項 090～098:任意利用 099～999:その他	[001]
(31) 摘要 1 (補足情報) (英数カナ 20桁)	摘要コード内容／補足コメント 英数カナの場合(20文字) 漢字の場合(10文字)、無指定時はスペース	[販売条件 0 0 1]
(32) 摘要 2 (補足情報) (英数カナ 20桁)	摘要コード内容／補足コメント 英数カナの場合(20文字) 漢字の場合(10文字)、無指定時はスペース	[販売条件詳細 0 0 1]
(33) 摘要 1 (漢字区分) (英数カナ 1桁)	該当項目の漢字区分 △/0:英数カナ 1:S-JIS漢字 2:IBM漢字 3:JEF漢字 9:その他漢字	[1]
(34) 摘要 2 (漢字区分) (英数カナ 1桁)	該当項目の漢字区分 △/0:英数カナ 1:S-JIS漢字 2:IBM漢字 3:JEF漢字 9:その他漢字	[1]
(35) 付加情報 1 (1 桁) (英数カナ 1桁)	相対での設定情報 (1 桁)	[1]

(36) 付加情報 2 (2桁) (英数カナ 2桁)	相対での設定情報 (2桁)	[12]
(37) 付加情報 3 (3桁) (英数カナ 3桁)	相対での設定情報 (3桁)	[123]
(38) 付加情報 4 (5桁) (英数カナ 5桁)	相対での設定情報 (5桁)	[12345]
(39) 付加情報 5 (7桁) (英数カナ 7桁)	相対での設定情報 (7桁)	[1234567]
(40) 請求消費税率 (数字 3桁) (小数点以下1桁)	消費税の税率 (99.9%)、ゼロ:個別判断	[080]
(41) 予備	原則、スペース・クリアーとする	
4. 明細オプションレコード (※任意)		
(1) データ種別 (数字 2桁)	販促金請求データであることを表わす	[52 : 販促金請求データ]
(2) 送信先コード (数字 8桁)	送信先(メーカー)拠点取引先コードを指定 (センター登録マスターをチェックする)	[01010001]
(3) 送信元コード (数字 8桁)	送信元(卸売業)の拠点取引先コードを指定 (センター登録マスターをチェックする)	[02841001]
(4) レコード区分 (数字 1桁)	明細オプションレコードであることを表わす	[5 : 明細オプションレコード]
(5) 明細行No. (英数カナ 3桁)	請求書No./請求伝票番号毎の明細行No. (001~999、999超過時は別の請求書No.とする)	[001]
(6) 計上No. (英数カナ 10桁)	明細の管理番号(英数字10桁以内、左詰め) 請求書No.・請求伝票番号と合わせて支払照合のキーとなる	[1234567890]
(7) 摘要 3 (補足情報) (英数カナ 80桁)	摘要コード内容/補足コメント 英数カナの場合(80文字) 漢字の場合(40文字)、無指定時はスペース	[販売条件その他]
(8) 摘要 3 (漢字区分) (英数カナ 1桁)	該当項目の漢字区分 △/0:英数カナ 1:S-JIS漢字 2:IBM漢字 3:JEF漢字 9:その他漢字	[1]
(9) 付加情報 6 (10桁) (英数カナ 10桁)	相対での設定情報 (10桁)	[XXXXXXXXXX]
(10) 付加情報 7 (16桁) (英数カナ 16桁)	相対での設定情報 (16桁)	[XXXXXXXXXXXXXXXXXX]
(11) 付加情報 8 (20桁) (英数カナ 20桁)	相対での設定情報 (20桁)	[XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX]
(12) 予備	原則、スペース・クリアーとする	
5. トレーラ・レコード		
※ 送信元と送信先単位の最終レコード(1件)を作成する		
(1) データ種別 (数字 2桁)	販促金請求データであることを表わす	[52 : 販促金請求データ]
(2) 送信先コード (数字 8桁)	送信先(メーカー)拠点取引先コードを指定 (センター登録マスターをチェックする)	[01010001]
(3) 送信元コード (数字 8桁)	送信元(卸売業)の拠点取引先コードを指定 (センター登録マスターをチェックする)	[02841001]
(4) レコード区分 (数字 1桁)	トレーラ・レコードであることを表わす	[9 : トレーラ・レコード]
(5) レコード件数 (数字 6桁)	コントロールレコードとトレーラレコードで括られたレコードの総件数 (コントロール・レコードとトレーラ・レコードを除く)	[000545]
(6) 符号 (英数カナ 1桁)	請求金額合計の符号を指定する △/+ : 正数 (プラス) - : 負数(マイナス)	[+]
(7) 請求金額合計 (数字 11桁) (小数点以下2桁)	請求金額の合計金額 ※税率別内訳項番11の集計結果	[00001200650]
(8) 登録番号 (英数カナ 14桁)	” T ” + 法人番号13桁 送信元企業側の法人番号を設定	[T11111111111111]
繰返部 税率別内訳 × 3 明細 (9) ~ (14) ※繰返部の設定順序は、軽減税率8%、標準税率10%、予備税率 (卸提供の役務10%) ※未使用ブロックはALL SPACEを設定する		
(9) 請求消費税率 (数字 3桁) (小数点以下1桁)	請求の消費税率 (99.9%)、ゼロ:個別判断	[100]
(10) 符号(請求金額) (英数カナ 1桁)	(11)の請求金額の符号を指定する △/+ : 正数 (プラス) - : 負数(マイナス)	[+]

(11) 請求金額 (数字 11桁)(小数点以下2桁)	請求計上金額(請求消費税率毎)の合計金額を指定する	[00000010650]
(12) 符号(請求消費税額) (英数カナ 1桁)	(13)の請求消費税額の符号を指定する △/+ : 正数 (プラス) - : 負数(マイナス)	[+]
(13) 請求消費税額 (数字 9桁)	請求計上金額(請求消費税率毎)の合計金額を指定する	[00001200650]
(14) 予備	原則、スペース・クリアーとする	
(15) 登録番号 2 (英数カナ 14桁)	” T ” + 法人番号13桁 送信先企業側の法人番号を設定	[T222222222222]
(16) 予備	原則、スペース・クリアーとする	

I. 請求明細データ・支払明細データ

インボイス制度では、「消費税額は、一つの適格請求書につき、税率ごとに1回の端数処理」と定義されているため、下図の「③事業所パターン2方式(伝票集計型、伝票明細型)」のデータ方式を適格請求書とする場合、以下のように対応して下さい(相手先と調整が必要)

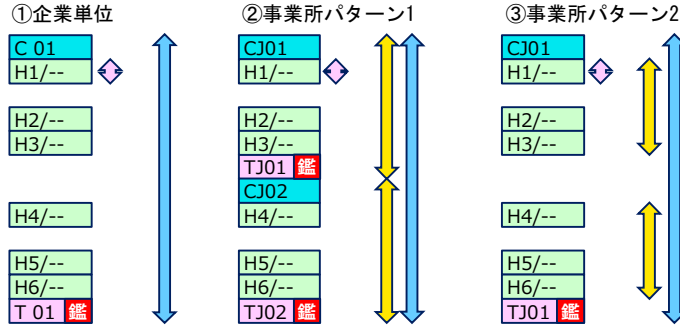
- ①の様に、適格請求書を企業単位に変更する
- ②の様に、一つの請求情報をコントロールRECとトレイラRECで挟み込むレコード構造に変更する
- ③を継続する場合、請求書(紙)を適格請求書(※1)とし、EDIデータは参考情報とする

※1：事業所単位に請求書(明細+鑑)をご利用下さい

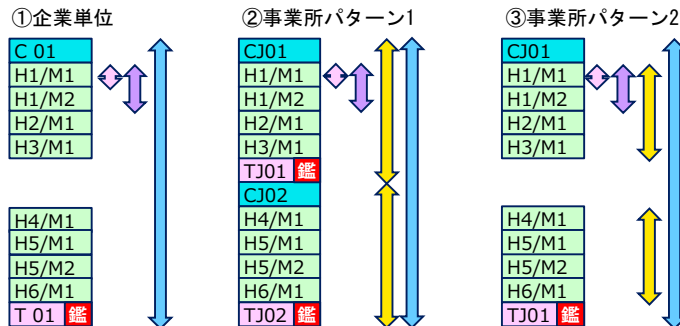
<ポイント>

一つの適格請求書を事業所単位としたEDIデータとする場合、下図の実装方式では、事業所単位(伝票H1~H3、H4~H6)に税率毎の税額(端数処理)を算出する必要がありますが、当該項目をEDIフォーマット上に格納することができません

<伝票集計型>



<伝票明細型>



Ⅱ. 販促金-案内・支払データ、販促金-請求データ

インボイス制度では、「消費税額は、一つの適格請求書につき、税率ごとに1回の端数処理」と定義されているため、下図の「③事業所パターン2方式（伝票集計型、伝票明細型）」のデータ方式を適格請求書とする場合、以下のように対応して下さい（相手先と調整が必要）

- ①の様に、適格請求書を企業単位に変更する
- ②の様に、一つの請求情報をコントロールRECとトレイラRECで挟み込むレコード構造に変更する
- ③を継続する場合、請求書（紙）を適格請求書（※1）とし、EDIデータは参考情報とする

※1：事業所単位に請求書（明細+鑑）をご利用下さい

<ポイント>

一つの適格請求書を事業所単位としたEDIデータとする場合、下図の実装方式では、事業所単位（ヘッダH1+明細M1～M4、ヘッダH2+明細M1～M4）に税率毎の税額（端数処理）を算出する必要がありますが、当該項目をEDIフォーマット上に格納することができません

<伝票集計型>

①企業単位

C 01
H1
M1
M2
M3
M4

H2
M1
M2
M3
M4
T 01 鑑

②事業所パターン1

CJ01
H1
M1
M2
M3
M4
TJ01 鑑
CJ02

H2
M1
M2
M3
M4
TJ02 鑑

③事業所パターン2

CJ01
H1
M1
M2
M3
M4

H2
M1
M2
M3
M4
TJ01 鑑

